

2017 年度（平成 29 年度）

学生による授業評価アンケート
実施報告書

福山大学大学教育センター
教育開発部門

目次

はじめに	1
1. アンケート調査の目的	2
2. アンケート調査の概要	2
3. 調査結果	
(1) アンケート回答率について	5
(2) 調査結果の内容（学生による授業評価結果について）	5
① 授業準備について	5
② 話し方について	6
③ 授業の計画性について	7
④ 授業時間について	9
⑤ 講義の工夫について	9
⑥ 質問への誠意について	10
⑦ 難易の適切性について	11
⑧ 講義の満足度について	13
(3) 調査結果の内容（学生の自己点検）	
① 関連学習について	14
② 集中力について	15
③ 出席状況について	16
④ 知識の深まりについて	17
⑤ 質問への積極性について	18
⑥ 意欲の高まりについて	20
⑦ 学修の成果について	20
4. アンケート結果に対する学科報告書	
① 経済学科	22
② 国際経済学科	23
③ 税務会計学科	25
④ 心理学科	27
⑤ 人間文化学科	29
⑥ メディア・映像学科	30
⑦ スマートシステム学科	32
⑧ 建築学科	34
⑨ 情報工学科	36
⑩ 機械システム工学科	38
⑪ 生物工学科	40

⑫	生命栄養科学科	41
⑬	海洋生物科学科	43
⑭	薬学科	45
⑮	大学教育センター	47
⑯	共同利用センター	51
5.	平成 29 年度（前期）授業評価アンケート科目一覧	54
6.	平成 29 年度（後期）授業評価アンケート科目一覧	64

はじめに

福山大学は、次の6つを教育目標として掲げ、この目標を達成するべく、日々、教育の改革と改善に取り組んでいる。

福山大学教育目標

- (1) 真理の探究と道理の実践
- (2) 豊かな品性と強い意志の涵養
- (3) 生命と自然の尊重
- (4) 個性の発揮と信頼に基づく人間関係の構築
- (5) 可能性への挑戦
- (6) 地域社会の発展への貢献

教育とは、学修者の行動に価値ある変化をもたらすプロセスであり、「何を教えたか？」ではなく、「学修者が、何ができるようになったか？」が問われる。通常、教育者は、教育の効果を試験の結果、すなわち学習成果として認識し把握している。

しかしながら、真に教育を改善するためには、学修者からの忌憚のないフィードバックを得ることは必要不可欠である。このため福山大学では、自己評価委員会が平成16年度に実施して以来、本学のすべての教員が毎年、学生による授業評価を受けている。平成23年度より大学教育センターが担当することになり、学生による授業評価だけでなく学生自身の学修の点検も加えたアンケート調査を実施している。

平成29年度も、大学教育センター教育開発部門が「学生による授業評価アンケート」を実施した。このアンケート調査結果が、教員と学生がそれぞれの目標とする教育と学習の成果向上の機会となることを願っている。

平成30年3月31日

大学教育センター センター長 大塚 豊
同 教育開発部門長 佐藤 英治

1. アンケート調査の目的

学生が主体的に学ぶ授業の展開を目指して、学生が授業をどのように受講しているのか、授業の何を期待しているのかを教員が理解し、各教員の授業改善に資するために本アンケートを実施する。また、全学的な教育改革の成果を検討する貴重な資料とする。さらに、学生が自己評価し、自身の学習姿勢を点検して改善に役立てるために本アンケートを実施する。

2. アンケート調査の概要

(1) 実施期間

前期：平成 29 年 6 月 30 日（火）～ 平成 29 年 7 月 14 日（金）

後期：平成 29 年 12 月 11 日（月）～平成 30 年 1 月 19 日（金）

(2) 調査科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）の全授業科目（原則、演習・実習を除く）について、アンケート調査を行った。学科によっては、演習・実習についてもアンケート調査を実施した。全学で、前期 583 科目（受講者数延べ 31973 人）、後期 585 科目（受講者数延べ 26077 人）について実施した。調査科目を p. 54～p. 73 に示す。

(3) アンケート調査内容

アンケートの調査項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学修点検に関する項目、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。各設問を以下に示す。

【質問 1】授業準備：授業の準備が適切になされていると思いますか？

【質問 2】話し方：教員の話し方は明瞭ですか？

【質問 3】計画性：授業はシラバス通りに行われていますか？

【質問 4】授業時間：授業をあまりに遅く始めたり、早く終わったりしないで、90 分間の授業時間を守っていますか？

【質問 5】講義の工夫：教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？

【質問 6】質問への誠意：教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？

【質問 7】難易の適切性：この科目はやりがいや手応え、また将来に役立つと感じるものですか？

【質問 8】講義の満足度：この科目に対する総合的なあなたの満足度を 5 段階で示してください。

【質問 9】関連学習：この授業に関して、1 回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、

あるいは関連の学習をしましたか？

【質問 10】 集中力：授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？

【質問 11】 出席状況：授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？

【質問 12】 知識の深まり：この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？

【質問 13】 質問への積極性：授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？

【質問 14】 意欲の高まり：この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？

【質問 15】 学修の成果：この科目であなたが得た成果を 5 段階で自己評価してください。

(4) 調査結果の集計

アンケート調査及び結果の集計は学修支援システム「セLESS」を使用して行った。集計後、各回答数に係数（強く肯定する回答には 5、強く否定する回答には 1）を乗じ全回答数で除することで、5 段階評価した。強く否定する回答にも係数 1 を与えているため、最高値は 5.0、最低値は 1.0、標準値は 3.0 となる。なお、質問 3 では「シラバスを読んでいない」、質問 13 は「質問したことがない」という選択肢を増やし、6 段階評価とした。

(5) 学生へのフィードバック方法

アンケート調査結果とその対応は、アンケート調査終了後の授業中や定期試験時に学生にフィードバックした。あるいはセLESSを使用して学生にフィードバックした。

(6) アンケート実施後の教員による報告書提出

授業担当教員に集計結果返却後、1 ヶ月以内に報告書（p. 4 の報告書書式を参照）を学科長に提出し、学科長は学科教員の報告書を取りまとめて大学教育センター長に提出した。

(7) アンケート実施後の学科による総括

年度末に前期および後期の調査結果を踏まえて学科単位で総括し、学科長から大学教育センター長に提出した。

平成 29 年度前・後期授業評価アンケート結果に対する報告書

平成 29 年度前・後期 授業評価アンケート結果に対する報告書							
担当教員	氏 名			所属学部・学科			
				学部		学科	
講 義 名				科目分類 (不要な方を消去する)		受講者数	
				共通教育科目	専門科目	名	
お手数ですがこの科目のアンケート集計結果を各質問毎に記載してください							
質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8
授業準備	話し方	計画性	授業時間	講義の工夫	質問への誠意	難易度の適切性	満足度
質問 9	質問10	質問11	質問12	質問13	質問14	質問15	
関連学習	集中力	出席状況	知識の深まり	質問への積極性	意欲の高まり	学修の成果	
◆アンケート結果の学生へのフィードバック方法							
◆この講義に対する学生の評価結果について (アンケートの質問 1～質問 8 が該当します)							
○高く評価された事項							
○改善を求められている事項							
○今後の授業改善の計画							
◆この講義を受講した学生の自己点検結果について (アンケートの質問 9～質問 15 が該当します)							
○学修成果という点でこの結果をどのように考えますか							
○学生の学修成果を望ましい方向に進展させる方策はありますか							

3. 調査結果

「学生による授業評価アンケート」の集計結果は各科目、学科、学部、全学の単位で集計し、それぞれの責任者に報告している。本報告書に全てを掲載すると膨大な内容となるため、全学および学部単位について掲載する。

(1) アンケート回答率について

平成 29 年度前期（表 1-1）、後期（表 1-2）の回答率を以下に示す。全学平均では前期が 69.4%、後期が 56.8%であった。また、学部平均では、学部間で回答率は異なっていた（40%台～80%台）。前後期で比較すると、ほとんどの学部において、後期の回答率は前期に比べて低下していた。今年度より、全授業科目（演習・実習を除く）を対象としたため、学生の負担増から回答率が低下したのかもしれない（平成 28 年度は全学平均として、前期 82%、後期 63%であった）。今後は、教育改革に当たって、より全体の学生の回答を反映できるように改善を図っていきたい。

表1-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜回答率＞									
	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
受講者数	31973	6251	3902	4077	4520	6622	5216	1302	83
回答者数	22194	3752	2336	2854	3660	4594	4063	878	57
回答率（%）	69.4	60.0	59.9	70.0	81.0	69.4	77.9	67.4	68.7
表1-2 学生による授業評価アンケート（後期）＜回答率＞									
	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
受講者数	26077	5163	3346	4295	4094	4485	3988	645	61
回答者数	14807	2175	1699	2558	2891	2425	2663	350	46
回答率（%）	56.8	42.1	50.8	59.6	70.6	54.1	66.8	54.3	75.4

(2) 調査結果の内容（学生による授業評価結果について）

① 授業準備について

教員の授業準備は、すべての学部で前後期とも 4.0 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた（表 2-1、表 2-3）。高評価（回答の 5 と 4）の割合は、国際センターが最も高く（前後期とも 100.0%）、他学部ではほぼ同程度（80～90%台）であった（表 2-2、表 2-4）。

表2-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜授業準備＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問1】 授業準備 授業の準備が 適切になされ ていると思っ ますか？	適切である	5	13881	2282	1570	1729	2189	2712	2768	578	53
	ほぼ適切である	4	6196	920	603	853	1139	1489	970	218	4
	どちらともいえない	3	1672	424	121	201	280	311	268	67	0
	やや不適切である	2	332	95	30	50	41	63	41	12	0
	不適切である	1	113	31	12	21	11	19	16	3	0
	平均点		4.50	4.42	4.58	4.48	4.49	4.48	4.58	4.54	4.93
表2-2 学生による授業評価アンケート（前期）＜授業準備＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問1】 授業準備 授業の準備が 適切になされ ていると思っ ますか？	適切である	5	62.5%	60.8%	67.2%	60.6%	59.8%	59.0%	68.1%	65.8%	93.0%
	ほぼ適切である	4	27.9%	24.5%	25.8%	29.9%	31.1%	32.4%	23.9%	24.8%	7.0%
	どちらともいえない	3	7.5%	11.3%	5.2%	7.0%	7.7%	6.8%	6.6%	7.6%	0.0%
	やや不適切である	2	1.5%	2.5%	1.3%	1.8%	1.1%	1.4%	1.0%	1.4%	0.0%
	不適切である	1	0.5%	0.8%	0.5%	0.7%	0.3%	0.4%	0.4%	0.3%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
表2-3 学生による授業評価アンケート（後期）＜授業準備＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問1】 授業準備 授業の準備が 適切になされ ていると思っ ますか？	適切である	5	9428	1388	1148	1602	1688	1481	1844	233	44
	ほぼ適切である	4	4035	514	436	719	922	726	635	81	2
	どちらともいえない	3	1055	201	85	189	237	165	154	24	0
	やや不適切である	2	204	48	20	37	32	37	20	10	0
	不適切である	1	85	24	10	11	12	16	10	2	0
	平均点		4.52	4.47	4.58	4.51	4.47	4.49	4.61	4.52	4.96
表2-4 学生による授業評価アンケート（後期）＜授業準備＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問1】 授業準備 授業の準備が 適切になされ ていると思っ ますか？	適切である	5	63.7%	63.8%	67.6%	62.6%	58.4%	61.1%	69.2%	66.6%	95.7%
	ほぼ適切である	4	27.3%	23.6%	25.7%	28.1%	31.9%	29.9%	23.8%	23.1%	4.3%
	どちらともいえない	3	7.1%	9.2%	5.0%	7.4%	8.2%	6.8%	5.8%	6.9%	0.0%
	やや不適切である	2	1.4%	2.2%	1.2%	1.4%	1.1%	1.5%	0.8%	2.9%	0.0%
	不適切である	1	0.6%	1.1%	0.6%	0.4%	0.4%	0.7%	0.4%	0.6%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

② 話し方について

教員の話し方は、すべての学部で前後期とも 4.0 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた（表 3-1、表 3-3）。高評価（回答の 5 と 4）の割合は、国際センターが最も高く（前期 100.0%、後期 97.9%）、他学部ではほぼ同程度（80%台）であった（表 3-2、表 3-4）。

表3-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜話し方＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問2】 話し方 教員の話し方 は明確で すか？	聞き取りやすい	5	11935	2039	1316	1467	1969	2234	2388	469	53
	ほぼ聞き取りやすい	4	6796	967	667	932	1177	1669	1110	270	4
	どちらともいえない	3	2236	467	213	294	351	447	365	99	0
	やや聞き取りにくい	2	976	202	108	125	141	211	163	26	0
	大変聞き取りにくい	1	251	77	32	36	22	33	37	14	0
	平均点		4.32	4.25	4.34	4.29	4.35	4.28	4.39	4.31	4.93
表3-2 学生による授業評価アンケート（前期）＜話し方＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問2】 話し方 教員の話し方 は明確で すか？	聞き取りやすい	5	53.8%	54.3%	56.3%	51.4%	53.8%	48.6%	58.8%	53.4%	93.0%
	ほぼ聞き取りやすい	4	30.6%	25.8%	28.6%	32.7%	32.2%	36.3%	27.3%	30.8%	7.0%
	どちらともいえない	3	10.1%	12.4%	9.1%	10.3%	9.6%	9.7%	9.0%	11.3%	0.0%
	やや聞き取りにくい	2	4.4%	5.4%	4.6%	4.4%	3.9%	4.6%	4.0%	3.0%	0.0%
	大変聞き取りにくい	1	1.1%	2.1%	1.4%	1.3%	0.6%	0.7%	0.9%	1.6%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
表3-3 学生による授業評価アンケート（後期）＜話し方＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問2】 話し方 教員の話し方 は明確で すか？	聞き取りやすい	5	8155	1279	1063	1346	1455	1164	1599	205	44
	ほぼ聞き取りやすい	4	4475	557	444	840	950	846	733	104	1
	どちらともいえない	3	1420	218	126	253	335	219	240	28	1
	やや聞き取りにくい	2	604	87	49	100	124	157	75	12	0
	大変聞き取りにくい	1	153	34	17	19	27	39	16	1	0
	平均点		4.34	4.36	4.46	4.33	4.27	4.21	4.44	4.43	4.93
表3-4 学生による授業評価アンケート（後期）＜話し方＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問2】 話し方 教員の話し方 は明確で すか？	聞き取りやすい	5	55.1%	58.8%	62.6%	52.6%	50.3%	48.0%	60.0%	58.6%	95.7%
	ほぼ聞き取りやすい	4	30.2%	25.6%	26.1%	32.8%	32.9%	34.9%	27.5%	29.7%	2.2%
	どちらともいえない	3	9.6%	10.0%	7.4%	9.9%	11.6%	9.0%	9.0%	8.0%	2.2%
	やや聞き取りにくい	2	4.1%	4.0%	2.9%	3.9%	4.3%	6.5%	2.8%	3.4%	0.0%
	大変聞き取りにくい	1	1.0%	1.6%	1.0%	0.7%	0.9%	1.6%	0.6%	0.3%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③ 授業の計画性について

授業の計画性は、すべての学部で前後期とも 4.0 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた（表 4-1、表 4-3）。高評価（回答の 5 と 4）の割合は、国際センターが最も高く（前後期とも 100.0%）、生命工学部と薬学部では 60～70% 台、その他の学部では 70～80% 台であった（表 4-2、表 4-4）。

シラバスを読んでいない学生の割合は、全学平均で前期 13.1%、後期 19.0% であった。学部別では、生命工学部（前期 16.9%、後期 26.7%）と薬学部（前期 25.6%、後期 34.4%）に多く認められた。この 2 学部は高評価（回答の 5 と 4）の割合が比較的低いが、これはシラバスを読んでいない学生が多いことが要因の 1 つと考えられた。

シラバスに記載されている授業のねらいや目的、授業の流れを把握しながら学習すること、授業内容の理解をより深める効果があることから、初回授業時や授業を進めながら適宜、シラバスを用いた授業説明を行うなどの対応策が必要と考えられる。

表4-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜計画性＞実数と平均点

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問3】 計画性 授業はシラバス通り行われていますか？	行われている	5	11948	2065	1349	1710	1748	2174	2331	520	51
	ほぼ行われている	4	4901	878	545	642	910	841	881	198	6
	どちらともいえない	3	2057	479	180	245	334	357	380	82	0
	やや異なっている	2	307	94	36	38	44	35	50	10	0
	全く異なっている	1	78	24	12	8	6	13	14	1	0
	シラバスを読んでいない	—	2903	212	214	211	618	1174	407	67	0
	平均点		4.47	4.37	4.50	4.52	4.43	4.50	4.49	4.51	4.89

表4-2 学生による授業評価アンケート（前期）＜計画性＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問3】 計画性 授業はシラバス通り行われていますか？	行われている	5	53.8%	55.0%	57.7%	59.9%	47.8%	47.3%	57.4%	59.2%	89.5%
	ほぼ行われている	4	22.1%	23.4%	23.3%	22.5%	24.9%	18.3%	21.7%	22.6%	10.5%
	どちらともいえない	3	9.3%	12.8%	7.7%	8.6%	9.1%	7.8%	9.4%	9.3%	0.0%
	やや異なっている	2	1.4%	2.5%	1.5%	1.3%	1.2%	0.8%	1.2%	1.1%	0.0%
	全く異なっている	1	0.4%	0.6%	0.5%	0.3%	0.2%	0.3%	0.3%	0.1%	0.0%
	シラバスを読んでいない	—	13.1%	5.7%	9.2%	7.4%	16.9%	25.6%	10.0%	7.6%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表4-3 学生による授業評価アンケート（後期）＜計画性＞

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問3】 計画性 授業はシラバス通り行われていますか？	行われている	5	7569	1253	991	1417	1185	1031	1454	193	45
	ほぼ行われている	4	3198	447	385	610	694	437	553	71	1
	どちらともいえない	3	979	211	96	177	197	89	181	28	0
	やや異なっている	2	189	48	17	32	32	22	30	8	0
	全く異なっている	1	57	14	5	8	10	13	7	0	0
	シラバスを読んでいない	—	2815	202	205	314	773	833	438	50	0
	平均点		4.50	4.46	4.57	4.51	4.42	4.54	4.54	4.50	4.98

表4-4 学生による授業評価アンケート（後期）＜計画性＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問3】 計画性 授業はシラバス通り行われていますか？	行われている	5	51.1%	57.6%	58.3%	55.4%	41.0%	42.5%	54.6%	55.1%	97.8%
	ほぼ行われている	4	21.6%	20.6%	22.7%	23.8%	24.0%	18.0%	20.8%	20.3%	2.2%
	どちらともいえない	3	6.6%	9.7%	5.7%	6.9%	6.8%	3.7%	6.8%	8.0%	0.0%
	やや異なっている	2	1.3%	2.2%	1.0%	1.3%	1.1%	0.9%	1.1%	2.3%	0.0%
	全く異なっている	1	0.4%	0.6%	0.3%	0.3%	0.3%	0.5%	0.3%	0.0%	0.0%
	シラバスを読んでいない	—	19.0%	9.3%	12.1%	12.3%	26.7%	34.4%	16.4%	14.3%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④ 授業時間について

授業時間の遵守については、すべての学部で前後期とも 4.0 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた（表 5-1、表 5-3）。高評価（回答の 5 と 4）の割合は、国際センターが最も高く（前後期とも 100.0%）、他学部ではほぼ同程度（80～90%台）であった（表 5-2、5-4）。

表5-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜授業時間＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問4】 授業時間 授業をあまりに 遅く始めたり、 早く終わったり しないで、90分 間の授業時間を 守っています か？	守っている	5	15183	2467	1636	1871	2443	3280	2821	614	51
	ほぼ守っている	4	5521	879	563	754	1018	1134	963	204	6
	どちらともいえない	3	1169	302	103	181	164	152	216	51	0
	やや守っていない	2	218	62	24	38	26	19	44	5	0
	守っていない	1	103	42	10	10	9	9	19	4	0
	平均点		4.60	4.51	4.62	4.56	4.60	4.67	4.61	4.62	4.89

表5-2 学生による授業評価アンケート（前期）＜授業時間＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問4】 授業時間 授業をあまりに 遅く始めたり、 早く終わったり しないで、90分 間の授業時間を 守っています か？	守っている	5	68.4%	65.8%	70.0%	65.6%	66.7%	71.4%	69.4%	69.9%	89.5%
	ほぼ守っている	4	24.9%	23.4%	24.1%	26.4%	27.8%	24.7%	23.7%	23.2%	10.5%
	どちらともいえない	3	5.3%	8.0%	4.4%	6.3%	4.5%	3.3%	5.3%	5.8%	0.0%
	やや守っていない	2	1.0%	1.7%	1.0%	1.3%	0.7%	0.4%	1.1%	0.6%	0.0%
	守っていない	1	0.5%	1.1%	0.4%	0.4%	0.2%	0.2%	0.5%	0.5%	0.0%
	計		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

表5-3 学生による授業評価アンケート（後期）＜計画性＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問4】 授業時間 授業をあまりに 遅く始めたり、 早く終わったり しないで、90分 間の授業時間を 守っています か？	守っている	5	10134	1452	1226	1660	1919	1729	1850	254	44
	ほぼ守っている	4	3671	501	400	697	786	567	643	75	2
	どちらともいえない	3	766	167	62	159	158	71	132	17	0
	やや守っていない	2	157	27	10	35	20	36	27	2	0
	守っていない	1	79	28	1	7	8	22	11	2	0
	平均点		4.60	4.53	4.67	4.55	4.59	4.63	4.61	4.65	4.96

表5-4 学生による授業評価アンケート（後期）＜計画性＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問4】 授業時間 授業をあまりに 遅く始めたり、 早く終わったり しないで、90分 間の授業時間を 守っています か？	守っている	5	68.4%	66.8%	72.2%	64.9%	66.4%	71.3%	69.5%	72.6%	95.7%
	ほぼ守っている	4	24.8%	23.0%	23.5%	27.2%	27.2%	23.4%	24.1%	21.4%	4.3%
	どちらともいえない	3	5.2%	7.7%	3.6%	6.2%	5.5%	2.9%	5.0%	4.9%	0.0%
	やや守っていない	2	1.1%	1.2%	0.6%	1.4%	0.7%	1.5%	1.0%	0.6%	0.0%
	守っていない	1	0.5%	1.3%	0.1%	0.3%	0.3%	0.9%	0.4%	0.6%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑤ 講義の工夫について

講義の工夫については、すべての学部で前後期とも 4.0 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた（表 6-1、表 6-3）。高評価（回答の 5 と 4）の割合は、国際センターが最も高く（前期 100.0%、後期 97.9%）、他学部ではほぼ同程度（70～80%台）

であった（表 6-2、6-4）。

表6-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜講義の工夫＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	11494	1937	1308	1375	1842	2142	2388	457	45
	やや思う	4	7119	1026	701	958	1254	1726	1162	280	12
	どちらともいえない	3	2569	538	238	379	422	524	372	96	0
	あまり思わない	2	750	157	72	104	115	164	103	35	0
	全く思わない	1	262	94	17	38	27	38	38	10	0
	平均点		4.30	4.21	4.37	4.24	4.30	4.26	4.42	4.30	4.79

表6-2 学生による授業評価アンケート（前期）＜講義の工夫＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	51.8%	51.6%	56.0%	48.2%	50.3%	46.6%	58.8%	52.1%	78.9%
	やや思う	4	32.1%	27.3%	30.0%	33.6%	34.3%	37.6%	28.6%	31.9%	21.1%
	どちらともいえない	3	11.6%	14.3%	10.2%	13.3%	11.5%	11.4%	9.2%	10.9%	0.0%
	あまり思わない	2	3.4%	4.2%	3.1%	3.6%	3.1%	3.6%	2.5%	4.0%	0.0%
	全く思わない	1	1.2%	2.5%	0.7%	1.3%	0.7%	0.8%	0.9%	1.1%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表6-3 学生による授業評価アンケート（後期）＜講義の工夫＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	8019	1223	1029	1316	1384	1221	1609	193	44
	やや思う	4	4612	588	460	854	1037	821	748	103	1
	どちらともいえない	3	1564	261	164	277	360	243	224	35	0
	あまり思わない	2	444	58	33	80	82	113	62	16	0
	全く思わない	1	168	45	13	31	28	27	20	3	1
	平均点		4.34	4.33	4.45	4.31	4.27	4.28	4.45	4.33	4.89

表6-4 学生による授業評価アンケート（後期）＜講義の工夫＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	54.2%	56.2%	60.6%	51.4%	47.9%	50.4%	60.4%	55.1%	95.7%
	やや思う	4	31.1%	27.0%	27.1%	33.4%	35.9%	33.9%	28.1%	29.4%	2.2%
	どちらともいえない	3	10.6%	12.0%	9.7%	10.8%	12.5%	10.0%	8.4%	10.0%	0.0%
	あまり思わない	2	3.0%	2.7%	1.9%	3.1%	2.8%	4.7%	2.3%	4.6%	0.0%
	全く思わない	1	1.1%	2.1%	0.8%	1.2%	1.0%	1.1%	0.8%	0.9%	2.2%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑥ 質問への誠意について

質問への誠意については、すべての学部で前後期とも 4.0 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた（表 7-1、表 7-3）。高評価（回答の 5 と 4）の割合は、国際センターが最も高く（前後期とも 100.0%）、生命工学部と薬学部では 30～40% 台、その他の学部では 50～60% 台であった（表 7-2、7-4）。

質問したことがない学生の割合は、全学平均で前期 29.6%、後期 37.8% であった。学部別では、生命工学部（前期 38.3%、後期 51.2%）と薬学部（前期 43.4%、後期 60.0%）に多く認められた。この 2 学部は高評価（回答の 5 と 4）の割合が比較的低い、これは質問

したことがない学生が多いことが要因の1つと考えられた。

質問をしやすい雰囲気づくり、セレッソなどのICTを利用したコミュニケーションの活用など、今後の改善が必要である。

表7-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜質問への誠意＞実数と平均点

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	8844	1769	1110	1189	1183	1313	1898	329	53
	ほぼ誠意をもって答える	4	3562	656	389	547	585	608	628	145	4
	どちらとも言えない	3	2813	531	260	377	448	605	438	154	0
	やや誠意が感じられない	2	290	85	22	40	33	54	43	13	0
	誠意が感じられない	1	120	36	12	18	11	20	17	6	0
	質問したことがない	-	6565	675	543	683	1400	1994	1039	231	0
	平均点		4.33	4.31	4.43	4.31	4.28	4.21	4.44	4.20	4.93

表7-2 学生による授業評価アンケート（前期）＜質問への誠意＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	39.8%	47.1%	47.5%	41.7%	32.3%	28.6%	46.7%	37.5%	93.0%
	ほぼ誠意をもって答える	4	16.0%	17.5%	16.7%	19.2%	16.0%	13.2%	15.5%	16.5%	7.0%
	どちらとも言えない	3	12.7%	14.2%	11.1%	13.2%	12.2%	13.2%	10.8%	17.5%	0.0%
	やや誠意が感じられない	2	1.3%	2.3%	0.9%	1.4%	0.9%	1.2%	1.1%	1.5%	0.0%
	誠意が感じられない	1	0.5%	1.0%	0.5%	0.6%	0.3%	0.4%	0.4%	0.7%	0.0%
	質問したことがない	-	29.6%	18.0%	23.2%	23.9%	38.3%	43.4%	25.6%	26.3%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表7-3 学生による授業評価アンケート（後期）＜質問への誠意＞実数と平均点

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	5747	1053	828	959	774	602	1357	132	42
	ほぼ誠意をもって答える	4	2155	340	268	461	391	222	410	59	4
	どちらとも言えない	3	1058	220	115	199	208	106	180	30	0
	やや誠意が感じられない	2	172	33	18	39	26	23	24	9	0
	誠意が感じられない	1	72	15	8	6	13	16	10	4	0
	質問したことがない	-	5603	514	462	894	1479	1456	682	116	0
	平均点		4.45	4.43	4.53	4.40	4.34	4.41	4.55	4.31	4.91

表7-4 学生による授業評価アンケート（後期）＜質問への誠意＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	38.8%	48.4%	48.7%	37.5%	26.8%	24.8%	51.0%	37.7%	91.3%
	ほぼ誠意をもって答える	4	14.6%	15.6%	15.8%	18.0%	13.5%	9.2%	15.4%	16.9%	8.7%
	どちらとも言えない	3	7.1%	10.1%	6.8%	7.8%	7.2%	4.4%	6.8%	8.6%	0.0%
	やや誠意が感じられない	2	1.2%	1.5%	1.1%	1.5%	0.9%	0.9%	0.9%	2.6%	0.0%
	誠意が感じられない	1	0.5%	0.7%	0.5%	0.2%	0.4%	0.7%	0.4%	1.1%	0.0%
	質問したことがない	-	37.8%	23.6%	27.2%	34.9%	51.2%	60.0%	25.6%	33.1%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑦ 難易の適切性について

難易の適切性については、すべての学部で前後期とも4.0以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた（表8-1、表8-3）。高評価（回答の5と4）の割合は、国際センターが最も高く（前後期とも100.0%）、他学部ではほぼ同程度（70～80%台）であ

った（表 8-2、8-4）。この質問項目であるが、以下の観点から表現が不適切との指摘が教員からあった。

- (1) 「やりがいや手応えを感じる」と「将来に役立つと感じる」は同じ意味ではないので、一つの質問にまとめるべきではない
- (2) 「将来に役立つ」の意味が曖昧であり、常識的には授業で学んだ知識や技術が仕事や生活で「直接役に立つこと」を意味していると受け取られやすい。その意味で解釈すると、教養的または基礎的な授業科目は、「将来に直接役立つ」ことを目的とした授業ではないので、評価は低くなる。

来年度の授業評価アンケートでは、質問内容（文章）を再検討する必要がある。

表8-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜難易の適切性＞実数と平均点

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問7】 難易の適切性 この科目はやりがいや手応え、また将来に役立つと感じるものですか？	大いに感じる	5	9214	1702	974	1256	1390	1792	1739	316	45
	やや感じる	4	8595	1183	861	1077	1620	2048	1465	329	12
	どちらとも言えない	3	3239	617	349	383	528	601	588	173	0
	あまり感じない	2	830	163	115	107	91	123	193	38	0
	全く感じない	1	316	87	37	31	31	30	78	22	0
	平均点		4.15	4.13	4.12	4.20	4.16	4.19	4.13	4.00	4.79

表8-2 学生による授業評価アンケート（前期）＜難易の適切性＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問7】 難易の適切性 この科目はやりがいや手応え、また将来に役立つと感じるものですか？	大いに感じる	5	41.5%	45.4%	41.7%	44.0%	38.0%	39.0%	42.8%	36.0%	78.9%
	やや感じる	4	38.7%	31.5%	36.9%	37.7%	44.3%	44.6%	36.1%	37.5%	21.1%
	どちらとも言えない	3	14.6%	16.4%	14.9%	13.4%	14.4%	13.1%	14.5%	19.7%	0.0%
	あまり感じない	2	3.7%	4.3%	4.9%	3.7%	2.5%	2.7%	4.8%	4.3%	0.0%
	全く感じない	1	1.4%	2.3%	1.6%	1.1%	0.8%	0.7%	1.9%	2.5%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表8-3 学生による授業評価アンケート（後期）＜難易の適切性＞実数と平均点

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問7】 難易の適切性 この科目はやりがいや手応え、また将来に役立つと感じるものですか？	大いに感じる	5	6399	1053	760	1160	1044	1053	1157	130	42
	やや感じる	4	5785	701	647	991	1300	1013	987	142	4
	どちらとも言えない	3	1988	297	217	305	434	275	399	61	0
	あまり感じない	2	491	83	60	85	94	65	89	15	0
	全く感じない	1	144	41	15	17	19	19	31	2	0
	平均点		4.20	4.21	4.22	4.25	4.13	4.24	4.18	4.09	4.91

表8-4 学生による授業評価アンケート（後期）＜難易の適切性＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問7】 難易の適切性 この科目はやりがいや手応え、また将来に役立つと感じるものですか？	大いに感じる	5	43.2%	48.4%	44.7%	45.3%	36.1%	43.4%	43.4%	37.1%	91.3%
	やや感じる	4	39.1%	32.2%	38.1%	38.7%	45.0%	41.8%	37.1%	40.6%	8.7%
	どちらとも言えない	3	13.4%	13.7%	12.8%	11.9%	15.0%	11.3%	15.0%	17.4%	0.0%
	あまり感じない	2	3.3%	3.8%	3.5%	3.3%	3.3%	2.7%	3.3%	4.3%	0.0%
	全く感じない	1	1.0%	1.9%	0.9%	0.7%	0.7%	0.8%	1.2%	0.6%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑧ 講義の満足度について

講義の満足度については、すべての学部で前後期とも 4.0 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた（表 9-1、表 9-3）。高評価（回答の 5 と 4）の割合は、国際センターが最も高く（前期 100.0%、後期 97.8%）、他学部ではほぼ同程度（70～80%台）であった（表 9-2、9-4）。

ただし、講義に対する満足度は、授業評価 8 項目の中で最も低い評価でもあるため、今後のさらなる改善への取り組みは必要である。講義の満足度は、講義の内容、方法、時間、難易度、教員の資質などのさまざまな要因が関与しているので、個々の授業において担当教員がアンケート結果を解析し、改善していく必要がある。

表9-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜講義の満足度＞実数と平均点

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問8】 講義の満足度 この科目に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください。	満足	5	8836	1676	981	1090	1376	1594	1770	303	46
	ほぼ満足	4	8712	1172	894	1151	1550	2076	1501	357	11
	どちらとも言えない	3	3632	659	372	468	601	729	637	166	0
	やや不満である	2	713	158	63	104	104	153	98	33	0
	不満である	1	301	87	26	41	29	42	57	19	0
	平均点		4.13	4.12	4.17	4.10	4.13	4.09	4.19	4.02	4.81

表9-2 学生による授業評価アンケート（前期）＜講義の満足度＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問8】 講義の満足度 この科目に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください。	満足	5	39.8%	44.7%	42.0%	38.2%	37.6%	34.7%	43.6%	34.5%	80.7%
	ほぼ満足	4	39.3%	31.2%	38.3%	40.3%	42.3%	45.2%	36.9%	40.7%	19.3%
	どちらとも言えない	3	16.4%	17.6%	15.9%	16.4%	16.4%	15.9%	15.7%	18.9%	0.0%
	やや不満である	2	3.2%	4.2%	2.7%	3.6%	2.8%	3.3%	2.4%	3.8%	0.0%
	不満である	1	1.4%	2.3%	1.1%	1.4%	0.8%	0.9%	1.4%	2.2%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表9-3 学生による授業評価アンケート（後期）＜講義の満足度＞実数と平均点

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問8】 講義の満足度 この科目に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください。	満足	5	6271	1062	782	1020	1102	898	1221	143	43
	ほぼ満足	4	5782	691	642	1049	1225	1055	984	134	2
	どちらとも言えない	3	2169	305	229	390	460	348	378	58	1
	やや不満である	2	426	75	27	73	83	93	63	12	0
	不満である	1	159	42	19	26	21	31	17	3	0
	平均点		4.19	4.22	4.26	4.16	4.14	4.11	4.25	4.15	4.91

表9-4 学生による授業評価アンケート（後期）＜講義の満足度＞回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問8】 講義の満足度 この科目に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください。	満足	5	42.4%	48.8%	46.0%	39.9%	38.1%	37.0%	45.9%	40.9%	93.5%
	ほぼ満足	4	39.0%	31.8%	37.8%	41.0%	42.4%	43.5%	37.0%	38.3%	4.3%
	どちらとも言えない	3	14.6%	14.0%	13.5%	15.2%	15.9%	14.4%	14.2%	16.6%	2.2%
	やや不満である	2	2.9%	3.4%	1.6%	2.9%	2.9%	3.8%	2.4%	3.4%	0.0%
	不満である	1	1.1%	1.9%	1.1%	1.0%	0.7%	1.3%	0.6%	0.9%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(3) 調査結果の内容（学生の自己点検）

① 関連学習について

関連学習（授業に関する予習や復習、あるいは関連の学習）については、国際センターを除くすべての学部で前後期とも平均点は 2.0 前後であった。（表 10-1、表 10-3）。また、関連学習の時間が 30 分未満の学生は、全学および全学部で 40～50%程度であった（国際センターを除く）（表 10-2、10-4）。

関連学習の習慣を身につけさせることによって、単位の実質化を図る方策の実施が求められる。宿題を課す、あるいは授業開始時に前回授業内容の確認試験を行うなどの手法を導入し、予習や復習の習慣づけを行うことから始めることが必要である。また、セレッソを有効活用して、担当教員が **e-Learning** コンテンツを作成することなども関連学習のサポートとして有用であると考えられる。

表10-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜関連学習＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問9】 関連学習 この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい学習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	1069	363	95	202	79	154	136	22	18
	2～3時間未満	4	1118	243	154	143	137	240	155	38	8
	1～2時間未満	3	3241	580	364	387	495	766	502	127	20
	30分～1時間未満	2	6372	952	700	775	1160	1364	1185	230	6
	30分未満	1	10394	1614	1023	1347	1789	2070	2085	461	5
	平均点		1.92	2.14	1.97	1.98	1.79	1.92	1.79	1.78	3.49
表10-2 学生による授業評価アンケート（前期）＜関連学習＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問9】 関連学習 この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい学習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	4.8%	9.7%	4.1%	7.1%	2.2%	3.4%	3.3%	2.5%	31.6%
	2～3時間未満	4	5.0%	6.5%	6.6%	5.0%	3.7%	5.2%	3.8%	4.3%	14.0%
	1～2時間未満	3	14.6%	15.5%	15.6%	13.6%	13.5%	16.7%	12.4%	14.5%	35.1%
	30分～1時間未満	2	28.7%	25.4%	30.0%	27.2%	31.7%	29.7%	29.2%	26.2%	10.5%
	30分未満	1	46.8%	43.0%	43.8%	47.2%	48.9%	45.1%	51.3%	52.5%	8.8%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
表10-3 学生による授業評価アンケート（後期）＜関連学習＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問9】 関連学習 この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい学習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	825	218	106	124	61	151	130	15	20
	2～3時間未満	4	759	168	99	113	93	158	101	17	10
	1～2時間未満	3	2121	304	275	384	307	464	337	41	9
	30分～1時間未満	2	4044	488	463	720	833	685	768	85	2
	30分未満	1	7058	997	756	1217	1597	967	1327	192	5
	平均点		1.94	2.14	2.02	1.91	1.68	2.11	1.85	1.79	3.83
表10-4 学生による授業評価アンケート（後期）＜関連学習＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問9】 関連学習 この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい学習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	5.6%	10.0%	6.2%	4.8%	2.1%	6.2%	4.9%	4.3%	43.5%
	2～3時間未満	4	5.1%	7.7%	5.8%	4.4%	3.2%	6.5%	3.8%	4.9%	21.7%
	1～2時間未満	3	14.3%	14.0%	16.2%	15.0%	10.6%	19.1%	12.7%	11.7%	19.6%
	30分～1時間未満	2	27.3%	22.4%	27.3%	28.1%	28.8%	28.2%	28.8%	24.3%	4.3%
	30分未満	1	47.7%	45.8%	44.5%	47.6%	55.2%	39.9%	49.8%	54.9%	10.9%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

② 集中力について

集中力については、すべての学部で前後期とも 4.0 前後で評価されており、おおむね、学生は集中して学習に取り組んでいると評価できる（表 11-1、表 11-3）。高評価（回答の 5 と 4）の割合は、国際センターが最も高く（前期 91.3%、後期 87.0%）、他学部で 60～80% 台であった（表 11-2、11-4）。授業担当教員には、学生の自己評価が上がるよう、さらなる授業改善・工夫が求められる。

表11-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜集中力＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問10】集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	6885	1221	540	823	1022	1640	1366	244	29
	ほとんどない	4	8470	1241	897	1048	1491	1954	1464	352	23
	どちらとも言えない	3	4146	833	509	560	731	597	754	160	2
	しばしばある	2	2189	381	326	324	353	329	385	91	0
	毎回ある	1	504	76	64	99	63	74	94	31	3
	平均点		3.86	3.84	3.65	3.76	3.83	4.04	3.89	3.78	4.32
表11-2 学生による授業評価アンケート（前期）＜集中力＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問10】集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	31.0%	32.5%	23.1%	28.8%	27.9%	35.7%	33.6%	27.8%	50.9%
	ほとんどない	4	38.2%	33.1%	38.4%	36.7%	40.7%	42.5%	36.0%	40.1%	40.4%
	どちらとも言えない	3	18.7%	22.2%	21.8%	19.6%	20.0%	13.0%	18.6%	18.2%	3.5%
	しばしばある	2	9.9%	10.2%	14.0%	11.4%	9.6%	7.2%	9.5%	10.4%	0.0%
	毎回ある	1	2.3%	2.0%	2.7%	3.5%	1.7%	1.6%	2.3%	3.5%	5.3%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
表11-3 学生による授業評価アンケート（後期）＜集中力＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問10】集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	4708	805	415	702	831	941	886	101	27
	ほとんどない	4	5711	708	677	990	1201	1047	934	141	13
	どちらとも言えない	3	2868	444	376	541	613	284	533	73	4
	しばしばある	2	1244	174	185	245	225	118	268	29	0
	毎回ある	1	276	44	46	80	21	35	42	6	2
	平均点		3.90	3.95	3.72	3.78	3.90	4.13	3.88	3.86	4.37
表11-4 学生による授業評価アンケート（後期）＜集中力＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問10】集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	31.8%	37.0%	24.4%	27.4%	28.7%	38.8%	33.3%	28.9%	58.7%
	ほとんどない	4	38.6%	32.6%	39.8%	38.7%	41.5%	43.2%	35.1%	40.3%	28.3%
	どちらとも言えない	3	19.4%	20.4%	22.1%	21.1%	21.2%	11.7%	20.0%	20.9%	8.7%
	しばしばある	2	8.4%	8.0%	10.9%	9.6%	7.8%	4.9%	10.1%	8.3%	0.0%
	毎回ある	1	1.9%	2.0%	2.7%	3.1%	0.7%	1.4%	1.6%	1.7%	4.3%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③ 出席状況について

出席状況については、すべての学部で前後期とも 4.0 以上で評価されており、学生の高い自己評価となっている（表 12-1、表 12-3）。高評価（回答の 5 と 4）の割合は、薬学部が最も高く（前後期とも 96.6%）、他学部ではほぼ同程度（80～90%台）であった（表 12-2、12-4）。

出席確認を厳密に行って 3 回欠席した学生の担任へ連絡を入れるというシステムや授業 3 の分の 1 を超えて欠席した場合には定期試験を受験できないという本学の学則が有効に機能しているものと考えられる。

表12-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜出席状況＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問11】 出席状況 授業には特別な 事情（公認欠 席、忌引きな ど）を除き、出 席しています か？	全出席	5	14222	1917	1429	1716	2131	3887	2547	556	39
	ほぼ出席	4	5489	1218	603	783	1073	552	1022	222	16
	ときどき欠席する	3	1737	442	212	237	320	109	351	64	2
	やや欠席が多い	2	524	125	55	72	106	33	107	26	0
	欠席が大変多い	1	222	50	37	46	30	13	36	10	0
	平均点		4.49	4.29	4.43	4.42	4.41	4.80	4.46	4.47	4.65
表12-2 学生による授業評価アンケート（前期）＜出席状況＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問11】 出席状況 授業には特別な 事情（公認欠 席、忌引きな ど）を除き、出 席しています か？	全出席	5	64.1%	51.1%	61.2%	60.1%	58.2%	84.6%	62.7%	63.3%	68.4%
	ほぼ出席	4	24.7%	32.5%	25.8%	27.4%	29.3%	12.0%	25.2%	25.3%	28.1%
	ときどき欠席する	3	7.8%	11.8%	9.1%	8.3%	8.7%	2.4%	8.6%	7.3%	3.5%
	やや欠席が多い	2	2.4%	3.3%	2.4%	2.5%	2.9%	0.7%	2.6%	3.0%	0.0%
	欠席が大変多い	1	1.0%	1.3%	1.6%	1.6%	0.8%	0.3%	0.9%	1.1%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
表12-3 学生による授業評価アンケート（後期）＜出席状況＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問11】 出席状況 授業には特別な 事情（公認欠 席、忌引きな ど）を除き、出 席しています か？	全出席	5	8342	1038	904	1309	1420	2003	1420	216	32
	ほぼ出席	4	4515	746	550	877	1000	340	900	90	12
	ときどき欠席する	3	1363	284	161	239	336	63	248	30	2
	やや欠席が多い	2	434	86	54	98	99	17	70	10	0
	欠席が大変多い	1	153	21	30	35	36	2	25	4	0
	平均点		4.38	4.24	4.32	4.30	4.27	4.78	4.36	4.44	4.65
表12-4 学生による授業評価アンケート（後期）＜出席状況＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問11】 出席状況 授業には特別な 事情（公認欠 席、忌引きな ど）を除き、出 席しています か？	全出席	5	56.3%	47.7%	53.2%	51.2%	49.1%	82.6%	53.3%	61.7%	69.6%
	ほぼ出席	4	30.5%	34.3%	32.4%	34.3%	34.6%	14.0%	33.8%	25.7%	26.1%
	ときどき欠席する	3	9.2%	13.1%	9.5%	9.3%	11.6%	2.6%	9.3%	8.6%	4.3%
	やや欠席が多い	2	2.9%	4.0%	3.2%	3.8%	3.4%	0.7%	2.6%	2.9%	0.0%
	欠席が大変多い	1	1.0%	1.0%	1.8%	1.4%	1.2%	0.1%	0.9%	1.1%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④ 知識の深まりについて

知識の深まりについては、すべての学部で前後期とも 4.0 以上で評価されており、学生の高い自己評価となっている（表 13-1、表 13-3）。高評価（回答の 5 と 4）の割合は、国際センターが最も高く（前期 94.7%、後期 100.0%）、他学部でほぼ同程度（70～80%台）であった（表 13-2、13-4）。多くの学生が知識の深まりを感じていると評価できる。

表13-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜知識の深まり＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問12】 知識の深まり この科目を受 講して、あな たの知識は深 まっています か？	大いに深まっている	5	7748	1419	827	1058	1208	1463	1469	265	39
	やや深まっている	4	10165	1393	1082	1261	1840	2376	1785	413	15
	どちらとも言えない	3	3215	682	302	381	490	596	608	153	3
	あまり深まっていない	2	789	177	101	113	97	126	142	33	0
	全く深まっていない	1	277	81	24	41	25	33	59	14	0
	平均点		4.10	4.04	4.11	4.11	4.12	4.11	4.10	4.00	4.63
表13-2 学生による授業評価アンケート（前期）＜知識の深まり＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問12】 知識の深まり この科目を受 講して、あな たの知識は深 まっています か？	大いに深まっている	5	34.9%	37.8%	35.4%	37.1%	33.0%	31.8%	36.2%	30.2%	68.4%
	やや深まっている	4	45.8%	37.1%	46.3%	44.2%	50.3%	51.7%	43.9%	47.0%	26.3%
	どちらとも言えない	3	14.5%	18.2%	12.9%	13.3%	13.4%	13.0%	15.0%	17.4%	5.3%
	あまり深まっていない	2	3.6%	4.7%	4.3%	4.0%	2.7%	2.7%	3.5%	3.8%	0.0%
	全く深まっていない	1	1.2%	2.2%	1.0%	1.4%	0.7%	0.7%	1.5%	1.6%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
表13-3 学生による授業評価アンケート（後期）＜知識の深まり＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問12】 知識の深まり この科目を受 講して、あな たの知識は深 まっています か？	大いに深まっている	5	5370	880	679	923	877	859	1003	111	38
	やや深まっている	4	6775	849	740	1191	1501	1170	1147	169	8
	どちらとも言えない	3	2076	329	226	330	433	296	409	53	0
	あまり深まっていない	2	446	89	38	83	64	80	79	13	0
	全く深まっていない	1	140	28	16	31	16	20	25	4	0
	平均点		4.13	4.13	4.19	4.13	4.09	4.14	4.14	4.06	4.83
表13-4 学生による授業評価アンケート（後期）＜知識の深まり＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問12】 知識の深まり この科目を受 講して、あな たの知識は深 まっています か？	大いに深まっている	5	36.3%	40.5%	40.0%	36.1%	30.3%	35.4%	37.7%	31.7%	82.6%
	やや深まっている	4	45.8%	39.0%	43.6%	46.6%	51.9%	48.2%	43.1%	48.3%	17.4%
	どちらとも言えない	3	14.0%	15.1%	13.3%	12.9%	15.0%	12.2%	15.4%	15.1%	0.0%
	あまり深まっていない	2	3.0%	4.1%	2.2%	3.2%	2.2%	3.3%	3.0%	3.7%	0.0%
	全く深まっていない	1	0.9%	1.3%	0.9%	1.2%	0.6%	0.8%	0.9%	1.1%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑤ 質問への積極性について

質問への積極性については、薬学部が2点台、国際センターが4点台、その他の学部は3点台で評価されており、まだ改善の余地がある（表14-1、表14-3）。高評価（回答の5と4）の割合は、国際センターが最も高く（前期89.5%、後期91.3%）、薬学部は20%台、生命工学部は30%台、その他の学部では40～50%台であった（表14-2、表14-4）。「質問はあるが、ほとんど質問していない」の割合が40%を超えているのは薬学部と生命工学部であった。両学部とも進級率が高いことから、質問事項の多くは友人同士で解決していると思われるが、質問6で記載したように、より質問しやすい環境づくりは必要である。また、「学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない」の割合が最も高かったの

は薬学部で約 14%であった。質問 11 の「講義への出席状況」は良好なため、「学修に取り組んでいない」というのは、講義を欠席しているという意味ではない。また、薬学部の進級率を考慮すると、14%の学生が全く学修に取り組んでいないとは考えにくい。「学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない」の最も可能性の高い実態としては、「授業内容をよく理解できていないため、質問すべきことがみつからない」のように思える。今後、この選択肢について、説明文章の再検討が必要かもしれない。

表14-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜質問への積極性＞実数と平均点														
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター			
【質問13】 質問への積極性 授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？	学修が十分進んでおり、質問の必要がない	5	6712	1309	774	900	984	944	1473	292	36			
	しばしば質問する	4	2524	529	332	387	269	398	493	101	15			
	ときどき質問する	3	3920	662	464	520	582	749	791	146	6			
	質問はあるが、ほとんど質問していない	2	7316	1063	620	899	1526	1833	1086	289	0			
	学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない	1	1722	189	146	148	299	670	220	50	0			
	平均点		3.23	3.45	3.41	3.35	3.03	2.81	3.47	3.34	4.53			

表14-2 学生による授業評価アンケート（前期）＜質問への積極性＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問13】 質問への積極性 授業内容について、質問したい と思うことはあ りますか？ま た、実際に質問 しますか？	学修が十分進んでおり、質問の必要がない	5	30.2%	34.9%	33.1%	31.5%	26.9%	20.5%	36.3%	33.3%	63.2%
	しばしば質問する	4	11.4%	14.1%	14.2%	13.6%	7.3%	8.7%	12.1%	11.5%	26.3%
	ときどき質問する	3	17.7%	17.6%	19.9%	18.2%	15.9%	16.3%	19.5%	16.6%	10.5%
	質問はあるが、ほとんど質問していない	2	33.0%	28.3%	26.5%	31.5%	41.7%	39.9%	26.7%	32.9%	0.0%
	学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない	1	7.8%	5.0%	6.3%	5.2%	8.2%	14.6%	5.4%	5.7%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表14-3 学生による授業評価アンケート（後期）＜質問への積極性＞実数と平均点													
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター		
【質問13】 質問への積極性 授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？	学修が十分進んでおり、質問の必要がない	5	4417	803	553	755	832	476	838	129	31		
	しばしば質問する	4	1768	312	274	361	221	168	375	46	11		
	ときどき質問する	3	2699	434	353	473	393	326	641	75	4		
	質問はあるが、ほとんど質問していない	2	4842	524	456	837	1158	1110	667	90	0		
	学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない	1	1081	102	63	132	287	345	142	10	0		
	平均点		3.24	3.55	3.47	3.30	3.05	2.72	3.41	3.55	4.59		

表14-4 学生による授業評価アンケート（後期）＜質問への積極性＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問13】 質問への積極性 授業内容について、質問したい と思うことはあ りますか？ま た、実際に質問 しますか？	学修が十分進んでおり、質問の必要がない	5	29.8%	36.9%	32.5%	29.5%	28.8%	19.6%	31.5%	36.9%	67.4%
	しばしば質問する	4	11.9%	14.3%	16.1%	14.1%	7.6%	6.9%	14.1%	13.1%	23.9%
	ときどき質問する	3	18.2%	20.0%	20.8%	18.5%	13.6%	13.4%	24.1%	21.4%	8.7%
	質問はあるが、ほとんど質問していない	2	32.7%	24.1%	26.8%	32.7%	40.1%	45.8%	25.0%	25.7%	0.0%
	学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない	1	7.3%	4.7%	3.7%	5.2%	9.9%	14.2%	5.3%	2.9%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑥ 意欲の高まりについて

意欲の高まりについては、すべての学部で前後期とも 4.0 前後で評価されており、学生の高い自己評価となっている（表 15-1、表 15-3）。高評価（回答の 5 と 4）の割合は、国際センターが最も高く（前期 100.0%、後期 97.8%）、他学部でほぼ同程度（60～70%台）であった（表 15-2、15-4）。ただし、まだ改善の余地はあるので、授業担当教員には、学生の自己評価が上がるよう、さらなる授業改善・工夫が求められる。

表15-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜意欲の高まり＞実数と平均点										
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	国際センター
【質問 14】 意欲の高まり この科目を受講 して、講義内容 を更に詳しく学 びたいと思いま すか？	大いに思う	5	6845	1285	738	978	1106	1248	1227	219
	やや思う	4	8739	1253	901	1077	1614	2096	1464	321
	どちらともいえない	3	4795	862	494	593	745	943	934	224
	あまり思わない	2	1323	242	149	149	134	244	325	80
	全く思わない	1	492	110	54	57	61	63	113	34
	平均点		3.91	3.90	3.91	3.97	3.98	3.92	3.83	3.70

表15-2 学生による授業評価アンケート（前期）＜意欲の高まり＞回答の割合										
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	国際センター
【質問 14】 意欲の高まり この科目を受講 して、講義内容 を更に詳しく学 びたいと思いま すか？	大いに思う	5	30.8%	34.2%	31.6%	34.3%	30.2%	27.2%	30.2%	24.9%
	やや思う	4	39.4%	33.4%	38.6%	37.7%	44.1%	45.6%	36.0%	36.6%
	どちらともいえない	3	21.6%	23.0%	21.1%	20.8%	20.4%	20.5%	23.0%	25.5%
	あまり思わない	2	6.0%	6.4%	6.4%	5.2%	3.7%	5.3%	8.0%	9.1%
	全く思わない	1	2.2%	2.9%	2.3%	2.0%	1.7%	1.4%	2.8%	3.9%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表15-3 学生による授業評価アンケート（前期）＜意欲の高まり＞実数と平均点										
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	国際センター
【質問 14】 意欲の高まり この科目を受講 して、講義内容 を更に詳しく学 びたいと思いま すか？	大いに思う	5	4795	829	624	834	792	732	839	110
	やや思う	4	6000	712	620	1048	1344	1144	996	126
	どちらともいえない	3	2958	458	340	483	593	409	591	84
	あまり思わない	2	807	121	93	152	129	108	178	25
	全く思わない	1	247	55	22	41	33	32	59	5
	平均点		3.97	3.98	4.02	3.97	3.95	4.00	3.89	4.72

表15-4 学生による授業評価アンケート（前期）＜意欲の高まり＞回答の割合										
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	国際センター
【質問 14】 意欲の高まり この科目を受講 して、講義内容 を更に詳しく学 びたいと思いま すか？	大いに思う	5	32.4%	38.1%	36.7%	32.6%	27.4%	30.2%	31.5%	31.4%
	やや思う	4	40.5%	32.7%	36.5%	41.0%	46.5%	47.2%	37.4%	36.0%
	どちらともいえない	3	20.0%	21.1%	20.0%	18.9%	20.5%	16.9%	22.2%	24.0%
	あまり思わない	2	5.5%	5.6%	5.5%	5.9%	4.5%	4.5%	6.7%	7.1%
	全く思わない	1	1.7%	2.5%	1.3%	1.6%	1.1%	1.3%	2.2%	1.4%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑦ 学修の成果について

学修の成果については、すべての学部で前後期とも 4.0 前後で評価されており、学生の高い自己評価となっている（表 15-1、表 15-3）。高評価（回答の 5 と 4）の割合は、国際セン

ターが最も高く（前期 100.0%、後期 97.9%）、他学部ではほぼ同程度（70～80%台）であった（表 15-2、15-4）。ただ、ほとんどの学部で「大いに思う」ではなく「やや思う」という回答が最も多かった。もう一步の努力が学生および教員に求められるところである。

表16-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜学修の成果＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問15】 学修の成果 この科目であ なたが得た成 果を5段階で 自己評価して ください。	大いに思う	5	6759	1398	726	900	1007	1211	1254	224	39
	やや思う	4	10309	1367	1081	1329	1864	2398	1836	416	18
	どちらともいえない	3	4002	733	399	475	652	788	770	185	0
	あまり思わない	2	836	174	97	110	104	171	142	38	0
	全く思わない	1	288	80	33	40	33	26	61	15	0
	平均点		4.01	4.02	4.01	4.03	4.01	4.00	4.00	3.91	4.68

表16-2 学生による授業評価アンケート（前期）＜学修の成果＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問15】 学修の成果 この科目であ なたが得た成 果を5段階で 自己評価して ください。	大いに思う	5	30.5%	37.3%	31.1%	31.5%	27.5%	26.4%	30.9%	25.5%	68.4%
	やや思う	4	46.4%	36.4%	46.3%	46.6%	50.9%	52.2%	45.2%	47.4%	31.6%
	どちらともいえない	3	18.0%	19.5%	17.1%	16.6%	17.8%	17.2%	19.0%	21.1%	0.0%
	あまり思わない	2	3.8%	4.6%	4.2%	3.9%	2.8%	3.7%	3.5%	4.3%	0.0%
	全く思わない	1	1.3%	2.1%	1.4%	1.4%	0.9%	0.6%	1.5%	1.7%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表16-3 学生による授業評価アンケート（後期）＜学修の成果＞実数と平均点											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センター
【質問15】 学修の成果 この科目であ なたが得た成 果を5段階で 自己評価して ください。	大いに思う	5	4658	842	612	766	743	629	909	121	36
	やや思う	4	7020	860	771	1269	1525	1264	1170	152	9
	どちらとも言えない	3	2517	367	253	401	533	412	486	64	1
	あまり思わない	2	468	72	45	101	75	95	71	9	0
	全く思わない	1	144	34	18	21	15	25	27	4	0
	平均点		4.05	4.11	4.13	4.04	4.01	3.98	4.08	4.08	4.76

表16-4 学生による授業評価アンケート（後期）＜学修の成果＞回答の割合											
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	国際センタ
【質問15】 学修の成果 この科目であ なたが得た成 果を5段階で 自己評価して ください。	大いに思う	5	31.5%	38.7%	36.0%	29.9%	25.7%	25.9%	34.1%	34.6%	78.3%
	やや思う	4	47.4%	39.5%	45.4%	49.6%	52.7%	52.1%	43.9%	43.4%	19.6%
	どちらともいえない	3	17.0%	16.9%	14.9%	15.7%	18.4%	17.0%	18.3%	18.3%	2.2%
	あまり思わない	2	3.2%	3.3%	2.6%	3.9%	2.6%	3.9%	2.7%	2.6%	0.0%
	全く思わない	1	1.0%	1.6%	1.1%	0.8%	0.5%	1.0%	1.0%	1.1%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

4. アンケート結果に対する学科の報告書

本学では、学科単位でカリキュラムを編成しており、授業の点検・評価を学科単位で行うことが適切である。平成 29 年度にアンケート調査を実施した各学科の科目について、学科長に報告書の作成を依頼した。

① 経済学部経済学科

【1】実施期間 前期：平成 29 年 6 月 30 日（火）～7 月 14 日（金）

後期：平成 29 年 12 月 11 日（月）～1 月 19 日（金）

【2】対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、経済学科では前期 56 科目、後期 61 科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する 8 項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。経済学科の教員の板書、話し方、計画性等の授業技術は十分に高いレベルを有していると判断できる。

分析結果を踏まえた改善方策：経済学科の教員の授業技術について、学生は標準以上の評価をしているが、今後も一層の改善努力を試みる予定である。全般的に評価が高くても、常に改善の余地が存在する。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：「関連学習の準備」の自己評価が顕著に低くなっている。学生の自己点検の部分にはまだ改善の余地があると言える。

分析結果を踏まえた改善方策：全学的に取り組んでいる準備学習の充実への努力を継続する必要がある。また、学生に対してアルバイトの時間が過多にならないように指導して、準備学習のための時間とエネルギーを確保することが肝要である。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求めた。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回、定期試験実施時、または Cerezo を通じて当該授業科目担当教員が行った。その詳細を提出された報告書に記載している。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

- (1) 学生の反応に合わせた改善に努め、学生の満足度を高めていきたいが、学内業務の負担過多によって、時間の余裕も限られている。
- (2) 集中力に関しては後ろの方に座っている学生の多くがスマホを見ており、注意しても一時スマホから目を離すのみである。これをどのように改善するかを考えているが正解が見つからない。
- (3) 授業開始当初と、授業終了前での「学生ができるようになったこと」の比較を明確にできれば、より学生の学習意欲を引き出せるのではないかと思われる。

【9】 総 括

今回のアンケート調査では、本学科における授業の実施と学生の学修成果の実態を表す結果が得られたと考えている。上述のように、授業改善に向けた課題も明らかになった。

② 経済学部国際経済学科

【1】 実施期間 前期：平成 29 年 6 月 30 日（火）～7 月 14 日（金）

後期：平成 29 年 12 月 11 日（月）～1 月 19 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、国際経済学科では前期 21 科目、後期 30 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は **Cerezo** を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：国際経済学科の学生による授業評価において、前期・後期ともに全学よりも評価が低いのは、「計画性」と「講義の工夫」であり、前期においては「難易の適切性」も全学平均を下回ったが後期には改善されている。また、「講義の満足度」については、前期に比べ後期は 0.16 ポイント上昇している。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：前期の調査においては「集中力」「出席状況」「知識の深まり」「意欲の高まり」「学習の成果」という主要項目が全学の平均値を下回っていたが、後期には全学の平均値を下回るのは「出席状況」のみに改善された。全学の平均値を上回っているものの「関連学習」と「集中力」については低い数値である。

分析結果を踏まえた改善方策：「計画性」「講義の工夫」と「集中力」「出席状況」は関連性があると考えられる。評価の低い「計画性」と「講義の工夫」に関しては講義開始時に本講義の到達目標を学生に明確に示し、大人数の講義では難しいものの、一方的な講義ではなく、双方向型またはアクティブラーニング型の講義手法を取り入れたいと多くの教員が考えている。こうした講義手法を少しでも取り入れることで、学生の講義参加への意欲を高めたい。

【6】 教員へのフィードバックについて

現状においては各教員にアンケート結果を配布し、アンケート報告書を提出してもらう中で、報告書に問題がある場合やアンケート回答数が受講者数に比べ以上に少ないケースのみ学科長から質問している。

【7】 学生へのフィードバックについて

大多数の教員が最終回の授業または **Cerezo** 上にて学生にアンケート結果と改善点についてフィードバックをしている。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) Compared to the first term, I tried to be a little bit more strict in terms of

classwork and assignments. I think this was a good decision but it's important to maintain a balance between hard work and enjoyment.

- (2) ヴィジュアルに、身近なテーマを取り上げ分かり易く説明するように、工夫したいと思います。
- (3) より広く学生の声拾えるため、現在実行している講義後の感想ノートの回収を持続したい。あと、配布している講義資料（PPT）の容量はゼルコパやセレッソにアップできないのは残念。しかし、事前予習及び履修効果を高めるため、今後外部サード利用を工夫している。（大学のゼルコパやセレッソなどの利用環境も早く整えて頂きたい。）
- (4) 特に経済学の基本科目については、必要に応じて補習など学習支援をする。

【9】 総 括

各教員のすべての講義についてアンケート調査を実施することや、極めて人数の少ない講義を除外することで、学生による授業評価アンケートの信頼性はかなり高まっていると思われる。しかし、依然として人数の多い科目と少ない科目による評価の格差は見受けられる。国際経済学科教員の場合は経済学部全体の専門科目を受け持つケースと学科の学生中心の少人数科目を受け持つケースがあるので、評価については慎重に見極める必要がある。特に学科の専門科目については独自性を前面に打ち出し、低学年から双方向型・アクティブラーニング型の講義を行うことで学生の学習意欲を高めていきたい。

③ 経済学部税務会計学科

- 【1】 実施期間 前期：平成 29 年 6 月 30 日（火）～7 月 14 日（金）
後期：平成 29 年 12 月 11 日（月）～1 月 19 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、税務会計学科では前期 23 科目、後期 39 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

<前期>

「質問 8 講義の満足度」では、全学（4.13）、経済学部（4.12）と比較して、税務会計学科は、4.07 と満足度が低いと考える。

・「質問 1～8 の平均」は、全学（4.35）、経済学部（4.29）と比較して、税務会計学科は、4.23 と低いと考える。

<後期>

「質問 8 講義の満足度」では、全学（4.19）、経済学部（4.22）と比較して、税務会計学科は、4.31 と満足度が高くなっている。

・「質問 1～8 の平均」は、全学（4.39）、経済学部（4.37）と比較して、税務会計学科は、4.43 と高くなっている。

・前期と比べて後期は評価科目の結果が全学、学部と比較して高く、各教員が改善を行った結果良くなったのではないかと考える。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

<前期>

「質問 9～15 の平均」は、全学（3.65）、経済学部（3.66）と比較して、税務会計学科は、3.63 と低い。

<後期>

「質問 9～15 の平均」は、全学（3.66）、経済学部（3.72）と比較して、税務会計学科は、3.79 と高いと考える。

・前期と比べて後期は評価科目の結果が全学、学部と比較して高く、各教員が改善を行った結果良くなったのではないかと考える。

分析結果を踏まえた改善方策：

・前期と比べて後期は、「授業評価アンケート」と「学生の自己点検」のどちらも評価科目が全学、学部と比較して高くなっている。各先生が前期で評価が低かった項目や講義内容を見直したため、後期では良くなったのではないかと考える。

このように評価を行い、全学、学部で比較することで、どこが良くて、どこが足りないのか各自理解できたと考える。

改善方策としては、①事前学習を学生に課することで、講義に取り組み姿勢が生まれる、②ただ単に教えるのではなく、学生に質問をしたり、学生の興味を引くような内容の講義にすること、等が挙げられるのではないかと考える。

【6】 教員へのフィードバックについて

・前期、後期とも教員へのフィードバックは、メールで各教員へ提出し、各先生から締切内に結果報告書を受け取っている。全員締切内に提出を行った。

【7】 学生へのフィードバックについて

・前期、後期とも各教員が、授業時間内、定期試験内、セレッソで学生へのフィードバックを行っている。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

- (1) 会計分野では、公認会計士、企業の財務担当者等のゲストスピーカーを招聘し、現場の様子を紹介してもらう。
- (2) 講義中に、関連する新聞記事を紹介する。
- (3) 毎回確認テストをするとともに、次の授業で確認テストの開設をする。
- (4) 寝ないように質問をする。
- (5) 簿記講義では、「演習を解いた後、個別に講師のチェックを受けたら帰れる」というルールにしたところ、先生と個別の学生が話すきっかけになり、学生は早く帰りたいがために集中し、最後は良い雰囲気になった。
- (6) 01202 教室のマイクの接続不良がひどく、取り替えていただきたい。

【9】 総 括

前期と比べて後期は、「授業評価アンケート」と「学生の自己点検」のどちらも評価科目が全学、学部と比較して高くなっている。これは各教員が前期の評価を受けて改善を行った結果良くなったのではないかと考える。今後もこれらの評価科目について、さらに改善を行い、より良い講義を実施していきたいと考える。

④ 人間文化学部心理学科

【1】 実施期間 前期：平成 29 年 6 月 30 日（火）～7 月 14 日（金）

後期：平成 29 年 12 月 11 日（月）～1 月 19 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、心理学科では前期 15 科目、後期 12 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は **Cerezo** を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：心理学科はすべての項目で、前期後期ともに全学平均よりも高い数値である。特に教員への授業評価数値が高く、学科の全教員がポリシーに沿った、分かりやすい授業を実施していると考えられる。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：全項目で、前期後期ともに全学平均よりも高く、学生たちの学修成果を上げる授業ができていると考えられる。項目ごとの平均値を比較すると、「関連学習」「質問への積極性」が低いため、対策を検討する必要がある。

分析結果を踏まえた改善方策：この 2 項目については、数値の高い教員から授業への工夫などを発表してもらい、他の教員の参考にしていくために学科内で **FD** を実施する。

【6】 教員へのフィードバックについて

個別に、各自の結果をフィードバックした。

【7】 学生へのフィードバックについて

授業あるいはテストの時間の利用、もしくは **Cerezo** を利用して、各教員がフィードバックした。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 「関連学習」の時間を増やすために、**Cerezo** にあげた次回の単元についてまとめさせ、次回授業でテストを実施する。発表があると、「関連学習」時間が増えるので、グループではなく、各自が責任をもって発表するような工夫が必要である。
- (2) 「質問への積極性」の数値が高い授業では、個別のフィードバックがされていたり、

質問が評価項目の一つとなっていたりしていた。検査の実施の授業では、マニュアルだけでは実施が難しいため、質問が多かった（数値が高かった）と思われる。高い数値と教員の評価は必ずしも一致しておらず、学生の評価は高い授業の担当者が、学生が積極的に質問しているとは理解していない。教員に感想を述べることが学生の中で、「質問」と混同されている可能性がある。

【9】 総 括

学科の平均値は全学平均値よりも高かったが、個別にみていくと、低い項目もあるため、今後も FD や意見交換を通じて、より良い講義を目指すことが重要である。また学生の評価と教員評価が一致しない項目があり、これらの項目については設問を検討する必要性が視された。

⑤ 人間文化学部人間文化学科

【1】 実施期間 前期：平成 29 年 6 月 30 日（火）～7 月 14 日（金）

後期：平成 29 年 12 月 11 日（月）～1 月 19 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、人間文化学科では前期 49 科目、後期 46 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：全教員が授業の工夫、改善を継続していることがよくわかる。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：学生も教員の意図をよく理解していると思われるが、さらに準備学修や発展学修を促す必要がある。

分析結果を踏まえた改善方策：講義内で学生に周知させる。

【6】 教員へのフィードバックについて
学科会議にて意見交換を行う。

【7】 学生へのフィードバックについて
講義内、定期試験、セレッソ等によりフィードバックを行なった。

【8】 学科教員からの提案、意見
各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。
特になし。

【9】 総 括
教員は授業を工夫し、その思いは学生にも届いていると思われる。学生のさらなる学修意欲の喚起が課題であろう。

⑥ 人間文化学部メディア・映像学科

【1】 実施期間 前期：平成 29 年 7 月 3 日（月）～7 月 19 日（水）
後期：平成 29 年 12 月 11 日（月）～1 月 9 日（金）

【2】 対象科目の選定
全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、メディア・映像学科では前期 17 科目、後期 24 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容
アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計
Cerezo を利用して集計を行った。

【5】 調査結果に対する点検
◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する 7 項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。8 項目の平均は 4.48 であり、総合的には授業技術と講義内容は妥当な水準となっている。総合的満足度を問う設問 8 は 4.27 であり、授業

技術等に較べて多少低い値であるが妥当な水準と考えられる。ただし、教員間の差は大きく、3.73 ～4.71 となっている。

分析結果を踏まえた改善方策：学科の授業技術について、学生は標準以上の評価をしているが、授業間で差は大きくなっている。授業技術について研修を行うなどの対策が必要と考えられる。このような対策によって総合的な満足度は更に向上すると考えられる。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：学生自身の学習点検に関する8項目の平均値は3.69であった。学生自身が自戒を込めて真摯に質問1から質問8よりも低めに回答した結果とも考えられる。ただし、関連学習については1.95と昨年度より伸びたとは言え非常に低い数値となっており、準備学習が不十分であると考えられる。学科専門科目には実習を含む演習系の科目も多く、事前の準備の難しいものもあり、この結果からだけでは学生の意欲を読み取ることはできない。また平成28年度から始めたノートPC必携化によって、授業時間外でも学習可能な環境になったが、学生にはその自覚が余り無いという事が伺われる。

分析結果を踏まえた改善方策：学生が学習の必要性を実感し、自ら学ぶ態度を身につける必要がある。この課題を達成することは至難の業である。まずは、非常に低い数値となっている関連学習について、事前学習の方法等を具体的に指示し、実施状況を定期的に確認するなどして、学習する習慣付けを行うことから始める必要がある。

また、シラバスにも事前学習の内容と時間数を記入した。この事によって、学生の自覚が促されるものと期待している。

ノートPC必携化によって環境が大きく変化していることの自覚を促し、授業時間外（学内・学外含め）での学習の進め方などをシラバスに沿ってアドバイスする必要性を感じた。

【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員（非常勤も含む）対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は100%であった。

【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックはCerezo、または講義中、定期試験実施時、または関連科目の講義中に当該授業科目担当教員が行った。その詳細を提出された報告書に記載している。

【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された

問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

- (1) これまでの授業形態を見直し、来年度より新たな科目（演習系科目）が設定されることから、学習効果に期待している。
- (2) 演習系科目の増加（集約）によって、事前学習が減少してしまわないような指導が必要。

【9】 総 括

授業評価アンケートでは概ね高い評価を得ており、点検を怠らず現状を継続することが望ましいといえる。ただし、評価に大きな幅があることには注意する必要がある。

学生の関連学習 1.95 と低い値について、シラバスに事前学習の内容ばかりでなく時間数も記したことを周知し、適切に時間確保を誘導する指導方法を検討し、改善を促すことが課題だと判明した。

⑦ 工学部スマートシステム学科

- 【1】 実施期間 前期：平成 29 年 6 月 30 日（火）～7 月 14 日（金）
後期：平成 29 年 12 月 11 日（月）～1 月 19 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、スマートシステム学科では前期 33 科目、後期 23 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する 7 項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。7 項目の平均は前後期合わせて 4.32 であり、これは工学部平均の 4.27、全学平均の 4.22 をも上回っており、本学科教員の板書、話法、計画性等の授業技術は良好なレベルを有していると判断できる。さらに、総合的満足度を問う設問

8 では 4.22 と、全学平均、学部平均共に 0.06 ポイント上回り、さらに昨年より 0.13 ポイント、一昨年に比べると 0.37 ポイント上昇し、単純に比較はできないが年々改善が図られたと評価できる。

分析結果を踏まえた改善方策：本学科教員の授業技術について、学生は標準以上の評価をしているが、今後も一層の改善努力を試みる予定である。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：設問 9～15 の集計結果は 3.74 であり、工学部平均の 3.67、全学平均の 3.66 を超えている。また、これは昨年の 3.64 を 0.1 ポイント上回り、学生が積極的になっていると評価している。

分析結果を踏まえた改善方策：学生が学修の必要性を実感し、自ら学ぶ姿勢を示していると評価する。実験のレポート指導、ICT を用いた反転授業、PBL や SGD 等の教育方法を取り入れつつあることも評価されていると考える。今後更に研鑽したい。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は 100%であった。学生に対するフィードバックは各期終了までに科目ごとに行った。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回までに、または定期試験実施時に当該授業科目担当教員が行った。科目によっては、講義最終回以降に Cerezo を通じて再度授業アンケートを実施し、詳細な意見聴取をしている。その詳細を提出された報告書に記載している。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書に基づき 3 月 13 日に学科内 FD としての意見交換を行った。提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

昨年、Cerezo を用いたことで、回答率が 50%に満たない非常に低い科目があったが、今年度は積極的に学生に回答を促したため適切な回答率となった。しかしながら、調査科目数が増えたことによるためか、自由記述の件数が減少している。スコアの上だけでの不満点では、具体的に何を改善すればよいのかが分からないので、自由記述があることが望ましい。評価の理由を書くように誘う工夫はないだろうか。

【9】 総 括

年度を追うごとに、評価結果が上昇しており、嘗ては全学平均を下回っていたが、今年度は全学平均も上回るようになった。更に、準備学習も高いスコアを示しており、単位制の意図が浸透しつつあると評価している一方で、この印象が学科の定員充足率の低下の一因となっていないことを祈るばかりである。

⑧ 工学部建築学科

- 【1】実施期間 前期：平成 29 年 6 月 30 日（火）～7 月 14 日（金）
後期：平成 29 年 12 月 11 日（月）～1 月 19 日（金）

【2】対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、建築学科では前期 34 科目、後期 43 科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する 8 項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。8 項目の学科平均値は前期が 4.38、後期が 4.21 であり、ともに全学平均、学部平均値とほぼ同程度であった。昨年度の比較では、昨年度の前期の平均値（4.21）より今年度の前期がやや改善されているが、後期については昨年度の平均値（4.28）をやや下回った。項目別に見ると、「難易の適切性」については、前期、後期ともに全学平均値をやや上回った。また、「計画性」、「質問への誠意」についても、全学及び学部平均値を上回っている。全学平均値より低い項目は、後期の「授業時間」のみであった。他の項目については、ほぼ全学及び学部平均値とほぼ同程度であった。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：質問 9 から 16 までの 8 項目の学科平均値は、前期（3.70）、後期（3.67）であり、学部平均値、全学平均値とほぼ同程度であった。項目別に見ると、前期については、全学、学部平均値とほぼ同程度であったが、後期については、「知識の深まり」、「質問への

積極性」、「意欲の高まり」、「学習の成果」の4項目については、全学及び学部平均をやや上回ったが、「集中力」、「出席状況」、の2項目については、全学及び学部平均をやや下回った。全体的に前年度（前期（3.57）、後期（3.65））を平均値としては上回り、项目的にはばらつきがあるが、改善の成果がみられる。

分析結果を踏まえた改善方策：教員の授業評価に関する項目として、昨年度同様に講義の改善方策については、座学系授業において演習形式及び例題の取り入れる工夫、具体的事例や最近の事例を紹介すること、Cerezoの積極的活用などを検討したい。学生の能動的学習意欲向上のために「質問への対応」について、質問しやすい雰囲気、授業中の質問コーナーを設けること等を検討し、改善につなげたい。

学生の自己点検に関する項目として、他の項目と比較して相対的に低い「集中力」については、座学系科目については演習形式の採用、演習科目については授業時間が2コマと長時間になるので、グループによる指導方法、1コマごとの講評の実施などを検討したい。また、「出席状況」については、授業担当者だけではなく、クラス担任の先生との連携体制にて改善につなげたい。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、対象科目担当教員に対して、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は100%であった。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回までに、当該授業科目担当教員が行った。その詳細を提出された報告書に記載している。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- （1）座学の授業では映像などの資料を取り入れる等座学以外の内容を組み込む工夫を行う。
- （2）演習系の授業では学生の能力に応じた指導を行う。
- （3）単独の授業だけではなく、授業以外での学習習慣を身につけさせる工夫を行う。
- （4）対話型の授業とCerezoの効果的な使い方を試みたい。
- （5）予習を徹底させ、授業中にもう少し練習問題を解かせる授業を行う。

【9】 総 括

前期、後期ともに昨年度と同様に、全学及び学部平均とほぼ同程度の平均値となっている。回答率（出席率）は、必修科目、選択科目による差はあるが、学科平均が前期 69%、後期 58%であり、全学平均とほぼ同程度ではあるが、昨年度の前期 90%、後期が 74%と比較して大幅に低下している。アンケート対象科目の増加が学生への負担となり、その結果回答率の低下につながっていることが予測され、来年度の検討課題として提示したい。また、一昨年度から欠席、遅刻の扱いについての学科統一基準をもとに出欠管理を実施しているが、後期の回答率の大幅な減少の原因については、学科内でも検討したい。教員の授業評価に関する 8 項目の平均値については、極端に低い科目はなく、昨年同様に教員に対する評価値が平均化しつつあると考えられる。また、非常勤講師の評価値もほぼ学科平均値前後であった。今回の結果を踏まえ、報告書に記載されている貴重な提案を学科内で共有し、今後の授業改善に取り組みたい。

⑨ 工学部情報工学科

【1】実施期間 前期：平成 29 年 7 月 3 日（月）～7 月 19 日（水）

後期：平成 29 年 12 月 11 日（月）～1 月 9 日（金）

【2】対象科目の選定

本学に勤務する教員の演習科目を除く受講生が 5 人以上の授業のアンケートを実施する方針に従い、情報工学科では前期 23 科目、後期 17 科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

Cerezo を利用して集計を行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

教員の授業評価に関する 7 項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。7 項目の通年の平均は 4.37 であり、工学部平均の 4.41 より、若干下回ったが、基準値 3.5 を大きく上回っており、本学科教員の板書、話法、計画性等の授業技術は十分に高いレベルを有していると判断できる。昨年度の 7 項目の通年の平均である、4.27 も上回った。また、総合的満足度を問う設問 8 では 4.14 と、工学部平均（前期：4.10、

後期：4.16）と同等であった。標準値 3.5 を上回るものの、授業技術等に較べて低い値であった。しかしながら、昨年の 4.00 より良くなっており、教員の改善の努力が現れている。

分析結果を踏まえた改善方策：

本学科教員の授業技術について、学生は標準値以上の評価をしているが、論理的思考を必要とする科目の評価が相対的に低い。また、本学科が指標としている資格試験の基本情報技術者試験で出題される分野は総じて論理的思考を必要とする科目である。教務委員を中心に、カリキュラム見直しを検討する。

また、昨年の報告でも記載したが、学生と教える側のインタラクションが多い授業の満足度が高い傾向がある。特に、満足度の高いみらい工学プロジェクトの「ゲーム製作によるソフトウェア開発工程体験」では、上級生が下級生を指導する形態がとられている。この結果を踏まえて、このような授業形式を増やして行く。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：最初の 6 項目は、学生の授業への取り組み方の設問と授業への意欲を問う設問で構成されている。集計結果については、工学部平均の 3.60 を若干下回る 3.54 であった。しかしながら、昨年の 3.50 に対して改善している。学修の成果でも、工学部平均 4.05 に対して、学科平均は 3.98 とやや下回っている。この部分については、昨年の 3.50 に対して大きく改善している。

分析結果を踏まえた改善方策：特に、学生の「授業への準備」の項目が劣っている。この項目はなかなか向上していない。昨年実施した、セレッソ等を活用し、受動的な講義に留まらず、準備学修の成果を学生が発表をするようなアクティブラーニングを増やしていくことを継続することで改善したい。

【6】教員へのフィードバックについて

2 月 3 日にアンケート結果を各教員に配布し、その結果に基づく報告書が 2 月 12 日頃に提出された。また、集計を元に、3 月 14 日に学科内の FD を行い、Good Practice の情報共有を行った。

【7】学生へのフィードバックについて

2/3 までに各授業でアンケート結果の開示と、学生からの意見に対する回答が行われた。

【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 学生の集中力が保てるのは、短い時間であるが、BYOD を使った授業を行うこと

により、授業手法を適宜変えることが可能になり、集中力を保てるようになった。

(2) 情報工学科では BYOD を前提とした授業を従来から行っていた。

(3) BYOD で、手元で資料を見ることができる。積極的に参加している学生には効果
が大きい。

【9】 総 括

論理的思考を必要とする科目に対する対応が必要であることが明らかになったので、今年度から、どのような対応をすべきか教務委員会を中心に検討を行うことになった。

昨年度より、学生と教える側のインタラクションが多い授業の満足度が高い傾向があることが明らかになっているので、上級生が下級生を指導するような形態の授業を増やすことも検討する。

今回のアンケート調査でも、昨年度に引き続き「授業の準備」の結果が大変悪かった。度の科目も事前学習を行わなければならないが、科目によってその量のバランスが良くない場合、事前学習を行うことができなくなる科目が発生するなどの問題が明らかになっている。

⑩ 工学部機械システム工学科

【1】 実施期間 前期：平成 29 年 6 月 30 日（火）～7 月 14 日（金）

後期：平成 29 年 12 月 11 日（月）～1 月 19 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、機械システム工学科では前期 37 科目、後期 33 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

評価点数の分布にはばらつきがあるものの、特に大きな問題はなかった。得点は授業に対す

る受講学生の率直な受け止め方を反映したものと考えられる。ただし、実習科目などに高い点数が偏るなど、一概に点数が授業の質を評価したものとはいえない面もあり、評価結果は慎重に解釈する必要があると考えられる。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：「出席状況」、「知識の深まり」、「学習の成果」などの面ではおおむね良好な結果が得られた。他方、「関連学習」の点数は概して低く、多くの科目で1点台にとどまった。また「質問への積極性」についても比較的点数が低く、多くの科目で3点台であった。

分析結果を踏まえた改善方策：

全体的に、特に「関連学習」すなわち自宅学習の点数が低かったことから、予習・復習の課題の与え方に改善が必要である。**Cerezo** のより積極的な活用などを検討する必要がある。

「質問への積極性」の改善策としては、授業のアクティブ・ラーニング化を進めることが、一つのカギになると考えられる。

【6】 教員へのフィードバックについて

最終集計結果を学科教員に配信するとともに、教室会議において結果をレビューし、トライアル実施としての観点などから意見交換を行った。

【7】 学生へのフィードバックについて

授業実施期間中に実施可能な科目は各授業時間中に口頭でフィードバックを行い、その他の科目は定期試験時間の冒頭に口頭で、あるいは **Cerezo** のコースニュースのページなどを介してフィードバックを行った。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 質問への積極性を高める方策として、学生の席への巡回を密に行う。また集中力と緊張感を持たせるため、学生の発言機会を増やすなど、講義科目においても、何らかの形でアクティブ・ラーニング的要素を取り入れる。
- (2) セレソや必携化パソコンの活用を進めることで予習復習を促す。セレソの活用と並行して、プロジェクト課題等の導入を進めるなど、ICT 機器の活用とアクティブ・ラーニング形式の併用で学修効果を上げる。
- (3) 体験学習の目的を保持しながら演習内容の平易化と授業資料の充実を図り、内容の理解が深まるように努めるなど、アンケート結果に基づいて授業の難易度調整

を図る。

- (4) 自由記述欄の意見から授業の難易度などが判定できることから、自由記述欄の記述内容に配慮して授業の内容や難易度を検討する。

【9】総 括

全科目での授業評価アンケートは、その実施や結果のまとめの手間と時間が増加した面はあるが、大きな戸惑いはなく実施できたといえる。学科の授業を学生がどのように受け止めているかを総合的に把握し、改善策を立ててゆくため、今後も積極的に活用してゆく。講義科目以外の科目での実施については慎重論もあるが、アンケート結果の解釈を区別することで対応可能と考えられる。

⑪ 生命工学部生物工学科

- 【1】実施期間 前期：平成 29 年 6 月 30 日（火）～7 月 14 日（金）
後期：平成 29 年 12 月 11 日（月）～1 月 19 日（金）

【2】対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、生物工学科では前期 25 科目、後期 27 科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：授業準備、話し方、授業時間、講義の工夫、難易の適切性、講義の満足度において、学科平均がいずれも 4.00 を越えており、授業の技術においては問題ないと考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：難易の適切性、講義の満足度をさらに上げるような方策を講じていきたい。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：出席状況、知識の深まりに関しては、学科平均が 4.00 以上であり、学生の授業への取り組みは良好であると考ええる。しかしながら、関連学習に関しては、学科の平均が 2.0 を下回っており、授業の予習復習が乏しいと考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：学生が学習の必要性を実感し、自ら学ぶ態度を身につける必要がある。この課題を達成することは至難の業であるが、PBL や SGD 等の新しい教育方法を取り入れることも有効策の一つと考えられる。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員に対して集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は 100%であった。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは授業の最終回または定期試験時に教員ごとに行った。その詳細は提出された報告書に記載されている。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

授業評価アンケートの内容やシステムについての意見は特になかった。

【9】 総 括

学生の自発的な学修を促すような授業の組み立てを模索していく必要がある。このようなことを通して、講義の満足度の向上につなげていきたい。生物工学科では、カリキュラムの変更やシラバスの作成において十分に討議しているが、より実質的な議論を展開することが必要であろう。平成 30 年度のシラバス作成においては、学科内で徹底的な点検を実施した。

⑫ 生命工学部生命栄養科学科

【1】 実施期間 前期：平成 29 年 6 月 30 日（火）～7 月 14 日（金）

後期：平成 29 年 12 月 11 日（月）～1 月 19 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、生命栄養科学科では前期 33 科目、後期 26 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学修点検に関する 7 項目、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する 8 項目の中で、学科の平均値が学部平均値を 0.1 以上下回った項目は、前期が「授業準備」「話し方」「講義の工夫」「講義の満足度」の 4 項目、後期は「話し方」「講義の工夫」「難易の適切性」「講義の満足度」の 4 項目であった。昨年度と比べても悪化した項目があり、授業に改善の余地がある。個々の教員の評価に対する改善策は報告書に記載されている通りである。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：前期の集計では、学生自身の学修点検に関する 7 項目は、全体に低値であるが、前期は昨年度よりはいくらか改善した。しかし、後期は 7 項目中 5 項目で学部の平均値を 0.1 以上下回った。「関連学習」「質問への積極性」「学修の成果」は昨年に続いて低値であり、特に「質問への積極性」は前期-0.52、後期-0.33 下回り、改善が見られなかった。これらは毎回の調査で課題となっている項目であり、学生の授業に対する姿勢・モチベーションの改善が課題である。

分析結果を踏まえた改善方策：授業に臨む学生の態度に積極性が不足し、学修の成果に結びつきにくい傾向が示された。本学科は、栄養士・管理栄養士資格を目指す学科であり、目標は明確であるにもかかわらず、学修の動機づけが不十分なことが改めて示された。学生個々の目標を明確にするための取り組みを行っているが、十分な効果が表れていない。平成 30 年度は、個人目標の作成・再確認を引き続き行うとともに、キャリアデザインの講義を改める。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科の各教員に対して集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は 100% であった。

【7】 学生へのフィードバックについて

提出された報告書に記載している通り、すべての対象科目で講義最終回、定期試験実施時または Cerezo 等を介して担当教員が学生に対するフィードバックを行った。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- ・ 複数学科の学生が受講する一つの同じ授業なのに、アンケートでは取り扱いが異なり混乱した。（事前に大学教育センター運営委員会で説明のあった事項をメールで伝えたが、理解が不十分であった。また、できるだけ全員の意見を反映してほしいとの思いもあった。）
- ・ 複数教員担当科目では、何が問題なのか分析しにくい。教員ごとで行ってほしい

【9】 総 括

アンケート結果についても、多少のばらつきはあるものの全学の平均値のより低い傾向があった。授業の進め方などに改善点が多く、教員の創意・工夫が求められている。

本学科では、管理栄養士資格を目指す学生の指導にあたっているものの、学生の理解レベルと国家資格試験のレベルには開きがあり、講義の内容・難易度の設定が難しい。資格取得に対するモチベーションのばらつきも大きく、すべての学生の満足度を十分に満たしにくい。今後も学科の目標に合わせた授業を進める。

⑬ 生命工学部海洋生物科学科

【1】 実施期間 前期：平成 29 年 6 月 30 日（火）～7 月 14 日（金）

後期：平成 29 年 12 月 11 日（月）～1 月 19 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、海洋生物科学科では前期 31 科目、後期 40 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業技術に関する 8 項目の学科平均値は、前期科目では 4.41 であり昨年度の 4.38 を 0.03 ポイント上回ったとともに今年度の全学平均値 (4.35) 並びに学部平均値 (4.34) を上回った。また後期科目では 4.37 であり昨年度の 4.35 を 0.02 ポイント上回ったとともに今年度の学部平均値 (4.33) を上回ったものの、全学平均値 (4.39) より 0.02 ポイント低かった。これらの項目については前後期ともに標準値 (3.5) を上回っており、本学科教員の授業技術に概ね問題はないと判断している。講義の満足度を問う設問 8 の平均値は、前期科目では 4.24 であり昨年度の 4.20 から 0.04 ポイント上昇し、今年度の全学平均値 (4.13) よりも 0.11 ポイント高い値であった。また後期科目でも 4.24 と昨年度の 4.21 から 0.03 ポイント上昇し、今年度の全学平均値 (4.19) を 0.05 ポイント上回った。昨年度と比べて講義の満足度に改善がみられたことは学科教員の授業改善の努力が反映された結果と捉えている。

分析結果を踏まえた改善方策：上に述べたように学科全体としては継続的な改善傾向が見られているが、依然として、担当授業において講義の満足度が他の教員の担当授業と比べて低い教員がみられた。これらの教員からは教員個人の報告書において改善策がそれぞれ示されているが、学科長からも授業の内容や方法についてさらなる工夫を求めた。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：自己点検に関する 7 項目の学科平均値は、前期科目では 3.67 であり昨年度の 3.59 を 0.08 ポイント上回ったとともに、標準値 (3.5)、全学平均値 (3.64)、並びに学部平均値 (3.60) をいずれも上回った。後期科目では 3.66 であり、やはり昨年度の 3.62 を 0.04 ポイント上回った。またこの値は全学平均値 (3.66) と同じであり、標準値 (3.5) 及び学部平均値 (3.56) より高かった。学生の自己点検に関する項目についても、昨年度と比べて値が高くなったことは学科教員の授業改善の努力が反映された結果と捉えている。

分析結果を踏まえた改善方策：レポート作成を課した科目や毎講義時に発表を義務付けた科目などでは「関連学習」の項目で他の科目よりも値が高くなる傾向が見られた。また毎講義時に確認テストを行った「化学Ⅰ」ではポイントが低くなりがちな基礎的科目であるにも関わらず、「学修成果」の項目で全学平均を上回る値が得られた。他の科目においても、上記のような方法で授業時間外の学修を誘導することにより取り組み意欲や成果の改善を図ることが可能であると考えている。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果については、学科教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それぞれの科目について授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は 100%であった。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回、または定期試験実施時に当該授業科目担当教員が行い、その詳細は提出された報告書に記載されている。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

- (1) 学生が質問をしやすいように授業時間の最後に質問の時間を設けるようにしたい。
- (2) 学生に授業で学んだ知識が今後の学科の教育・研究や将来の仕事においてどのように関連し、役立つのかということを明確に示すようにしたい。
- (3) 発表形式や対話形式の導入により、学生たちの発言機会を増やすようにしたい。
- (4) 毎回の講義の予習内容を具体的にセレッソに掲示するようにしたい。
- (5) 学生は帰宅後はアルバイトなどで追われており、なかなか事前学習に時間を割くのは難しく、スマートフォンなどで簡易に調べ学習をさせるなどの工夫が必要かもしれない。

【9】 総 括

本学科の授業に関するアンケート結果においては昨年度、今年度と継続して改善がみられているが、今後も各授業の方法・内容に一層の工夫を加えていく努力を継続したい。

⑭ 薬学部薬学科

- 【1】 実施期間** 前期：平成 29 年 6 月 30 日（火）～7 月 14 日（金）
後期：平成 29 年 12 月 11 日（月）～1 月 19 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、薬学科では前期 51 科目、後期 43 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：前期授業評価では、教員の授業評価に関する 8 項目のうち全学平均を上回っているものは 3 項目（計画性、授業時間、難易の適切性）だけであった（授業準備：全学 4.50、薬学 4.48、話し方：全学 4.32、薬学 4.28、計画性：全学 4.47、薬学 4.50、授業時間：全学 4.60、薬学 4.67、講義の工夫：全学 4.30、薬学 4.26、質問への誠意：全学 4.33、薬学 4.21、難易の適切性：全学 4.15、薬学 4.19、講義の満足度：全学 4.13、薬学 4.09）。また、後期授業評価では全学平均を上回っているものは 2 項目（計画性、難易の適切性）だけであった（授業準備：全学 4.52、薬学 4.49、話し方：全学 4.34、薬学 4.21、計画性：全学 4.50、薬学 4.54、授業時間：全学 4.60、薬学 4.63、講義の工夫：全学 4.34、薬学 4.28、質問への誠意：全学 4.45、薬学 4.41、難易の適切性：全学 4.20、薬学 4.24、講義の満足度：全学 4.19、薬学 4.11）。全体的にはすべてが 4 点以上のため問題ないを考えるが、これらの情報を教員にフィードバックし、さらなる授業改善を促していく予定である。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：分析結果を踏まえた改善方策：前期授業評価では、学生の自己点検に関する 7 項目のうち全学平均を上回っているものは 4 項目であった（関連学習：全学 1.92、薬学 1.92、集中力：全学 3.86、薬学 4.04、出席状況：全学 4.49、薬学 4.80、知識の深まり：全学 4.10、薬学 4.11、質問への積極性：全学 3.23、薬学 2.81、意欲の高まり：全学 3.91、薬学 3.92、学修の成果：全学 4.01、薬学 4.00）。また、後期授業評価では全学平均を上回る項目は 5 項目であった（関連学習：全学 1.94、薬学 2.11、集中力：全学 3.90、薬学 4.13、出席状況：全学 4.38、薬学 4.78、知識の深まり：全学 4.13、薬学 4.14、質問への積極性：全学 3.24、薬学 2.72、意欲の高まり：全学 3.97、薬学 4.00、学修の成果：全学 4.05、薬学 3.98）。関連学習と質問への積極性が低い傾向にある。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員に対してフィードバックしている。対象科目担当教員には、それをもとに授業アンケートの実施報告書の提出を求めた。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは、講義最終回、定期試験実施時、セレッソのいずれかにおいて実施した。詳細は各教員が提出した報告書に記載している

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

特にありません。

【9】 総 括

薬学部では質問への積極性が低い傾向にあるものの、その他の項目は概ね全学平均よりも高い傾向にあった。今後は質問への積極性を高め学習の成果をさらに伸ばす努力を続ける必要がある。

⑮ 大学教育センター

【1】 実施期間 前期：平成 29 年 6 月 30 日（金）～平成 29 年 7 月 14 日（金）

後期：平成 29 年 12 月 11 日（月）～平成 30 年 1 月 19 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、大学教育センターでは前期 116 科目、後期 110 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、前期・後期ともに教員の授業の進め方への評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。なお、授業の計画性を見る質問 3 では「シラバスを読んでいない」、学生からの質問に対する誠意ある態度を見る質問 6 では「質問したことがない」という選択肢をそれぞれ設けて 6 つの選択肢としている。これら 2 つの設問については「シラバスを読んでいない」、「質問したことがない」という 2 選択肢には係数を付与せず、教員の授業そのものの質をより正確に評価しうるように配慮がなされた。

【4】 調査結果の集計

調査結果は情報管理者 1 名によって集計された。集計後、各回答に係数を乗し全回答数で除すことで、5 点満点で評価した。強く否定する回答にも係数 1 を与えているため、標準値は 3.5 となる。なお、調査結果は、大学教育センター教育開発部門から、大学教育センター長経由で配付されたものを受理した。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：以下、前期と後期に適宜分けて記述する。教員の授業評価に関する 8 項

目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。大学教育センター関係教員のこれら 8 項目の前期の平均は 4.31 であり、後期の平均は 4.21 であり、昨年度の前期の数値 4.31、後期の数値 4.34 に比べて前期はまったく同じ数値であり、後期は 0.13 ポイント下がった。ちなみに、本年度の全学の平均値を見ると、前期 4.35、後期 4.07 であり、大学教育センター関係教員は前期には全学よりわずか 0.04 ポイントながら低く、後期には逆に 0.14 ポイント高いという結果であった。項目別ではとくに授業時間の確保に関して前期 4.65、後期 4.61 と、全学平均に比べてわずかながら高い数値を示している。また、総合的満足度を問う設問 8 でも、前期 4.07、後期 4.25 で、昨年の当該数値である前期 4.08、後期 4.12 と比べて、後期に満足度が上がっていることを見て取れる。総じて担当教員による授業改善の努力を認めることができる。

分析結果を踏まえた改善方策：授業技術と講義内容に関する項目は平均すると前後期ともすべて 4 ポイントを超えており、十分に適切な授業が展開されていると言いうる。しかしながら、授業の計画性および学生からの質問への誠意のある対応が、後期にそれぞれ 3.79、3.40 と、4 ポイントに達していない。授業内容の難易度に関しては、前期 4.13（昨年度前期は 4.01）、後期 4.18（昨年度後期は 4.10）と、数値の上昇が見られた。この難易度に関する質問とは、具体的には「この科目はやりがいや手応え、また将来に役立つと感じるものですか」という内容である。大学教育センター関係の科目では、外国語科目や体育、芸術分野の科目に代表されるものように、自らの上達が相対的に体感しやすい学修において、概ね高い評価を受けているように思える。逆に、いわゆる教養科目に属する諸科目では、大学における教養教育の意義に対する学生の理解度が関係しているとも言えるが、評価はいくぶん低くなっている。日々の授業過程で学生の習熟度によりいつそう注意を払い、文字どおり学生が授業に参加しうるような、適切な授業方法が検討されるなど、改善の余地がある。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：アンケート後半の 7 項目の全学の平均値である前期 3.65、後期 3.66 に対して、本センター関係の授業は、前期 3.64、後期 3.66 と、ほぼ同じであった。とくに授業に先立つ準備学習や関連する学習を行ったか否かについての【質問 9】への回答の値が前期 1.79、後期 1.85 と、それぞれ全学平均を 0.1、0.09 と、わずかながら下回る自己評価を下しているのが目立つ。

分析結果を踏まえた改善方策：学生が学習の必要性を実感し、前向きに学ぶ態度を身につけさせることが緊急に必要である。授業以外の学修時間が不可欠な状況を作り出すことに最大の努力を傾注することが当面の課題である。比較的少人数の専門学部が提供する専門教育科目に比べて、担当教員と受講学生の関係も当該科目の授業時のみにほぼ限ら

れる共通教育科目はハンディを負っていると言っても過言ではない。従って、学生が積極的に授業に取り組むように指導することは容易ではないが、学生が単に授業時間に教室で受け身的に授業を聴くのではなく、予習・復習に取り組むよう指導することが必要である。そのためには、事前・事後に課題を与え、その点検を小テスト、リフレクション・ペーパーなどを用い、授業時間中に確実にを行うなどの工夫を要する。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、非常勤講師を含む大学教育センター関係教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックした。非常勤講師の場合、大学のメールシステムへのアクセスが常勤者のように容易ではないことや、インターネットを使用しない非常勤講師も含まれることから、集計結果を適時、適切に各人の手元に届けること自体に大変な労力を要する。しかし、最終的には全ての教員に、全学の傾向と対比しうるデータとともに各自の授業評価の結果を周知することができた。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回、または定期試験実施時に当該授業科目担当教員が行うこととした。しかし、これについても非常勤講師に関しては連絡などに手間取ることもあり、授業や定期試験実施の期間内に学生へのフィードバックができなかった者も生じたようであり、その場合には、セLESS上に掲載することで学生へのフィードバックを行うことを要請した。この結果に基づき、対象科目担当教員には授業アンケート実施報告書の提出を求めた。非常勤講師については、授業がすでに終了していて連絡がつけにくいケースもあったが、最終的に全ての大学教育センター関係の共通教育担当教員からフィードバック報告書が提出された。

【8】 大学教育センター教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート結果の学生へのフィードバック報告書より、主として授業改善に関わる有用な提案や提起された問題を以下に抜粋し要約する。

<意見・提案>

1. 学修への動機づけ、意欲・関心の喚起について

○目的を達成できた、という自己肯定感を少しでもつけることができるような場をできる限りに設けていく。

○学生の興味を引き易い題材を精選し、講義内容を不断に修正する。身近な小道具を用いた説明、演示実験等を取り入れた視覚的な授業展開をさらに拡充させていく。

○興味を持っている学生に対して授業を選択しやすい条件（例：2単位化の実現、授業時間を5限から早めること）によって、学生の受講意欲の向上と満足度の向上が望めるので

はないか。

○授業展開をパターン化せず、授業内容に中国語だけではない要素、例えば中国の歴史・文化なども盛り込みながら、映像など活用して、継続して中国語への興味・関心を抱かせるよう心がけたい。多くの学生が HSK 受験に興味関心を起こさせるよう努めたい。

○学生からの要望が多い身近な小道具を用いた演示実験を取り入れた視覚的な授業展開を、今以上に拡充していきたい。

2. 小テスト、課題等の多用について

○再履修クラスの学生に対しては、とくに自らの学修成果が目に見える形で、多くの検索練習 (retrieval practice) を行わせることが肝要である。小テストのような自己診断・評価を多用することが学修習慣を身につけさせることにつながる。

○毎回出していた課題が抽象的なものだったことが問題だと思っている。より具体的な内容の課題を出し、加えて課題をやることに強制力を持たせること、例えば簡単なレポートを提出させるなどの対応を取ることで、学修成果が上がる。

3. きめ細かな丁寧な指導について

○基礎的な知識を補充するためのプリント等副用材を充実させるとともに、教育相談、オフィスアワー等の授業外における学修支援策利用の呼びかけを強化。

○毎回質問にくる学生が少数であることを実感している。授業内外でも質問できる雰囲気作りをしているつもりであるが、まだまだ努力不足であったと反省している。

○文献情報を最初にきちんと提示して、この演習では「これとこれを参照」のような明確な指示を出していきたい。

○今後は、質問の返答など、学生とのコミュニケーションの機会をさらに活用して、学生の本音を聞き、授業の改善につなげたい。また、授業の難易度の調整と学生全員の気持ちを考え、よりよい授業ができるよう、これまで以上に努力していく。

○わからないものをわからないままにしている学生がいるようなので、授業開始前や開始後をうまく利用して、個別に対応しようと思う。

○私語、居眠りを防ぎ、予習、復習を促す課題を提出する方法が考えられるものの、非常勤講師という立場上、どこまでできるのかには不安が残る。

【9】 総 括

全学共通教育を担当する大学教育センターは、専任教員の他、多数の非常勤講師による授業を提供しており、授業評価アンケートの実施では、とくに後者との連絡調整、フィードバック報告書の回収など手間暇のかかる課題が少なくない。にもかかわらず、今回のアンケート調査では、非常勤を含む対象となった全教員について、所定の担当科目の全ての授業評価を実施することができ、教員による授業の実態把握と学生の学修の進展状況に

関して貴重な情報が得られた。総じて、各教員はそれぞれ担当科目の授業に真剣に取り組んでおり、例年どおり良好なレベルが保持されていることが分かった。しかしながら、授業の計画性および学生からの質問への誠意という 2 点で、依然として改善の余地が存在することも判明した。また、今年度はごく小規模クラスおよび実習・演習科目の一部を除く全ての開講科目を対象としたことで、個々の学生から見れば、受講している科目はそれぞれ異なるとはいえ、極めて多くの同じ内容のアンケートに回答を求められたことで、マンネリ感を生んだことは否めないのではなかろうか。このマンネリ感が全学での回答率の低さ（前期 69%、後期 57%）につながったように思われる。大学教育センターのみの回答率は前期 65%、後期 67%であり、全学での回答率に比べ、後期は 10%高い数値であるが、前期は全学平均を下回った。評価対象科目を絞るよりも、全ての科目について評価を実施すべきであるとの主張がある一方で、学生が感じる負担感をどう軽減するか、紙媒体に比べて、スマホからのアクセスと回答で容易になったことが、却ってアンケートに取り組む真剣さを欠き、惰性に流れる授業評価になっていないか、改めて検討すべき課題として浮かび上がった。

⑯ 共同利用センター

- 【1】 実施期間 前期：平成 29 年 6 月 30 日（火）～7 月 14 日（金）
後期：平成 29 年 12 月 11 日（月）～1 月 19 日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、共同利用センターでは前期 14 科目、後期 7 科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：前期後期とも、特定の教員の科目の影響が大きいため、評価が難しい点があるが、全般的には全学並の評価か若干上回る評価であった。その中で、「難易度の適切性」については、若干低い評価であり、これは共通教育科目中心の科目構成になっているため、

学生が高校までに履修してきた履歴が影響し、ある程度基礎知識がある学生にとっては簡単に感じ、興味関心がもともと薄い学生にとっては興味を喚起することが難しかった結果と思われる。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：回答者による「出席状況」、「学修の成果」および、「質問への積極性」については全学並かそれを上回る評価であったが、それ以外は、全学平均を若干下回った。これは上述のように共通教育科目中心の科目構成になっていることが要因の一つと考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：各教員からの報告書にもあるように、時事的な要素を取り入れるなど興味関心を少しでも引き出す取り組みや、適切な課題の提示による「関連学習」の増加や「知識の深まり」を感じられる工夫を各教員に促したい。

【5】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果を各教員個別にフィードバックした。

【6】 学生へのフィードバックについて

授業時間内（主に最終回）、または Cerezo を利用して、各教員がフィードバックした。

【7】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- （1）学生の興味のある内容、興味の向く内容を日々取り入れたり、実体験例を交えた面白いと思わせる要素をちりばめたりした授業が好ましいのではなかろうか。
- （2）最近の学生の傾向として、課題を提出しない、未完成の状態で提出する等、課題として評価できないものが多くなっている。厳しく課題提出の内容をチェックする必要がある。
- （3）100名を超えるような大人数のクラスにおいても、教壇から離れて行う授業を積極的に展開したことで、明らかに私語は少なくなった。教養科目は、受講生にとって興味関心とは必ずしも一致しないため集中力を欠く学生がいるので、授業をコントロールする一手段となると思われる。

【8】 総括

共同利用センターは、センター独自の授業科目を開講しておらず共通教育科目や学科の

専門科目の一部を担当している、また、教員数が少ない上に担当科目数や授業内容が教員間で大きく異なるため、本センター全体としての評価は困難である。一方で、学生にとって分かりやすく効果的な授業展開が必要であり、各教員が問題意識を持って授業を担当していることはそれぞれの報告書にも記載されているので、今後は、FD などを通じて教員としての資質を高める努力を続けたい。

5. 平成 29 年度（前期）授業アンケート実施科目一覧

学部	学科	教員名	職名	授業科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
経済学部	経済学科	吉田 卓史	准教授	体育（１）	0150615F	水	1 時限	24
経済学部	経済学科	吉田 卓史	准教授	体育（１）	0150616F	水	2 時限	38
経済学部	経済学科	吉田 卓史	准教授	スポーツ生理学	1240070F	木	1 時限	45
経済学部	経済学科	三川 敦	教授	経済数学Ⅰ	1220451F	火	2 時限	38
経済学部	経済学科	三川 敦	教授	経済数学	1260372F	水	2 時限	24
経済学部	経済学科	三川 敦	教授	経済数学	1260373F	木	3 時限	45
経済学部	経済学科	石丸 敬二	准教授	プログラミング基礎	1221130F	月	4 時限	54
経済学部	経済学科	石丸 敬二	准教授	情報処理Ⅰ	1116052F	水	2 時限	48
経済学部	経済学科	石丸 敬二	准教授	情報処理基礎	1118015F	木	2 時限	61
経済学部	経済学科	平田 宏二	教授	地方財政論Ⅰ	1220370F	金	3 時限	91
経済学部	経済学科	上迫 明	准教授	企業法Ⅰ	1220940F	水	2 時限	88
経済学部	経済学科	上迫 明	准教授	情報倫理	1270010F	水	3 時限	100
経済学部	経済学科	勝矢 倫生	講師	日本経済史Ⅰ	1220475F	金	2 時限	158
経済学部	経済学科	田邊 一洋	講師	スポーツとメディアⅠ	1240840F	金	1 時限	55
経済学部	経済学科	李 森	教授	労働経済論Ⅰ	1220490F	月	2 時限	33
経済学部	経済学科	李 森	教授	社会保障論	1221240F	水	2 時限	52
経済学部	経済学科	蓮尾 陽平	講師	社会・公民科教育法	9002910F	水	4 時限	7
経済学部	経済学科	金丸 純二	教授	保健体育科教育法Ⅰ	9002820F	水	2 時限	17
経済学部	経済学科	金丸 純二	教授	スポーツ実技Ⅰ	1241130F	金	2 時限	49
経済学部	経済学科	金丸 純二	教授	保健体育科教育法Ⅲ	9002840F	金	3 時限	6
経済学部	経済学科	早川 達二	教授	マクロ経済学	1220061F	月	4 時限	67
経済学部	経済学科	早川 達二	教授	日本経済論Ⅰ	1220160F	火	1 時限	120
経済学部	経済学科	大和証券	講師	証券市場論	1221350F	水	4 時限	25
経済学部	経済学科	高阪 勇毅	講師	ファイナンス理論	1221360F	月	3 時限	47
経済学部	経済学科	高阪 勇毅	講師	金融論Ⅰ	1220082F	水	3 時限	224
経済学部	経済学科	高阪 勇毅	講師	コーポレートファイナンス	1250490F	木	4 時限	51
経済学部	経済学科	中村 和裕	助教	現代スポーツ論Ⅰ	1240090F	火	4 時限	103
経済学部	経済学科	中村 和裕	助教	スポーツ理論Ⅰ	1240040F	木	4 時限	116
経済学部	経済学科	中村 和裕	助教	柔道（１）	0150910F	金	2 時限	22
経済学部	経済学科	藤本 倫史	助教	スポーツ社会学	1240370F	水	1 時限	45
経済学部	経済学科	藤本 倫史	助教	スポーツ経営学	1240550F	木	2 時限	68
経済学部	経済学科	新谷 士朗	講師	体育（１）	0150611F	火	1 時限	37
経済学部	経済学科	新谷 士朗	講師	体育（１）	0150612F	火	2 時限	38
経済学部	経済学科	新谷 士朗	講師	体育（１）	0150613F	火	3 時限	37
経済学部	経済学科	新谷 士朗	講師	体育（１）	0150614F	火	4 時限	16
経済学部	経済学科	新谷 士朗	講師	体育（１）	0150607F	木	1 時限	29
経済学部	経済学科	新谷 士朗	講師	スポーツ心理学Ⅰ	1240170F	金	4 時限	54
経済学部	経済学科	春名 章二	教授	ミクロ経済学	1220043F	火	4 時限	96
経済学部	経済学科	春名 章二	教授	経済入門	1210050F	火	5 時限	76
経済学部	経済学科	門田 新一郎	講師	学校保健論	1240060F	金	5 時限	18
経済学部	経済学科	野田 光太郎	講師	コーチ学Ⅰ	1240510F	木	1 時限	75
経済学部	経済学科	野田 光太郎	講師	スポーツ経済学Ⅰ	1240330F	木	4 時限	96
経済学部	経済学科	張 星源	講師	計量経済学	1221260F	金	2 時限	32
経済学部	経済学科	畑本 佳恵	講師	情報処理基礎	1118011F	火	4 時限	25
経済学部	経済学科	畑本 佳恵	講師	情報処理基礎	1118013F	水	4 時限	59
経済学部	経済学科	畑本 佳恵	講師	情報処理	1116014F	木	4 時限	47
経済学部	経済学科	岡本 隼輔	講師	経済統計学Ⅰ	1220741F	火	2 時限	120
経済学部	経済学科	若松 直幸	講師	経済学史Ⅰ	1220680F	金	4 時限	29
経済学部	経済学科	若松 直幸	講師	経済政策Ⅰ	1220290F	金	5 時限	30
経済学部	経済学科	サンフレッチェ広島	講師	スポーツマネジメント論	1241151F	木	3 時限	113
経済学部	経済学科	高羅 ひとみ	講師	ミクロ経済学	1220041F	火	1 時限	34
経済学部	経済学科	高羅 ひとみ	講師	財政学Ⅱ	1220111F	水	2 時限	104
経済学部	経済学科	高羅 ひとみ	講師	上級ミクロ経済学	1221290F	水	3 時限	38
経済学部	経済学科	袁 長軍	客員教員	中国経済特論Ⅰ	1260310F	水	4 時限	38
経済学部	経済学科	袁 長軍	客員教員	中国語マスターⅠ b	1260760F	水	5 時限	6
経済学部	経済学科	袁 長軍	客員教員	経済学特講Ⅰ	1260910F	金	3 時限	22
経済学部	国際経済学科	尾田 温俊	教授	国際金融論	1260070F	月	2 時限	42
経済学部	国際経済学科	萩野 覚	教授	英語で学ぶ国際経済Ⅰ	1230430F	火	4 時限	15
経済学部	国際経済学科	鍋島 正次郎	准教授	備後地場産業論	1220770F	火	3 時限	14

経済学部	国際経済学科	鍋島 正次郎	准教授	地域経済論	1120140F	金	1 時限	179
経済学部	国際経済学科	富士 彰夫	教授	アメリカ経済論Ⅰ	1125471F	木	1 時限	97
経済学部	国際経済学科	中村 博	准教授	英語マスターⅠ	1261720F	月	2 時限	19
経済学部	国際経済学科	中村 博	准教授	国際学	1230670F	月	3 時限	57
経済学部	国際経済学科	中村 博	准教授	キャリアデザインⅠ	0160121F	月	5 時限	260
経済学部	国際経済学科	藤本 浩由	講師	上級マクロ経済学	1221280F	火	4 時限	66
経済学部	国際経済学科	藤本 浩由	講師	オープンマクロ経済学	1221190F	水	1 時限	94
経済学部	国際経済学科	藤本 浩由	講師	貿易概論	1221320F	木	1 時限	73
経済学部	国際経済学科	尾田 温俊	教授	経済学（Ⅰ）	0120600F	月	1 時限	73
経済学部	国際経済学科	尾田 温俊	教授	E U 経済論Ⅰ	1260270F	水	2 時限	29
経済学部	国際経済学科	足立 浩一	教授	マーケティング論Ⅰ	1125680F	水	2 時限	75
経済学部	国際経済学科	平山 亮	客員教授	経済学特講Ⅲ	1260930F	木	3 時限	32
経済学部	国際経済学科	平山 亮	客員教授	アジアビジネス事情Ⅰ	1261660F	金	3 時限	33
経済学部	国際経済学科	秋野 覚	教授	マクロ経済学	1220062F	月	4 時限	42
経済学部	国際経済学科	劉 曙麗	講師	アジア経済論	1260410F	水	2 時限	39
経済学部	国際経済学科	劉 曙麗	講師	中国経済論Ⅰ	1260291F	木	3 時限	149
経済学部	国際経済学科	向井 洋	客員教授	金融から見える世界Ⅰ	1230410F	水	5 時限	33
経済学部	国際経済学科	Bisset Ian James	准教授	英語ゼミナールⅠ	1261700F	木	1 時限	51
経済学部	税務会計学科	泉 潤慈	教授	所得税法	1126580F	月	2 時限	58
経済学部	税務会計学科	泉 潤慈	教授	税法概論Ⅰ	1250250F	月	3 時限	84
経済学部	税務会計学科	許 霽	教授	国際会計論Ⅰ	1250371F	火	1 時限	46
経済学部	税務会計学科	許 霽	教授	基礎簿記Ⅰ	1210095F	金	2 時限	123
経済学部	税務会計学科	池下 泰宏	講師	税務会計Ⅰ	1250310F	金	2 時限	42
経済学部	税務会計学科	荒木 純子	講師	基礎簿記Ⅱ	1210103F	月	4 時限	54
経済学部	税務会計学科	井手吉 成佳	講師	原価計算論Ⅰ	1250230F	火	2 時限	43
経済学部	税務会計学科	井手吉 成佳	講師	基礎簿記Ⅱ	1210091F	火	3 時限	76
経済学部	税務会計学科	井手吉 成佳	講師	管理会計Ⅰ	1250440F	木	2 時限	18
経済学部	税務会計学科	張 楓	准教授	経営史	1250510F	木	3 時限	46
経済学部	税務会計学科	張 楓	准教授	備後経済研究Ⅰ	1250530F	木	5 時限	18
経済学部	税務会計学科	張 楓	准教授	地域調査Ⅱ	1210331F	金	4 時限	21
経済学部	税務会計学科	中澤 孝夫	教授	経営学Ⅰ	1210250F	木	2 時限	267
経済学部	税務会計学科	井上 直樹	講師	基礎簿記Ⅲ	1210093F	月	2 時限	111
経済学部	税務会計学科	井上 直樹	講師	監査論Ⅰ	1250330F	火	2 時限	69
経済学部	税務会計学科	井上 直樹	講師	財務会計Ⅰ	1250210F	水	1 時限	79
経済学部	税務会計学科	井上 直樹	講師	会計学総論Ⅰ	1250190F	木	2 時限	72
経済学部	税務会計学科	大上 麻海	助教	人的資源管理	1250470F	火	3 時限	54
経済学部	税務会計学科	大上 麻海	助教	経営戦略論Ⅰ	1250400F	水	3 時限	68
経済学部	税務会計学科	大上 麻海	助教	経営組織論Ⅰ	1250420F	木	3 時限	59
経済学部	税務会計学科	津守 貴之	講師	流通システム	1250520F	水	1 時限	21
経済学部	税務会計学科	小林 正和	教授	販売管理論Ⅰ	1230690F	火	4 時限	144
経済学部	税務会計学科	小林 正和	教授	プレゼンテーション	1220861F	木	1 時限	16
人間文化学部	心理学科	山崎 理央	准教授	パーソナリティと適応	2310070F	水	1 時限	103
人間文化学部	心理学科	山崎 理央	准教授	臨床心理学	2320120F	木	2 時限	57
人間文化学部	心理学科	青野 篤子	教授	社会心理学	2110150F	金	2 時限	143
人間文化学部	心理学科	平 伸二	教授	生理心理学	2320220F	水	1 時限	42
人間文化学部	心理学科	平 伸二	教授	心理学基礎論	2310010F	木	1 時限	88
人間文化学部	心理学科	日下部 典子	教授	カウンセリング論	2320010F	水	3 時限	53
人間文化学部	心理学科	野寺 綾	准教授	心理統計法Ⅰ	2320050F	月	4 時限	59
人間文化学部	心理学科	野寺 綾	准教授	社会調査法	2320070F	火	2 時限	58
人間文化学部	心理学科	赤澤 淳子	教授	現代社会と子どもの心理	2310030F	火	1 時限	141
人間文化学部	心理学科	赤澤 淳子	教授	教育相談	2320410F	水	3 時限	76
人間文化学部	心理学科	赤澤 淳子	教授	生涯発達心理学	2320200F	木	2 時限	43
人間文化学部	心理学科	金平 希	助教	障害者心理学	2320040F	月	2 時限	60
人間文化学部	心理学科	松本 明生	准教授	心と健康	0140710F	火	1 時限	104
人間文化学部	心理学科	谷口 敏淳	准教授	応用行動分析学	2320650F	火	1 時限	43
人間文化学部	心理学科	宮崎 由樹	講師	認知心理学	2320160F	月	3 時限	43
人間文化学部	人間文化学科	重迫 隆司	教授	教養ゼミ（教養講座を含む）	1801013F	木	5 時限	45
人間文化学部	人間文化学科	岡 晃弘	特任教授	ドイツ語（Ⅰ）	0170512F	火	1 時限	49
人間文化学部	人間文化学科	岡 晃弘	特任教授	ドイツ語（Ⅰ）	0170513F	水	1 時限	68
人間文化学部	人間文化学科	岡 晃弘	特任教授	ドイツ語（Ⅰ）	0170515F	木	1 時限	29

人間文化学部	人間文化学科	岡 晃弘	特任教授	ヨーロッパの芸術と思想 1	2120941F	木	3 時限	14
人間文化学部	人間文化学科	原 千史	教授	社会学概論	2110040F	月	4 時限	87
人間文化学部	人間文化学科	原 千史	教授	ドイツ語表現法 1	2110560F	水	2 時限	16
人間文化学部	人間文化学科	原 千史	教授	ドイツ語 (I)	0170514F	水	3 時限	56
人間文化学部	人間文化学科	重迫 隆司	教授	英語 III	1701303F	月	3 時限	36
人間文化学部	人間文化学科	重迫 隆司	教授	アメリカ文学研究 1	2120921F	月	4 時限	21
人間文化学部	人間文化学科	重迫 隆司	教授	日英比較文化 1	2122340F	水	3 時限	30
人間文化学部	人間文化学科	重迫 隆司	教授	現代芸術とサブカルチャー論	2120380F	金	2 時限	40
人間文化学部	人間文化学科	市瀬 信子	併任教授	中国近世文化研究 1	2120261F	金	4 時限	14
人間文化学部	人間文化学科	佐藤 昭嗣	講師	日本古代の社会と文化 1	2120760F	木	1 時限	15
人間文化学部	人間文化学科	青木 美保	教授	日本文学研究法 1	2121340F	月	3 時限	19
人間文化学部	人間文化学科	青木 美保	教授	日本語表現法 1	1307333F	火	2 時限	46
人間文化学部	人間文化学科	青木 美保	教授	日本文学史 1	2121150F	火	3 時限	6
人間文化学部	人間文化学科	青木 美保	教授	日本近現代文学研究 1	2120681F	水	2 時限	16
人間文化学部	人間文化学科	青木 美保	教授	基礎演習 I	2120611F	木	2 時限	19
人間文化学部	人間文化学科	田野 慎二	講師	日本王朝文学研究 1	2120432F	木	1 時限	18
人間文化学部	人間文化学科	三村 泰臣	講師	日本芸能論	2121170F	水	3 時限	8
人間文化学部	人間文化学科	佐藤 和博	講師	文化企画実習 II	2121370F	水	4 時限	39
人間文化学部	人間文化学科	脇 忠幸	准教授	日本語表現法 1	1307332F	火	2 時限	61
人間文化学部	人間文化学科	脇 忠幸	准教授	日本語学概論 1	2120410F	火	5 時限	32
人間文化学部	人間文化学科	脇 忠幸	准教授	基礎演習 I	2120612F	木	2 時限	20
人間文化学部	人間文化学科	脇 忠幸	准教授	日本語表現法 1	1307315F	金	3 時限	38
人間文化学部	人間文化学科	脇 忠幸	准教授	日本語研究法 1	2121310F	金	4 時限	6
人間文化学部	人間文化学科	清水 洋子	准教授	中国語 (I)	1705311F	木	3 時限	40
人間文化学部	人間文化学科	清水 洋子	准教授	中国古典文化研究 1	2120721F	金	2 時限	15
人間文化学部	人間文化学科	清水 洋子	准教授	中国語表現法 1	2110230F	金	3 時限	28
人間文化学部	人間文化学科	柳川 真由美	講師	日本の歴史と文化 1	2120470F	月	2 時限	28
人間文化学部	人間文化学科	柳川 真由美	講師	日本史 (1)	0130101F	月	4 時限	144
人間文化学部	人間文化学科	柳川 真由美	講師	地域史研究法 1	2120740F	火	4 時限	8
人間文化学部	人間文化学科	柳川 真由美	講師	日本近世の政治と文化 1	2120800F	水	2 時限	30
人間文化学部	人間文化学科	藤川 功和	講師	日本の中世文学 1	2120660F	火	3 時限	12
人間文化学部	人間文化学科	山東 資子	講師	英語 III	1701301F	月	3 時限	32
人間文化学部	人間文化学科	山東 資子	講師	英語コミュニケーション 1	2122040F	月	4 時限	11
人間文化学部	人間文化学科	山東 資子	講師	英語表現法 1	2110540F	火	4 時限	11
人間文化学部	人間文化学科	山川 廣司	教授	ヨーロッパ史文献講読 1	2120980F	火	2 時限	39
人間文化学部	人間文化学科	山川 廣司	教授	世界史 (1)	0130311F	水	3 時限	107
人間文化学部	人間文化学科	山川 廣司	教授	ヨーロッパの歴史と文化 1	2120570F	木	3 時限	27
人間文化学部	人間文化学科	山川 廣司	教授	生活文化史	2210250F	金	2 時限	90
人間文化学部	人間文化学科	藤本 真理子	講師	日本語の歴史 1	2120640F	火	4 時限	20
人間文化学部	人間文化学科	津口 在五	講師	ヨーロッパ美術史 1	2120590F	火	3 時限	65
人間文化学部	人間文化学科	小原 友行	教授	自然地理 (1)	0111300F	火	4 時限	99
人間文化学部	人間文化学科	小原 友行	教授	人文地理 (1)	0130410F	水	2 時限	82
人間文化学部	人間文化学科	古川 環子	講師	民法 I	1220530F	火	2 時限	114
人間文化学部	人間文化学科	古川 環子	講師	法学概論 (1)	0121820F	火	3 時限	72
人間文化学部	人間文化学科	古川 環子	講師	法学概論 (1)	0121821F	金	3 時限	181
人間文化学部	メディア・映像学科	内垣 戸 貴之	准教授	メディア表現入門	2210050F	木	3 時限	34
人間文化学部	メディア・映像学科	大塚 勉	講師	グラフィックデザイン	2123440F	木	1 時限	24
人間文化学部	メディア・映像学科	阿部 純	講師	マスメディア論	2123121F	火	2 時限	26
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 始男	教授	メディアと調査	2123300F	月	2 時限	17
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 始男	教授	Web デザイン (基礎)	2123290F	火	3 時限	27
人間文化学部	メディア・映像学科	中嶋 健明	教授	Web デザイン	3420880F	火	2 時限	29
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本 和広	教授	基礎情報処理 I	1116021F	月	2 時限	46
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本 和広	教授	e ビジネス	1221150F	月	4 時限	25
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本 和広	教授	情報処理基礎	1118022F	木	4 時限	59
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本 和広	教授	情報処理 I	1116056F	金	2 時限	33
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本 和広	教授	情報処理基礎	1118023F	金	4 時限	29
人間文化学部	メディア・映像学科	阿部 純	講師	メディア文化論	0131100F	月	3 時限	121
人間文化学部	メディア・映像学科	安田 暁	教授	色彩論	2123190F	月	1 時限	114
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 聡登	講師	広告制作	2123460F	水	4 時限	24
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺 敏恵	講師	アナウンス	2123490F	金	3 時限	26

人間文化学部	メディア・映像学科	山本 光秀	講師	サウンドデザイン	2123710F	水	4 時限	26
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 始男	教授	情報セキュリティ	2220880F	火	4 時限	26
工学部	スマートシステム学科	佐賀 正典	准教授	ロボット応用	3121500F	月	2 時限	4
工学部	スマートシステム学科	磯崎 紀夫	講師	キャリアデザインエンジニア入門	3521234F	木	2 時限	18
工学部	スマートシステム学科	田中 聡	准教授	スマートシステム基礎実験	3121620F	月	3 時限	10
工学部	スマートシステム学科	香川 直己	教授	スマートシステム概論	3121600F	金	3 時限	19
工学部	スマートシステム学科	沖 俊任	准教授	スマートシステム応用実験Ⅰ	3121640F	火	3 時限	13
工学部	スマートシステム学科	佐賀 正典	准教授	教養ゼミ（教養講座を含む）	1801016F	月	3 時限	19
工学部	スマートシステム学科	佐賀 正典	准教授	みらい工学プロジェクト	3010451F	月	5 時限	18
工学部	スマートシステム学科	宮内 克之	教授	地域防災基礎	0156022F	水	4 時限	210
工学部	スマートシステム学科	三谷 康夫	教授	工業数学Ⅰ	3010061F	火	2 時限	20
工学部	スマートシステム学科	三谷 康夫	教授	電子制御Ⅱ	3121360F	木	4 時限	8
工学部	スマートシステム学科	三谷 康夫	教授	人工知能	3121420F	金	3 時限	11
工学部	スマートシステム学科	三谷 康夫	教授	計測工学	3121240F	金	4 時限	9
工学部	スマートシステム学科	田中 聡	准教授	通信工学	3120440F	木	1 時限	7
工学部	スマートシステム学科	田中 聡	准教授	電波工学	3120460F	木	3 時限	7
工学部	スマートシステム学科	香川 直己	教授	エンベデッド実習Ⅰ	3121480F	月	1 時限	7
工学部	スマートシステム学科	香川 直己	教授	回路理論Ⅱ	3120070F	月	2 時限	13
工学部	スマートシステム学科	香川 直己	教授	電子基礎	3120590F	火	1 時限	19
工学部	スマートシステム学科	沖 俊任	准教授	C A E	3121670F	月	2 時限	6
工学部	スマートシステム学科	沖 俊任	准教授	ものづくり加工法	3121260F	金	1 時限	10
工学部	スマートシステム学科	佐賀 正典	准教授	プログラミング基礎	3121300F	水	2 時限	10
工学部	スマートシステム学科	佐賀 正典	准教授	ロボット制御	3121380F	金	4 時限	9
工学部	スマートシステム学科	関田 隆一	准教授	みらい工学プロジェクト	3010457F	月	5 時限	10
工学部	スマートシステム学科	関田 隆一	准教授	物理学Ⅰ	3010102F	水	1 時限	78
工学部	スマートシステム学科	仲嶋 一	教授	電子物理	3120030F	木	2 時限	10
工学部	スマートシステム学科	仲嶋 一	教授	電気工学概論	3420290F	木	3 時限	37
工学部	スマートシステム学科	菅原 聡	准教授	電気磁気学Ⅱ	3120020F	木	3 時限	22
工学部	スマートシステム学科	菅原 聡	准教授	デジタルシステム	3121221F	木	4 時限	10
工学部	スマートシステム学科	菅原 聡	准教授	シーケンス制御	3120700F	金	2 時限	10
工学部	スマートシステム学科	安保 悦朗	講師	職業指導	9003410F	木	5 時限	8
工学部	スマートシステム学科	宮内 克之	教授	みらい工学プロジェクト	3010455F	月	5 時限	20
工学部	スマートシステム学科	宮内 克之	教授	防災工学	3220610F	火	1 時限	88
工学部	スマートシステム学科	宮内 克之	教授	耐震構造	3121570F	金	1 時限	30
工学部	スマートシステム学科	宮内 克之	教授	測量学	3121530F	金	3 時限	9
工学部	建築学科	田辺 和康	教授	測量学及び実習	3321281F	金	1 時限	36
工学部	建築学科	宮地 功	教授	設計製図演習Ⅲ	3320180F	火	3 時限	51
工学部	建築学科	大島 秀明	教授	建築設計演習Ⅰ	3321910F	月	3 時限	38
工学部	建築学科	山田 明	准教授	建築学概論	3320010F	火	5 時限	81
工学部	建築学科	伊澤 康一	講師	建築技術 B	3322060F	月	2 時限	9
工学部	建築学科	伊澤 康一	講師	みらい工学プロジェクト	3010452F	月	5 時限	18
工学部	建築学科	佐々木 伸子	准教授	設計製図演習Ⅰ	3320040F	月	3 時限	78
工学部	建築学科	秋岡 昌彦	講師	造形演習Ⅱ	3320170F	木	1 時限	13
工学部	建築学科	田辺 和康	教授	みらい工学プロジェクト	3010456F	月	5 時限	12
工学部	建築学科	田辺 和康	教授	地学Ⅰ・Ⅱ実習	3010312F	水	2 時限	24
工学部	建築学科	田辺 和康	教授	地学Ⅰ・Ⅱ実習	3010313F	水	3 時限	31
工学部	建築学科	田辺 和康	教授	地学Ⅰ	3010291F	木	1 時限	73
工学部	建築学科	田辺 和康	教授	地学Ⅰ	3010295F	木	2 時限	22
工学部	建築学科	田辺 和康	教授	地学実験	3010325F	金	4 時限	11
工学部	建築学科	宮地 功	教授	建築積算	3321800F	水	2 時限	46
工学部	建築学科	大島 秀明	教授	アーバンプランニング	3121561F	水	1 時限	105
工学部	建築学科	酒井 要	助教	C G 演習	3320730F	火	1 時限	68
工学部	建築学科	酒井 要	助教	C A D 演習Ⅰ	3320160F	金	3 時限	69
工学部	建築学科	藤原 美樹	准教授	建築計画Ⅰ	3320020F	月	1 時限	80
工学部	建築学科	藤原 美樹	准教授	生活デザイン論	3321970F	月	3 時限	31
工学部	建築学科	藤原 美樹	准教授	インテリア計画	3321030F	火	1 時限	50
工学部	建築学科	藤原 美樹	准教授	デザイン論	3310010F	水	2 時限	78
工学部	建築学科	山田 明	准教授	建築材料	3320840F	木	3 時限	79
工学部	建築学科	山田 明	准教授	構造・力学入門	3310101F	金	2 時限	83
工学部	建築学科	都祭 弘幸	教授	建築構造Ⅱ	3320490F	木	1 時限	28

工学部	建築学科	都祭 弘幸	教授	静定力学Ⅱ	3220142F	金	1時限	91
工学部	建築学科	都祭 弘幸	教授	建築技術 A	3322050F	金	3時限	10
工学部	建築学科	伊澤 康一	講師	専門英語	3010334F	水	2時限	71
工学部	建築学科	伊澤 康一	講師	情報処理基礎	1116032F	木	1時限	82
工学部	建築学科	伊澤 康一	講師	建築環境工学Ⅰ	3320200F	木	4時限	66
工学部	建築学科	佐藤 圭一	教授	日本建築史	3320380F	月	2時限	77
工学部	建築学科	佐々木 伸子	准教授	医療福祉施設概論	3321990F	火	3時限	52
工学部	建築学科	佐々木 伸子	准教授	生活デザイン演習Ⅰ	3321930F	水	1時限	15
工学部	建築学科	島田 美和子	講師	生活デザイン演習Ⅳ	3321960F	水	3時限	16
工学部	情報工学科	尾関 孝史	教授	教養ゼミ（教養講座を含む）	1801018F	水	3時限	44
工学部	情報工学科	山之上 卓	教授	実用情報処理演習Ⅰ	1116033F	金	2時限	41
工学部	情報工学科	森田 翔太	助教	情報工学総合演習Ⅱ	3421630F	火	4時限	16
工学部	情報工学科	森田 翔太	助教	Webプログラミング	3420860F	水	1時限	24
工学部	情報工学科	占部 逸正	教授	論理回路	3421361F	月	3時限	42
工学部	情報工学科	占部 逸正	教授	離散数学	3421650F	水	2時限	16
工学部	情報工学科	占部 逸正	教授	放射線防護学	3121550F	木	1時限	58
工学部	情報工学科	占部 逸正	教授	基礎数学Ⅰ	3010040F	金	3時限	41
工学部	情報工学科	新谷 敏明	准教授	データ構造とアルゴリズムⅠ	3421240F	月	4時限	45
工学部	情報工学科	尾関 孝史	教授	情報処理概論	2210040F	火	3時限	52
工学部	情報工学科	尾関 孝史	教授	人工知能	3420350F	水	2時限	62
工学部	情報工学科	尾関 孝史	教授	プログラミング応用	3421230F	金	3時限	36
工学部	情報工学科	宮崎 光二	准教授	コンピュータネットワーク	3421371F	火	4時限	36
工学部	情報工学科	宮崎 光二	准教授	Java入門	3421450F	木	3時限	35
工学部	情報工学科	中道 上	准教授	みらい工学プロジェクト	3010453F	月	5時限	20
工学部	情報工学科	中道 上	准教授	情報システム	3420470F	火	1時限	64
工学部	情報工学科	山之上 卓	教授	専門英語	3010331F	月	2時限	31
工学部	情報工学科	山之上 卓	教授	みらい工学プロジェクト	3010458F	月	5時限	15
工学部	情報工学科	金子 邦彦	教授	コンピュータサイエンス	3420230F	月	3時限	40
工学部	情報工学科	金子 邦彦	教授	オペレーションズリサーチ	3420460F	月	4時限	19
工学部	情報工学科	金子 邦彦	教授	アセンブラ	3421470F	金	2時限	19
工学部	情報工学科	池岡 宏	講師	画像処理	3421400F	月	2時限	37
工学部	情報工学科	池岡 宏	講師	みらい工学プロジェクト	3010459F	月	5時限	18
工学部	機械システム工学科	坂口 勝次	教授	機械工学概論	3421600F	金	4時限	50
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司	教授	機械工学実験Ⅱ	3520330F	月	1時限	10
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司	教授	自動車工学基礎実験Ⅱ	3520710F	月	1時限	7
工学部	機械システム工学科	中東 潤	准教授	デジタルデザイン	3521290F	月	4時限	35
工学部	機械システム工学科	中東 潤	准教授	モノづくり実習	3520160F	木	3時限	32
工学部	機械システム工学科	小林 正明	講師	みらい工学プロジェクト	3010450F	月	5時限	15
工学部	機械システム工学科	小林 正明	講師	みらい工学プロジェクト	3010454F	月	5時限	20
工学部	機械システム工学科	内田 博志	教授	機械工学実験Ⅰ	3520170F	月	1時限	27
工学部	機械システム工学科	内田 博志	教授	自動車工学基礎実験Ⅰ	3520690F	月	1時限	13
工学部	機械システム工学科	内田 博志	教授	エンジンデザイン	3521310F	金	3時限	12
工学部	機械システム工学科	霍崎 展	客員教授	流体工学	3520070F	金	3時限	50
工学部	機械システム工学科	坂口 勝次	教授	熱力学	3521260F	月	3時限	42
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司	教授	入門数学Ⅱ	3010441F	火	5時限	7
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司	教授	工業力学	3521240F	水	3時限	46
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司	教授	教養ゼミ（教養講座を含む）	1801022F	木	1時限	6
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司	教授	材料力学Ⅰ	3520220F	金	1時限	56
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司	教授	数学Ⅰ	3010015F	金	3時限	43
工学部	機械システム工学科	木村 純社	教授	教養ゼミ（教養講座を含む）	1801024F	木	1時限	6
工学部	機械システム工学科	木村 純社	教授	制御システム設計	3520771F	金	2時限	16
工学部	機械システム工学科	木村 純社	教授	工業数学Ⅱ	3010072F	金	4時限	15
工学部	機械システム工学科	中東 潤	准教授	機能材料学	3520210F	火	4時限	30
工学部	機械システム工学科	中東 潤	准教授	教養ゼミ（教養講座を含む）	1801025F	木	1時限	6
工学部	機械システム工学科	小林 正明	講師	自動車整備工学	3520871F	火	2時限	10
工学部	機械システム工学科	小林 正明	講師	計測工学	3520791F	水	1時限	32
工学部	機械システム工学科	小林 正明	講師	教養ゼミ（教養講座を含む）	1801026F	木	1時限	6
工学部	機械システム工学科	内田 博志	教授	エンジンシステム	3520830F	月	3時限	19
工学部	機械システム工学科	内田 博志	教授	自動車エンジン	3520860F	月	3時限	7
工学部	機械システム工学科	内田 博志	教授	自動車構造Ⅰ	3520660F	火	2時限	19

工学部	機械システム工学科	内田 博志	教授	自動車整備検査実習Ⅱ	3520741F	火	3時限	7
工学部	機械システム工学科	内田 博志	教授	自動車工学実習Ⅰ	3520670F	水	3時限	19
工学部	機械システム工学科	内田 博志	教授	教養ゼミ（教養講座を含む）	1801019F	木	1時限	6
工学部	機械システム工学科	関根 康史	准教授	メカニカルデザイン	3520760F	火	3時限	22
工学部	機械システム工学科	関根 康史	准教授	機械設計製図基礎	3520010F	火	5時限	44
工学部	機械システム工学科	関根 康史	准教授	教養ゼミ（教養講座を含む）	1801020F	木	1時限	6
工学部	機械システム工学科	加藤 昌彦	教授	教養ゼミ（教養講座を含む）	1801021F	木	1時限	6
工学部	機械システム工学科	加藤 昌彦	教授	要素設計学	3521250F	木	2時限	38
工学部	機械システム工学科	加藤 昌彦	教授	自動車力学	3520890F	木	3時限	8
生命工学部	生物工学科	原口 博行	教授	生物学Ⅰ	3010252F	月	2時限	55
生命工学部	生物工学科	佐藤 淳	准教授	バイオ演習Ⅰ	4120790F	水	2時限	46
生命工学部	生物工学科	秦野 琢之	教授	微生物培養工学	4121490F	月	1時限	46
生命工学部	生物工学科	秦野 琢之	教授	微生物育種学	4120080F	水	2時限	46
生命工学部	生物工学科	山口 泰典	教授	動物機能利用学	4121510F	月	2時限	54
生命工学部	生物工学科	山口 泰典	教授	動物資源学	4120860F	水	1時限	39
生命工学部	生物工学科	山本 覚	教授	動物生理学	4121230F	月	1時限	56
生命工学部	生物工学科	山本 覚	教授	代謝生化学	4010241F	火	1時限	49
生命工学部	生物工学科	久富 泰資	教授	多様性生物学	4120581F	月	1時限	16
生命工学部	生物工学科	久富 泰資	教授	分子生物学	4120060F	金	1時限	64
生命工学部	生物工学科	原口 博行	教授	生化学Ⅰ	4210050F	火	1時限	38
生命工学部	生物工学科	原口 博行	教授	植物栄養生理学	4120870F	木	1時限	60
生命工学部	生物工学科	松崎 浩明	教授	生物学Ⅱ	3010262F	水	1時限	45
生命工学部	生物工学科	太田 雅也	教授	構造生化学	4120100F	月	1時限	56
生命工学部	生物工学科	太田 雅也	教授	環境分析学	4120900F	火	1時限	44
生命工学部	生物工学科	広岡 和文	准教授	化学Ⅱ	3010193F	月	1時限	48
生命工学部	生物工学科	広岡 和文	准教授	化学生態学	4120561F	木	1時限	15
生命工学部	生物工学科	佐藤 淳	准教授	地球環境科学	4120780F	火	1時限	58
生命工学部	生物工学科	佐藤 淳	准教授	保全生物学	4120070F	火	1時限	55
生命工学部	生物工学科	佐藤 淳	准教授	環境ゲノム学	4120260F	金	1時限	29
生命工学部	生物工学科	吉崎 隆之	講師	機能生化学	4120110F	木	1時限	18
生命工学部	生物工学科	岩本 博行	教授	化学Ⅰ	3010181F	月	1時限	45
生命工学部	生物工学科	岩本 博行	教授	食品化学	4010270F	火	2時限	54
生命工学部	生物工学科	奥植 容三	講師	理科教育法研究	9003020F	火	4時限	6
生命工学部	生物工学科	奥植 容三	講師	理科教育法	9003010F	火	5時限	13
生命工学部	生命栄養科学科	石崎 由美子	教授	栄養教育論Ⅱ	4220980F	水	1時限	40
生命工学部	生命栄養科学科	高橋 知佐子	准教授	地域公衆栄養学	4220850F	木	1時限	39
生命工学部	生命栄養科学科	中崎 千尋	助教	フーズスペシャリスト論	4220890F	月	2時限	30
生命工学部	生命栄養科学科	山本 英二	教授	フードプロセス	4220710F	月	2時限	39
生命工学部	生命栄養科学科	山本 英二	教授	フードプロセス	4321720F	水	1時限	35
生命工学部	生命栄養科学科	山本 英二	教授	基礎化学	4210010F	木	1時限	38
生命工学部	生命栄養科学科	山本 英二	教授	食品物性学	4221141F	金	1時限	39
生命工学部	生命栄養科学科	井ノ内 直良	教授	栄養学総論	4220910F	月	1時限	37
生命工学部	生命栄養科学科	井ノ内 直良	教授	食品科学	4210180F	水	1時限	36
生命工学部	生命栄養科学科	井ノ内 直良	教授	栄養学	4321690F	木	2時限	102
生命工学部	生命栄養科学科	井ノ内 直良	教授	有機化学	4210020F	金	2時限	38
生命工学部	生命栄養科学科	菊田 安至	教授	生命代謝学	4220730F	月	1時限	40
生命工学部	生命栄養科学科	菊田 安至	教授	アレルギー学	4210160F	木	2時限	42
生命工学部	生命栄養科学科	菊田 安至	教授	分子生物学	4210121F	金	1時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	菊田 安至	教授	分子生物学	4210122F	金	2時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	石井 香代子	教授	食と健康	0150810F	火	3時限	14
生命工学部	生命栄養科学科	石井 香代子	教授	給食マネジメントⅡ	4221650F	金	2時限	40
生命工学部	生命栄養科学科	村上 泰子	准教授	応用栄養学Ⅱ	4221020F	木	1時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	村上 泰子	准教授	応用栄養学Ⅱ	4221021F	木	2時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	小山 峰志	講師	社会福祉概論	4210131F	水	1時限	28
生命工学部	生命栄養科学科	久保田 みどり	准教授	臨床栄養学Ⅱ	4221000F	火	2時限	40
生命工学部	生命栄養科学科	久保田 みどり	准教授	栄養カウンセリング論	4220990F	木	2時限	28
生命工学部	生命栄養科学科	近藤 寛子	助教	フードコーディネート論	4220900F	火	2時限	30
生命工学部	生命栄養科学科	福田 伸治	講師	食品衛生学	4220311F	木	1時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	福田 伸治	講師	食品衛生学	4220312F	木	2時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	柴田 紗知	助教	応用栄養学Ⅰ	4221010F	火	2時限	24

生命工学部	生命栄養科学科	柴田 紗知	助教	応用栄養学Ⅰ	4221011F	水	2時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	坂田 達朗	客員教授	健康管理概論	4210060F	水	2時限	38
生命工学部	生命栄養科学科	渡邊 浩志	教授	解剖生理学Ⅱ	4210111F	火	2時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	渡邊 浩志	教授	疾患学総論	4210151F	金	1時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	渡邊 浩志	教授	疾患学総論	4210152F	金	2時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	渡邊 浩志	教授	解剖生理学Ⅱ	4210112F	金	4時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	岡部 真智子	併任教授	社会福祉概論	4210132F	水	1時限	26
生命工学部	海洋生物科学科	上田 修三	講師	博物館資料保存論	9005130F	月	2時限	30
生命工学部	海洋生物科学科	満谷 淳	教授	海洋生物科学入門	4010050F	水	4時限	110
生命工学部	海洋生物科学科	山岸 幸正	准教授	藻場の生物学	4321552F	水	1時限	35
生命工学部	海洋生物科学科	山岸 幸正	准教授	生物学Ⅰ	3010254F	金	2時限	107
生命工学部	海洋生物科学科	渡辺 伸一	准教授	生物学Ⅱ	3010264F	火	1時限	109
生命工学部	海洋生物科学科	渡辺 伸一	准教授	フィールド調査法	4321322F	火	2時限	72
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛 昌裕	教授	食品微生物学	4221150F	火	1時限	84
生命工学部	海洋生物科学科	水上 雅晴	講師	水生観賞生物の分類と飼育	4321362F	火	1時限	55
生命工学部	海洋生物科学科	三輪 泰彦	教授	生化学	4320130F	月	2時限	121
生命工学部	海洋生物科学科	三輪 泰彦	教授	遺伝子組換え食品	4321790F	木	2時限	9
生命工学部	海洋生物科学科	三輪 泰彦	教授	バイオテクノロジー入門	4310040F	金	1時限	83
生命工学部	海洋生物科学科	満谷 淳	教授	化学Ⅰ	3010183F	月	2時限	53
生命工学部	海洋生物科学科	高村 克美	教授	動物組織学	4321180F	水	1時限	98
生命工学部	海洋生物科学科	山岸 幸正	准教授	化学Ⅰ	3010182F	月	2時限	57
生命工学部	海洋生物科学科	北口 博隆	准教授	暮らしと微生物	4310010F	火	1時限	113
生命工学部	海洋生物科学科	北口 博隆	准教授	沿岸域の環境と生物	4321700F	水	2時限	92
生命工学部	海洋生物科学科	阪本 憲司	准教授	魚学概論	4321120F	水	1時限	108
生命工学部	海洋生物科学科	阪本 憲司	准教授	水産養殖の生理学	4321662F	木	1時限	89
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛 昌裕	教授	食品安全管理学	4220323F	水	2時限	40
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛 昌裕	教授	食品衛生学	4121740F	金	2時限	125
生命工学部	海洋生物科学科	渡辺 伸一	准教授	生物統計学	4010010F	水	2時限	82
生命工学部	海洋生物科学科	渡辺 伸一	准教授	バイオ情報処理演習	4310050F	水	3時限	14
生命工学部	海洋生物科学科	水上 雅晴	講師	観賞魚の飼育と繁殖	4321351F	月	1時限	68
生命工学部	海洋生物科学科	水上 雅晴	講師	魚類生理学	4320770F	金	1時限	122
生命工学部	海洋生物科学科	南 卓志	教授	沿岸域の水産業	4321622F	木	2時限	91
生命工学部	海洋生物科学科	南 卓志	教授	遺伝資源の利用と管理	4321522F	金	1時限	13
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧 真人	教授	水産学概論	4320840F	火	2時限	105
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧 真人	教授	増養殖学	4321232F	水	1時限	59
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧 真人	教授	魚類解剖学	4320590F	金	2時限	127
生命工学部	海洋生物科学科	高田 浩二	教授	水族館論	4320722F	月	3時限	51
生命工学部	海洋生物科学科	高田 浩二	教授	博物館概論	2121262F	月	4時限	56
薬学部	薬学科	金尾 義治	教授	薬物の臓器への到達と消失	5130760F	火	1時限	144
薬学部	薬学科	金尾 義治	教授	薬学英語Ⅱ	5110250F	木	2時限	50
薬学部	薬学科	金尾 義治	教授	基礎病態解析学	5130850F	木	4時限	136
薬学部	薬学科	吉富 博則	教授	薬物動態の解析Ⅱ	5130840F	木	1時限	144
薬学部	薬学科	吉富 博則	教授	医療の担い手の心構え	5130920F	金	3時限	74
薬学部	薬学科	吉富 博則	教授	生命倫理	5110100F	金	4時限	141
薬学部	薬学科	鶴田 泰人	教授	薬局方収載の試験法	5130100F	水	1時限	141
薬学部	薬学科	鶴田 泰人	教授	機器分析学	5140040F	木	1時限	152
薬学部	薬学科	藤岡 晴人	教授	有機化学Ⅰ	5140230F	月	1時限	153
薬学部	薬学科	森田 哲生	教授	生体調節分子	5140470F	月	2時限	121
薬学部	薬学科	富田 久夫	教授	薬学の基礎としての数学A	5110260F	月	1時限	142
薬学部	薬学科	富田 久夫	教授	物質の状態	5140020F	金	1時限	152
薬学部	薬学科	岡村 信幸	教授	薬になる動植物	5130260F	火	2時限	152
薬学部	薬学科	石津 隆	教授	薬学の基礎となる化学A	5110280F	木	2時限	141
薬学部	薬学科	石津 隆	教授	医薬品管理	5131130F	金	1時限	145
薬学部	薬学科	片山 博和	教授	D D S	5120870F	水	3時限	145
薬学部	薬学科	赤崎 健司	教授	社会・集団と健康	5130650F	水	2時限	145
薬学部	薬学科	赤崎 健司	教授	実感する化学	0110650F	木	1時限	35
薬学部	薬学科	杉原 成美	教授	化学物質の生体への影響	5130620F	月	1時限	148
薬学部	薬学科	杉原 成美	教授	生体のなりたち	0110710F	火	1時限	149
薬学部	薬学科	杉原 成美	教授	疾病の予防	5130640F	木	3時限	142
薬学部	薬学科	杉原 成美	教授	セルフメディケーション(1)	0151630F	金	1時限	40

薬学部	薬学科	田中 哲郎	教授	テーラーメイド薬物治療	5130900F	金	2 時限	142
薬学部	薬学科	田村 豊	教授	悪性腫瘍と薬物治療	5120880F	月	1 時限	145
薬学部	薬学科	町支 臣成	教授	基礎有機化学Ⅰ	5140210F	火	2 時限	144
薬学部	薬学科	町支 臣成	教授	ターゲット分子の合成	5130270F	木	4 時限	135
薬学部	薬学科	本屋敷 敏雄	准教授	生体エネルギー	5130460F	木	2 時限	161
薬学部	薬学科	江藤 精二	教授	患者情報	5130890F	火	2 時限	143
薬学部	薬学科	井上 裕文	教授	基礎分析化学A	5110270F	月	2 時限	141
薬学部	薬学科	秦 季之	教授	物質の変化	5130110F	木	3 時限	146
薬学部	薬学科	道原 明宏	教授	ゲノム情報と創薬	5140450F	月	2 時限	165
薬学部	薬学科	道原 明宏	教授	バイオ医薬品とゲノム情報	5130910F	金	4 時限	79
薬学部	薬学科	小嶋 英二郎	教授	臨床検査	5130880F	木	2 時限	143
薬学部	薬学科	井上 敦子	教授	循環器・腎疾患と薬物治療	5130790F	水	2 時限	146
薬学部	薬学科	井上 敦子	教授	消化器系疾患と薬物治療	5130830F	木	1 時限	143
薬学部	薬学科	井上 敦子	教授	生体機能の調節Ⅱ	5140740F	金	3 時限	156
薬学部	薬学科	五郎丸 剛	准教授	社会保障制度と薬剤経済	5131140F	月	2 時限	108
薬学部	薬学科	上敷領 淳	准教授	情報処理基礎	1118051F	金	3 時限	48
薬学部	薬学科	上敷領 淳	准教授	情報処理基礎	1118052F	金	4 時限	48
薬学部	薬学科	上敷領 淳	准教授	情報処理基礎	1118053F	金	5 時限	45
薬学部	薬学科	前原 昭次	講師	物質の基本概念	0110720F	水	1 時限	141
薬学部	薬学科	岡村 信幸	教授	漢方医学概説	5140710F	水	2 時限	150
薬学部	薬学科	田村 豊	教授	薬の効くメカニズム	5140730F	水	1 時限	155
薬学部	薬学科	田村 豊	教授	人体の成り立ちと機能ⅠA	5110290F	木	1 時限	146
薬学部	薬学科	秦 季之	教授	物質の構造と相互作用	5140030F	火	1 時限	153
薬学部	薬学科	秦 季之	教授	物理へのファースト・ステップ	0110730F	金	2 時限	142
薬学部	薬学科	田淵 紀彦	准教授	感染症にかかる	5120740F	火	2 時限	144
薬学部	薬学科	田淵 紀彦	准教授	生体防御Ⅰ	5130510F	金	2 時限	146
薬学部	薬学科	渡邊 正知	准教授	眼・耳鼻咽喉・皮膚疾患と薬物治療	5130870F	水	1 時限	145
薬学部	薬学科	今 重之	教授	骨・関節、アレルギー・免疫疾患と薬治	5130860F	火	1 時限	139
薬学部	薬学科	前原 昭次	講師	薬物の宝庫としての天然物	5130290F	金	1 時限	131
大学教育センター		柴原 直樹	講師	博物館展示論	9005140F	水	3 時限	34
大学教育センター		柴原 直樹	講師	博物館経営論	2121330F	水	4 時限	36
大学教育センター		山本 賢太郎	講師	囲碁から学ぶ人間学	0151750F	火	4 時限	58
大学教育センター		前田 吉広	講師	キャリアデザインⅠ	0160124F	月	5 時限	131
大学教育センター		地主 弘幸	准教授	物理の世界	0110450F	水	3 時限	85
大学教育センター		地主 弘幸	准教授	物理の世界	0110451F	木	2 時限	30
大学教育センター		小野 太幹	准教授	数学Ⅰ	3010011F	月	4 時限	21
大学教育センター		小野 太幹	准教授	数理科学	0110251F	火	3 時限	60
大学教育センター		小野 太幹	准教授	数理科学	0110252F	火	4 時限	10
大学教育センター		小野 太幹	准教授	数理科学	0110253F	水	2 時限	36
大学教育センター		小野 太幹	准教授	数学Ⅰ	3010013F	水	3 時限	19
大学教育センター		竹盛 浩二	准教授	日本語表現法	1307309F	火	3 時限	36
大学教育センター		竹盛 浩二	准教授	日本語表現法	1307310F	木	3 時限	37
大学教育センター		竹盛 浩二	准教授	日本語表現法	1307312F	木	4 時限	36
大学教育センター		竹盛 浩二	准教授	日本語表現法	1307314F	金	3 時限	36
大学教育センター		竹盛 浩二	准教授	日本語表現法	1307316F	金	4 時限	34
大学教育センター		藤本 明成	講師	陶芸	0150311F	水	3 時限	28
大学教育センター		藤本 明成	講師	陶芸	0150312F	水	4 時限	29
大学教育センター		藤本 明成	講師	陶芸	0150313F	木	3 時限	29
大学教育センター		藤本 明成	講師	陶芸	0150314F	木	4 時限	30
大学教育センター		石井 成人	講師	フランス語（Ⅰ）	0170551F	火	3 時限	133
大学教育センター		菅波 眞吾	講師	剣道（Ⅰ）	0151110F	金	2 時限	13
大学教育センター		柴原 直樹	講師	日本史（Ⅰ）	0130104F	金	3 時限	218
大学教育センター		柴原 直樹	講師	日本史（Ⅰ）	0130105F	金	4 時限	116
大学教育センター		溝淵 裕	講師	憲法	0120152F	金	1 時限	98
大学教育センター		劉 国彬	准教授	中国語（Ⅰ）	1705301F	月	1 時限	88
大学教育センター		劉 国彬	准教授	中国語（Ⅰ）	1705302F	月	2 時限	80
大学教育センター		劉 国彬	准教授	上級中国語	0170590F	月	5 時限	6
大学教育センター		劉 国彬	准教授	中国語（Ⅰ）	1705305F	火	1 時限	22
大学教育センター		劉 国彬	准教授	中国語（Ⅰ）	1705306F	火	2 時限	75
大学教育センター		劉 国彬	准教授	中国語（Ⅰ）	1705307F	水	1 時限	34

大学教育センター		劉 国彬	准教授	中級中国語Ⅰ	0170571F	木	3 時限	16
大学教育センター		劉 国彬	准教授	中級中国語Ⅰ	0170570F	木	4 時限	39
大学教育センター		神野 靖子	講師	音楽	0150411F	木	2 時限	25
大学教育センター		末葭 敏久	講師	中国語（Ⅰ）	1705303F	火	3 時限	54
大学教育センター		末葭 敏久	講師	中国文化入門	2110080F	木	3 時限	31
大学教育センター		齋藤 拓海	講師	日本史（Ⅰ）	0130102F	水	2 時限	58
大学教育センター		齋藤 拓海	講師	日本史（Ⅰ）	0130103F	水	3 時限	115
大学教育センター		田中 宏和	併任教授	憲法	0120151F	金	1 時限	88
大学教育センター		田中 宏和	併任教授	市民生活と法	0120551F	金	2 時限	67
大学教育センター		上村 崇	併任教授	ヨーロッパ思想入門Ⅰ	2120392F	火	3 時限	31
大学教育センター		上村 崇	併任教授	倫理学（Ⅰ）	0140400F	火	4 時限	53
大学教育センター		若松 正晃	講師	英米の文学と思想Ⅰ	2120530F	月	2 時限	23
大学教育センター		若松 正晃	講師	英語Ⅲ	1701304F	月	3 時限	23
大学教育センター		若松 正晃	講師	英語Ⅰ	1701106F	木	2 時限	28
大学教育センター		若松 正晃	講師	英語Ⅲ	1701316F	金	3 時限	30
大学教育センター		若松 正晃	講師	英語Ⅰ	1701119F	金	4 時限	44
大学教育センター		前田 吉広	講師	インターネット・リテラシ入門	0112250F	水	2 時限	64
大学教育センター		前田 吉広	講師	キャリアデザインⅡ	0160213F	木	5 時限	21
大学教育センター		大塚 豊	教授	教育課程論	9003610F	木	4 時限	49
大学教育センター		大塚 豊	教授	特別活動の指導法	9003620F	木	4 時限	51
大学教育センター		赤松 頌也	講師	フランス語（Ⅰ）	0170552F	火	3 時限	70
大学教育センター		赤松 頌也	講師	フランス語（Ⅰ）	0170554F	火	4 時限	8
大学教育センター		新井 純美	講師	英語Ⅲ	1701317F	金	3 時限	37
大学教育センター		新井 純美	講師	英語Ⅰ	1701114F	金	4 時限	44
大学教育センター		Lowes Jason	講師	英語Ⅲ	1701302F	月	3 時限	32
大学教育センター		Lowes Jason	講師	英語Ⅲ	1701309F	火	2 時限	31
大学教育センター		Lowes Jason	講師	英語Ⅲ	1701314F	火	3 時限	42
大学教育センター		Lowes Jason	講師	英語Ⅰ	1701107F	火	4 時限	28
大学教育センター		Lowes Jason	講師	英語Ⅰ	1701118F	木	2 時限	28
大学教育センター		Lowes Jason	講師	英語Ⅱ	1701251F	木	5 時限	28
大学教育センター		津田 将行	講師	キャリアデザインⅠ	0160123F	木	5 時限	183
大学教育センター		津田 将行	講師	キャリアデザインⅡ	0160212F	金	5 時限	7
大学教育センター		Tang Warren	助教	英語Ⅲ	1701308F	火	2 時限	24
大学教育センター		Tang Warren	助教	英語Ⅲ	1701315F	火	3 時限	39
大学教育センター		Tang Warren	助教	英語Ⅰ	1701108F	火	4 時限	41
大学教育センター		Tang Warren	助教	英語Ⅰ	1701117F	木	2 時限	40
大学教育センター		Tang Warren	助教	英語Ⅲ	1701321F	金	3 時限	35
大学教育センター		Tang Warren	助教	英語Ⅰ	1701121F	金	4 時限	40
大学教育センター		Tang Warren	助教	英語Ⅱ	1701252F	金	5 時限	40
大学教育センター		森岡 悦子	講師	英語Ⅰ	1701115F	木	2 時限	42
大学教育センター		森岡 悦子	講師	英語Ⅰ	1701116F	木	3 時限	35
大学教育センター		森岡 悦子	講師	英語Ⅲ	1701318F	金	3 時限	37
大学教育センター		森岡 悦子	講師	英語Ⅰ	1701123F	金	4 時限	44
大学教育センター		谷川 充美	講師	日本語表現法	1307304F	月	3 時限	24
大学教育センター		谷川 充美	講師	日本語表現法Ⅰ	1307331F	月	4 時限	25
大学教育センター		中尾 佳行	教授	英語Ⅲ	1701306F	火	3 時限	41
大学教育センター		中尾 佳行	教授	英語Ⅰ	1701104F	火	4 時限	42
大学教育センター		中尾 佳行	教授	イギリス文学研究Ⅰ	2120901F	木	3 時限	7
大学教育センター		張 治清	講師	中国語（Ⅰ）	1705309F	木	1 時限	8
大学教育センター		張 治清	講師	中国語（Ⅰ）	1705310F	木	2 時限	22
大学教育センター		Prevatt Jon	講師	英語Ⅲ	1701305F	火	2 時限	32
大学教育センター		Prevatt Jon	講師	英語Ⅲ	1701311F	火	3 時限	47
大学教育センター		Prevatt Jon	講師	英語Ⅰ	1701101F	火	4 時限	43
大学教育センター		Prevatt Jon	講師	英語Ⅰ	1701102F	木	2 時限	43
大学教育センター		Prevatt Jon	講師	英語Ⅰ	1701109F	木	3 時限	36
大学教育センター		藤井 晶子	講師	日本語表現法	1307303F	月	2 時限	28
大学教育センター		藤井 晶子	講師	日本語表現法	1307307F	月	4 時限	41
大学教育センター		奥田 秀巳	講師	日本語表現法	1307305F	月	3 時限	25
大学教育センター		奥田 秀巳	講師	日本語表現法	1307308F	月	4 時限	36
大学教育センター		周 躍	講師	英語Ⅲ	1701307F	火	2 時限	34

大学教育センター		周 躍	講師	英語Ⅲ	1701310F	火	3 時限	34
大学教育センター		周 躍	講師	英語Ⅰ	1701111F	火	4 時限	43
大学教育センター		周 躍	講師	英語Ⅰ	1701103F	木	2 時限	41
大学教育センター		周 躍	講師	英語Ⅰ	1701120F	木	3 時限	35
大学教育センター		周 躍	講師	英語Ⅲ	1701319F	金	3 時限	38
大学教育センター		周 躍	講師	英語Ⅰ	1701112F	金	4 時限	46
大学教育センター		池田 匡史	講師	日本語表現法	1307311F	木	3 時限	60
大学教育センター		池田 匡史	講師	日本語表現法	1307313F	木	4 時限	35
大学教育センター		平田 仁胤	講師	哲学（Ⅰ）	0140100F	木	1 時限	47
大学教育センター		鈴木 ヘザー	講師	英語Ⅰ	1701105F	木	2 時限	43
大学教育センター		鈴木 ヘザー	講師	英語Ⅰ	1701113F	木	3 時限	35
大学教育センター		鈴木 ヘザー	講師	英語Ⅲ	1701320F	金	3 時限	36
大学教育センター		鈴木 ヘザー	講師	英語Ⅰ	1701122F	金	4 時限	44
大学教育センター		西村 正登	講師	教育原理	0121502F	金	5 時限	123
大学教育センター		外林 省二	講師	書道	0150111F	火	3 時限	30
大学教育センター		外林 省二	講師	書道	0150112F	火	4 時限	27
大学教育センター		蔭 艶	講師	中国語（Ⅰ）	1705312F	水	2 時限	9
大学教育センター		蔭 艶	講師	中国語（Ⅰ）	1705313F	水	3 時限	61
大学教育センター		橋野 仁史	講師	絵画	0150200F	金	2 時限	12
大学教育センター		中川 篤	講師	英語Ⅲ	1701313F	火	2 時限	31
大学教育センター		中川 篤	講師	英語Ⅲ	1701312F	火	3 時限	44
大学教育センター		中川 篤	講師	英語Ⅰ	1701110F	火	4 時限	42
大学教育センター		宮田 朋恵	講師	日本語表現法	1307301F	月	1 時限	65
大学教育センター		宮田 朋恵	講師	日本語表現法	1307302F	月	2 時限	79
大学教育センター		宮田 朋恵	講師	日本語表現法	1307306F	月	4 時限	59
国際センター		趙 建紅	准教授	1 級受験日本語Ⅰ（留学生用）	8000811F	月	2 時限	6
国際センター		趙 建紅	准教授	1 級受験日本語Ⅰ（留学生用）	8000812F	月	3 時限	15
国際センター		趙 建紅	准教授	日本語（Ⅰ）（留学生用科目）	0192460F	火	3 時限	21
国際センター		趙 建紅	准教授	日本語（Ⅱ）（留学生用科目）	0192470F	水	2 時限	20
国際センター		趙 建紅	准教授	日本語（Ⅲ）（留学生用科目）	0192480F	水	3 時限	21
共同利用センター		鶴崎 健一	准教授	備後地域学	0156010F	水	4 時限	204
共同利用センター		片桐 重和	助教	実用情報処理演習Ⅱ	3421000F	木	2 時限	38
共同利用センター		鶴崎 健一	准教授	自然と人間	0110701F	火	1 時限	49
共同利用センター		鶴崎 健一	准教授	自然と人間	0110702F	火	2 時限	253
共同利用センター		鶴崎 健一	准教授	衛生学	1240110F	水	1 時限	30
共同利用センター		鶴崎 健一	准教授	暮らしとバイオ	0112201F	水	2 時限	182
共同利用センター		鶴崎 健一	准教授	暮らしとバイオ	0112202F	木	1 時限	121
共同利用センター		鶴崎 健一	准教授	自然と人間	0110703F	木	3 時限	181
共同利用センター		瀬島 紀夫	講師	情報処理基礎	1118042F	月	2 時限	37
共同利用センター		瀬島 紀夫	講師	情報処理Ⅰ	1116034F	月	3 時限	47
共同利用センター		瀬島 紀夫	講師	情報処理（Ⅰ）	1116043F	火	3 時限	46
共同利用センター		瀬島 紀夫	講師	情報処理基礎	1118044F	木	3 時限	40
共同利用センター		瀬島 紀夫	講師	情報処理基礎	1118045F	木	4 時限	38
共同利用センター		瀬島 紀夫	講師	情報処理基礎	1118043F	金	3 時限	36

6. 平成 29 年度（後期）授業評価アンケート実施科目一覧

学部	学科	教員名	職名	授業科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
経済学部	経済学科	吉田卓史	准教授	体育理論	0150750F	火	1 時限	239
経済学部	経済学科	吉田卓史	准教授	スポーツ理論Ⅱ	1240050F	火	3 時限	25
経済学部	経済学科	吉田卓史	准教授	スポーツ理論Ⅱ	1240051F	火	3 時限	8
経済学部	経済学科	吉田卓史	准教授	体育（2）	0150625F	水	1 時限	29
経済学部	経済学科	吉田卓史	准教授	体育（2）	0150626F	水	2 時限	29
経済学部	経済学科	吉田卓史	准教授	コーチ学Ⅱ	1240520F	木	3 時限	78
経済学部	経済学科	三川敦	教授	経済数学	1260374F	木	3 時限	40
経済学部	経済学科	石丸敬二	准教授	プログラミング応用	1221140F	月	4 時限	42
経済学部	経済学科	石丸敬二	准教授	情報処理技法	1210442F	水	2 時限	54
経済学部	経済学科	石丸敬二	准教授	情報処理技法	1210445F	木	2 時限	57
経済学部	経済学科	平田宏二	教授	現代社会と経済	0120750F	水	1 時限	188
経済学部	経済学科	平田宏二	教授	地方財政論	1240630F	金	3 時限	46
経済学部	経済学科	平田宏二	教授	地方財政論	1240631F	金	3 時限	8
経済学部	経済学科	野村證券	講師	資本市場論	1230290F	水	4 時限	93
経済学部	経済学科	野村證券	講師	資本市場論	1230291F	水	4 時限	28
経済学部	経済学科	上迫明	准教授	企業法Ⅱ	1220950F	水	2 時限	77
経済学部	経済学科	門田正久	講師	スポーツ救急技法	1241050F	木	4 時限	21
経済学部	経済学科	李森	教授	労働経済論Ⅱ	1220500F	月	2 時限	9
経済学部	経済学科	李森	教授	労働経済論Ⅱ	1220502F	月	2 時限	25
経済学部	経済学科	金丸純二	教授	保健体育科教育法Ⅱ	9002830F	水	2 時限	15
経済学部	経済学科	金丸純二	教授	保健体育科教育法Ⅳ	9002850F	金	3 時限	9
経済学部	経済学科	早川達二	教授	マクロ経済学	1220063F	月	4 時限	58
経済学部	経済学科	早川達二	教授	日本経済論（平成期）	1221170F	火	1 時限	53
経済学部	経済学科	早川達二	教授	日本経済論（平成期）	1221171F	火	1 時限	38
経済学部	経済学科	早川達二	教授	日本経済論（平成期）	1221172F	火	1 時限	12
経済学部	経済学科	高阪勇毅	講師	金融論特講	1221340F	月	3 時限	11
経済学部	経済学科	高阪勇毅	講師	金融論特講	1221341F	月	3 時限	29
経済学部	経済学科	高阪勇毅	講師	金融論	1221310F	水	3 時限	58
経済学部	経済学科	高阪勇毅	講師	金融論	1221311F	水	3 時限	137
経済学部	経済学科	高阪勇毅	講師	金融論	1221312F	水	3 時限	54
経済学部	経済学科	中村和裕	助教	現代スポーツ論Ⅱ	1240100F	火	4 時限	91
経済学部	経済学科	中村和裕	助教	現代スポーツ論Ⅱ	1240101F	火	4 時限	46
経済学部	経済学科	中村和裕	助教	生涯スポーツ論	1240380F	木	1 時限	71
経済学部	経済学科	中村和裕	助教	柔道（2）	0151010F	金	2 時限	19
経済学部	経済学科	藤本倫史	助教	スポーツNPO論	1240540F	木	1 時限	23
経済学部	経済学科	藤本倫史	助教	スポーツNPO論	1240541F	木	1 時限	28
経済学部	経済学科	藤本倫史	助教	スポーツ経済学Ⅱ	1240350F	木	4 時限	71
経済学部	経済学科	藤本倫史	助教	スポーツ経済学Ⅱ	1240351F	木	4 時限	22
経済学部	経済学科	新谷士朗	講師	体育（2）	0150621F	火	1 時限	10
経済学部	経済学科	新谷士朗	講師	体育（2）	0150622F	火	2 時限	33
経済学部	経済学科	新谷士朗	講師	体育（2）	0150623F	火	3 時限	14
経済学部	経済学科	新谷士朗	講師	体育（2）	0150624F	火	4 時限	13
経済学部	経済学科	新谷士朗	講師	体育（2）	0150627F	木	1 時限	19
経済学部	経済学科	新谷士朗	講師	スポーツ実技Ⅱ	1241140F	金	4 時限	35
経済学部	経済学科	春名章二	教授	ミクロ経済学	1220044F	火	4 時限	50
経済学部	経済学科	春名章二	教授	産業組織論	1221270F	水	2 時限	41
経済学部	経済学科	春名章二	教授	産業組織論	1221271F	水	2 時限	14
経済学部	経済学科	野田光太郎	講師	経営入門	1210060F	金	1 時限	88
経済学部	経済学科	畑本佳恵	講師	情報処理技法	1210441F	火	4 時限	29
経済学部	経済学科	畑本佳恵	講師	情報処理技法	1210443F	水	4 時限	46
経済学部	経済学科	畑本佳恵	講師	情報処理技法	1210444F	木	4 時限	56
経済学部	経済学科	岡本隼輔	講師	経済統計学Ⅱ	1220751F	火	2 時限	46
経済学部	経済学科	岡本隼輔	講師	環境経済学	1221230F	火	4 時限	31
経済学部	経済学科	岡本隼輔	講師	環境経済学	1221231F	火	4 時限	6
経済学部	経済学科	高羅ひとみ	講師	ミクロ経済学	1220042F	火	2 時限	50
経済学部	経済学科	高羅ひとみ	講師	財政学	1240610F	水	2 時限	126
経済学部	経済学科	高羅ひとみ	講師	財政学	1240611F	水	2 時限	6
経済学部	経済学科	高羅ひとみ	講師	開発経済学	1260040F	水	3 時限	26
経済学部	経済学科	高羅ひとみ	講師	開発経済学	1260041F	水	3 時限	12
経済学部	経済学科	高羅ひとみ	講師	マクロ経済政策	1221180F	木	3 時限	38

経済学部	経済学科	高羅ひとみ	講師	マクロ経済政策	1221181F	木	3時限	13
経済学部	国際経済学科	鍋島正次郎	准教授	中南米経済論	1120530F	火	3時限	12
経済学部	国際経済学科	鍋島正次郎	准教授	中南米経済論	1120532F	火	3時限	13
経済学部	国際経済学科	富士彰夫	教授	アメリカ経済論Ⅱ	1125481F	木	1時限	30
経済学部	国際経済学科	富士彰夫	教授	アメリカ経済論Ⅱ	1125482F	木	1時限	29
経済学部	国際経済学科	中村博	准教授	英語マスターⅡ	1261730F	月	2時限	26
経済学部	国際経済学科	中村博	准教授	国際政治学	1230680F	月	3時限	15
経済学部	国際経済学科	中村博	准教授	国際政治学	1230682F	月	3時限	23
経済学部	国際経済学科	藤本浩由	講師	国際機関論	1261630F	水	1時限	21
経済学部	国際経済学科	藤本浩由	講師	国際機関論	1261631F	水	1時限	10
経済学部	国際経済学科	藤本浩由	講師	国際貿易論	1261620F	木	1時限	24
経済学部	国際経済学科	藤本浩由	講師	国際貿易論	1261621F	木	1時限	6
経済学部	国際経済学科	尾田温俊	教授	経済学(2)	0120700F	月	1時限	64
経済学部	国際経済学科	尾田温俊	教授	E U経済論Ⅱ	1260281F	水	2時限	22
経済学部	国際経済学科	足立浩一	教授	マーケティング論Ⅱ	1125690F	水	2時限	64
経済学部	国際経済学科	足立浩一	教授	マーケティング論Ⅱ	1125691F	水	2時限	15
経済学部	国際経済学科	足立浩一	教授	アジア・太平洋経済論	1260422F	水	3時限	9
経済学部	国際経済学科	平山亮	客員教授	アジア直接投資論Ⅱ	1261650F	木	3時限	23
経済学部	国際経済学科	平山亮	客員教授	アジアビジネス事情Ⅱ	1261670F	金	3時限	18
経済学部	国際経済学科	平山亮	客員教授	アジアビジネス事情Ⅱ	1261671F	金	3時限	16
経済学部	国際経済学科	萩野覚	教授	マクロ経済学	1220064F	月	4時限	67
経済学部	国際経済学科	萩野覚	教授	英語で学ぶ国際経済Ⅱ	1230441F	火	4時限	16
経済学部	国際経済学科	劉曙麗	講師	中国経済論Ⅱ	1260301F	木	3時限	62
経済学部	国際経済学科	劉曙麗	講師	中国経済論Ⅱ	1260302F	木	3時限	46
経済学部	国際経済学科	向井洋	客員教授	金融から見える世界Ⅱ	1230420F	水	5時限	26
経済学部	国際経済学科	向井洋	客員教授	金融から見える世界Ⅱ	1230421F	水	5時限	13
経済学部	国際経済学科	BissetlanJames	准教授	ビジネス英語Ⅱ	1260510F	木	1時限	16
経済学部	国際経済学科	BissetlanJames	准教授	ビジネス英語Ⅱ	1260511F	木	1時限	27
経済学部	国際経済学科	袁長軍	客員教員	中国語マスターⅡ	1261691F	水	5時限	9
経済学部	国際経済学科	袁長軍	客員教員	中国経済特論Ⅱ	1260320F	水	4時限	21
経済学部	国際経済学科	袁長軍	客員教員	中国経済特論Ⅱ	1260321F	水	4時限	50
経済学部	税務会計学科	泉潤慈	教授	法人税法	1121180F	月	2時限	54
経済学部	税務会計学科	泉潤慈	教授	税法概論Ⅱ	1250260F	月	3時限	49
経済学部	税務会計学科	泉潤慈	教授	税法概論Ⅱ	1250261F	月	3時限	36
経済学部	税務会計学科	許霽	教授	国際会計論Ⅱ	1250383F	火	1時限	44
経済学部	税務会計学科	許霽	教授	基礎簿記Ⅱ	1210105F	金	2時限	126
経済学部	税務会計学科	許霽	教授	基礎簿記Ⅱ	1210106F	金	2時限	13
経済学部	税務会計学科	池下泰宏	講師	税務会計Ⅱ	1250320F	金	2時限	7
経済学部	税務会計学科	池下泰宏	講師	税務会計Ⅱ	1250321F	金	2時限	35
経済学部	税務会計学科	荒木純子	講師	基礎簿記Ⅰ	1210090F	月	3時限	72
経済学部	税務会計学科	荒木純子	講師	基礎簿記Ⅰ	1210097F	月	3時限	7
経済学部	税務会計学科	井手吉成佳	講師	原価計算論Ⅱ	1250240F	火	2時限	19
経済学部	税務会計学科	井手吉成佳	講師	原価計算論Ⅱ	1250241F	火	2時限	13
経済学部	税務会計学科	井手吉成佳	講師	基礎簿記Ⅱ	1210101F	火	3時限	62
経済学部	税務会計学科	井手吉成佳	講師	管理会計Ⅱ	1250450F	木	2時限	27
経済学部	税務会計学科	井手吉成佳	講師	管理会計Ⅱ	1250451F	木	2時限	13
経済学部	税務会計学科	張楓	准教授	備後経済論Ⅰ	1272200F	木	4時限	25
経済学部	税務会計学科	張楓	准教授	備後経済論Ⅰ	1272201F	木	4時限	51
経済学部	税務会計学科	張楓	准教授	備後経済研究Ⅱ	1250540F	木	5時限	8
経済学部	税務会計学科	張楓	准教授	備後経済研究Ⅱ	1250541F	木	5時限	33
経済学部	税務会計学科	中澤孝夫	教授	経営学Ⅱ	1210260F	木	2時限	58
経済学部	税務会計学科	中澤孝夫	教授	経営学Ⅱ	1210262F	木	2時限	72
経済学部	税務会計学科	中澤孝夫	教授	経営学Ⅱ	1210264F	木	2時限	109
経済学部	税務会計学科	中澤孝夫	教授	中小企業論	1120440F	木	4時限	66
経済学部	税務会計学科	井上直樹	講師	基礎簿記Ⅱ	1210100F	月	2時限	108
経済学部	税務会計学科	井上直樹	講師	基礎簿記Ⅱ	1210109F	月	2時限	7
経済学部	税務会計学科	井上直樹	講師	監査論Ⅱ	1250340F	火	2時限	11
経済学部	税務会計学科	井上直樹	講師	監査論Ⅱ	1250342F	火	2時限	52
経済学部	税務会計学科	井上直樹	講師	財務会計Ⅱ	1250220F	水	1時限	51
経済学部	税務会計学科	井上直樹	講師	財務会計Ⅱ	1250221F	水	1時限	24

経済学部	税務会計学科	井上直樹	講師	会計学総論Ⅱ	1250200F	木	2 時限	37
経済学部	税務会計学科	井上直樹	講師	会計学総論Ⅱ	1250201F	木	2 時限	23
経済学部	税務会計学科	大上麻海	助教	生産システム	1250480F	火	3 時限	42
経済学部	税務会計学科	大上麻海	助教	経営戦略論Ⅱ	1250410F	水	3 時限	64
経済学部	税務会計学科	大上麻海	助教	経営戦略論Ⅱ	1250411F	水	3 時限	7
経済学部	税務会計学科	大上麻海	助教	経営組織論Ⅱ	1250430F	木	3 時限	8
経済学部	税務会計学科	大上麻海	助教	経営組織論Ⅱ	1250431F	木	3 時限	47
経済学部	税務会計学科	津守貴之	講師	ロジスティックス	1250460F	水	1 時限	7
経済学部	税務会計学科	小林正和	教授	販売管理論Ⅱ	1230700F	火	4 時限	126
経済学部	税務会計学科	小林正和	教授	プレゼンテーション	1220862F	木	1 時限	14
人間文化学部	人間文化学科	岡晃弘	特任教授	ドイツ語（Ⅱ）	0170522F	火	1 時限	41
人間文化学部	人間文化学科	岡晃弘	特任教授	ドイツ語（Ⅱ）	0190422F	火	1 時限	6
人間文化学部	人間文化学科	岡晃弘	特任教授	ドイツ語（Ⅱ）	0170523F	水	1 時限	52
人間文化学部	人間文化学科	岡晃弘	特任教授	ドイツ語（Ⅱ）	0170525F	木	1 時限	52
人間文化学部	人間文化学科	岡晃弘	特任教授	ヨーロッパの芸術と思想 2	2120951F	木	3 時限	10
人間文化学部	人間文化学科	原千史	教授	ヨーロッパの社会と思想 2	2120891F	火	1 時限	7
人間文化学部	人間文化学科	原千史	教授	ドイツ語表現法 2	2110570F	水	2 時限	14
人間文化学部	人間文化学科	原千史	教授	ドイツ語（Ⅱ）	0170524F	水	3 時限	46
人間文化学部	人間文化学科	重迫隆司	教授	英語Ⅳ	1701403F	月	3 時限	29
人間文化学部	人間文化学科	重迫隆司	教授	アメリカ文学研究 2	2120931F	月	4 時限	18
人間文化学部	人間文化学科	重迫隆司	教授	日英比較文化 2	2122350F	水	3 時限	36
人間文化学部	人間文化学科	市瀬信子	併任教授	中国近世文化研究 2	2120271F	金	4 時限	9
人間文化学部	人間文化学科	佐藤昭嗣	講師	日本古代の社会と文化 2	2120770F	木	1 時限	12
人間文化学部	人間文化学科	青木美保	教授	日本文学研究法 2	2121350F	月	3 時限	20
人間文化学部	人間文化学科	青木美保	教授	日本語表現法 2	2110221F	火	2 時限	51
人間文化学部	人間文化学科	青木美保	教授	文学との出会い	0130650F	火	3 時限	119
人間文化学部	人間文化学科	青木美保	教授	日本近現代文学研究 2	2120691F	水	2 時限	20
人間文化学部	人間文化学科	田野慎二	講師	日本王朝文学研究 2	2120442F	木	1 時限	20
人間文化学部	人間文化学科	佐藤和博	講師	文化企画実習Ⅰ	2121360F	水	4 時限	46
人間文化学部	人間文化学科	脇忠幸	准教授	日本語学概論 2	2120420F	火	5 時限	25
人間文化学部	人間文化学科	脇忠幸	准教授	日本語研究法 2	2121320F	金	4 時限	9
人間文化学部	人間文化学科	清水洋子	准教授	中国語（Ⅱ）	1705411F	木	3 時限	35
人間文化学部	人間文化学科	清水洋子	准教授	中国語（Ⅱ）	1906201F	木	3 時限	6
人間文化学部	人間文化学科	清水洋子	准教授	中国古典文化研究 2	2120731F	金	2 時限	18
人間文化学部	人間文化学科	清水洋子	准教授	中国語表現法 2	2110240F	金	3 時限	21
人間文化学部	人間文化学科	柳川真由美	講師	日本の歴史と文化 2	2120480F	月	2 時限	23
人間文化学部	人間文化学科	柳川真由美	講師	日本史（2）	0130201F	月	5 時限	54
人間文化学部	人間文化学科	柳川真由美	講師	地域史研究法 2	2120750F	火	3 時限	6
人間文化学部	人間文化学科	柳川真由美	講師	日本近世の政治と文化 2	2120810F	水	2 時限	15
人間文化学部	人間文化学科	藤川功和	講師	日本の中世文学 2	2120670F	火	3 時限	8
人間文化学部	人間文化学科	山東資子	講師	英語Ⅳ	1701401F	月	3 時限	30
人間文化学部	人間文化学科	山東資子	講師	英語コミュニケーション 2	2122050F	月	4 時限	10
人間文化学部	人間文化学科	山東資子	講師	英語表現法 2	2110550F	火	4 時限	15
人間文化学部	人間文化学科	新本万里子	講師	日本民俗論	0131600F	木	3 時限	92
人間文化学部	人間文化学科	新本万里子	講師	文化人類学	2110140F	木	4 時限	70
人間文化学部	人間文化学科	山川廣司	教授	ヨーロッパ史文献講読 2	2120990F	火	2 時限	19
人間文化学部	人間文化学科	山川廣司	教授	世界史（2）	0130321F	水	3 時限	78
人間文化学部	人間文化学科	山川廣司	教授	ヨーロッパの歴史と文化 2	2120580F	木	3 時限	29
人間文化学部	人間文化学科	山川廣司	教授	宗教文化史	2110580F	金	2 時限	90
人間文化学部	人間文化学科	津口在五	講師	ヨーロッパ美術史 2	2120600F	火	3 時限	19
人間文化学部	人間文化学科	小原友行	教授	地誌	0130901F	月	3 時限	96
人間文化学部	人間文化学科	小原友行	教授	自然地理（2）	0111400F	火	4 時限	93
人間文化学部	人間文化学科	小原友行	教授	人文地理（2）	0130420F	水	2 時限	65
人間文化学部	人間文化学科	古川瓊子	講師	民法Ⅱ	1220540F	火	2 時限	150
人間文化学部	人間文化学科	古川瓊子	講師	法学概論（2）	0121830F	火	3 時限	44
人間文化学部	人間文化学科	古川瓊子	講師	法学概論（2）	0121831F	金	3 時限	113
人間文化学部	心理学科	青野篤子	教授	ジェンダーの心理学	0140730F	金	3 時限	54
人間文化学部	心理学科	平伸二	教授	犯罪心理学	2320340F	月	2 時限	65
人間文化学部	心理学科	野寺綾	准教授	教育心理学概論	2320180F	火	3 時限	42
人間文化学部	心理学科	野寺綾	准教授	心理学研究法	2320030F	水	2 時限	76

人間文化学部	心理学科	赤澤淳子	教授	発達心理学	0140801F	月	3 時限	222
人間文化学部	心理学科	金平希	助教	地域とボランティア	2320510F	月	2 時限	54
人間文化学部	心理学科	谷口敏淳	准教授	英語で心理学	2320530F	火	2 時限	55
人間文化学部	心理学科	谷口敏淳	准教授	英語で心理学Ⅱ	2320550F	火	2 時限	17
人間文化学部	心理学科	谷口敏淳	准教授	健康心理学	2320320F	水	1 時限	61
人間文化学部	心理学科	谷口敏淳	准教授	臨床心理検査法	2320080F	水	3 時限	39
人間文化学部	心理学科	宮崎由樹	講師	心理統計法Ⅱ	2320060F	月	4 時限	55
人間文化学部	心理学科	宮崎由樹	講師	産業心理学	2320310F	水	2 時限	36
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本和広	教授	情報処理応用	2210071F	月	2 時限	46
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本和広	教授	情報ネットワーク	1270040F	月	4 時限	27
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本和広	教授	情報処理応用	2210072F	木	4 時限	61
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本和広	教授	情報処理技法	1210446F	金	2 時限	36
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本和広	教授	情報処理応用	2210073F	金	4 時限	29
人間文化学部	メディア・映像学科	内垣戸貴之	准教授	メディア・リテラシー論	2123260F	火	2 時限	34
人間文化学部	メディア・映像学科	阿部純	講師	地域メディア論	2123400F	水	4 時限	23
人間文化学部	メディア・映像学科	阿部純	講師	情報社会とコミュニケーション	2110831F	木	4 時限	25
人間文化学部	メディア・映像学科	安田暁	教授	メディアデザイン論	2123470F	月	2 時限	34
人間文化学部	メディア・映像学科	安田暁	教授	写真論	2123530F	月	4 時限	27
人間文化学部	メディア・映像学科	安田暁	教授	映像文化入門	2110840F	木	1 時限	33
人間文化学部	メディア・映像学科	安田暁	教授	映像文化入門	2110841F	木	1 時限	33
人間文化学部	メディア・映像学科	中嶋健明	教授	映画論	2123750F	木	3 時限	29
人間文化学部	メディア・映像学科	中嶋健明	教授	C G 表現論	2123220F	金	3 時限	25
人間文化学部	メディア・映像学科	松田教道	講師	コンピュータミュージック	2123720F	水	3 時限	25
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺浩司	准教授	ソフトウェア制作論	2123350F	月	2 時限	15
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺浩司	准教授	ソフトウェア制作論	2123600F	月	2 時限	23
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺浩司	准教授	情報ネットワーク	2220130F	月	5 時限	28
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺浩司	准教授	情報ネットワーク	3420960F	月	5 時限	38
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺浩司	准教授	マルチメディア論	2220430F	火	1 時限	36
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺浩司	准教授	マルチメディア論	3421410F	火	1 時限	28
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺浩司	准教授	C G 映像制作	2123510F	火	3 時限	25
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺浩司	准教授	メディア実践（調査）	2123820F	火	5 時限	25
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺浩司	准教授	アニメ論	2123520F	木	3 時限	24
工学部	スマートシステム学科	田中聡	准教授	スマートシステム基礎実験	3121620F	月	3 時限	10
工学部	スマートシステム学科	田中聡	准教授	スマートシステム応用実験Ⅱ	3121660F	火	3 時限	11
工学部	スマートシステム学科	香川直己	教授	エンベデッド実習Ⅱ	3121490F	水	1 時限	7
工学部	スマートシステム学科	沖俊任	准教授	ものづくり加工実習	3121330F	金	3 時限	10
工学部	スマートシステム学科	佐賀正典	准教授	M B D 実習Ⅱ	3121650F	月	3 時限	8
工学部	スマートシステム学科	三谷康夫	教授	工業数学Ⅱ	3010071F	火	2 時限	20
工学部	スマートシステム学科	三谷康夫	教授	入門数学Ⅰ	3010431F	火	5 時限	10
工学部	スマートシステム学科	三谷康夫	教授	電子制御Ⅰ	3121270F	木	2 時限	10
工学部	スマートシステム学科	三谷康夫	教授	確率統計	3120240F	木	4 時限	10
工学部	スマートシステム学科	田中聡	准教授	無線工学	3120780F	木	1 時限	9
工学部	スマートシステム学科	田中聡	准教授	電子機器学	3120580F	木	2 時限	10
工学部	スマートシステム学科	香川直己	教授	回路理論Ⅰ	3120040F	水	2 時限	22
工学部	スマートシステム学科	沖俊任	准教授	設計製図	3121610F	月	1 時限	10
工学部	スマートシステム学科	沖俊任	准教授	メカトロニクス	3120610F	木	3 時限	13
工学部	スマートシステム学科	関田隆一	准教授	技術者倫理	3121680F	月	2 時限	21
工学部	スマートシステム学科	関田隆一	准教授	安全工学	3121580F	火	2 時限	34
工学部	スマートシステム学科	関田隆一	准教授	プロジェクトマネジメント	3121590F	木	1 時限	12
工学部	スマートシステム学科	関田隆一	准教授	プロジェクトマネジメント	3121591F	木	1 時限	18
工学部	スマートシステム学科	仲嶋一	教授	電子材料	3121350F	月	2 時限	7
工学部	スマートシステム学科	仲嶋一	教授	半導体工学	3121080F	水	2 時限	8
工学部	スマートシステム学科	菅原聡	准教授	電気磁気学Ⅰ	3120010F	月	3 時限	25
工学部	スマートシステム学科	菅原聡	准教授	アナログシステム	3121201F	金	1 時限	21
工学部	スマートシステム学科	宮内克之	教授	地域防災応用	0156032F	水	4 時限	190
工学部	建築学科	田辺和康	教授	地学実験	3010323F	水	2 時限	12
工学部	建築学科	田辺和康	教授	地学実験（教職）	9001601F	水	2 時限	7
工学部	建築学科	田辺和康	教授	地学実験	3010324F	水	3 時限	16
工学部	建築学科	田辺和康	教授	地学実験（教職）	9001602F	水	3 時限	6
工学部	建築学科	大島秀明	教授	設計製図演習Ⅳ	3320940F	月	3 時限	53

工学部	建築学科	酒井要	助教	C A D 演習Ⅱ	3321370F	金	3 時限	66
工学部	建築学科	藤原美樹	准教授	生活デザイン演習Ⅱ	3321940F	水	1 時限	14
工学部	建築学科	山田明	准教授	教養ゼミ（教養講座を含む）	1801017F	火	5 時限	75
工学部	建築学科	佐藤圭一	教授	設計製図演習Ⅱ	3320050F	火	1 時限	76
工学部	建築学科	佐藤圭一	教授	建築設計演習Ⅱ	3321920F	火	3 時限	37
工学部	建築学科	秋岡昌彦	講師	造形演習Ⅰ	3320030F	木	3 時限	67
工学部	建築学科	後藤重貴	講師	生活デザイン演習Ⅲ	3321950F	水	3 時限	17
工学部	建築学科	田辺和康	教授	環境工学	3120540F	水	1 時限	15
工学部	建築学科	田辺和康	教授	環境工学	3120542F	水	1 時限	40
工学部	建築学科	田辺和康	教授	環境工学	3120543F	水	1 時限	35
工学部	建築学科	田辺和康	教授	地学	3010293F	木	2 時限	17
工学部	建築学科	田辺和康	教授	地学Ⅱ	3010300F	木	2 時限	7
工学部	建築学科	田辺和康	教授	建築地盤工学	3321380F	金	1 時限	50
工学部	建築学科	宮地功	教授	設計技術	3321345F	月	3 時限	68
工学部	建築学科	宮地功	教授	景観デザイン	3320690F	火	3 時限	67
工学部	建築学科	宮地功	教授	建築デザイン論	3320150F	水	2 時限	64
工学部	建築学科	大島秀明	教授	建築計画Ⅱ	3320110F	火	4 時限	63
工学部	建築学科	大島秀明	教授	建築法規	3320800F	水	1 時限	82
工学部	建築学科	酒井要	助教	情報処理	3310110F	水	2 時限	39
工学部	建築学科	酒井要	助教	情報処理	3310111F	金	1 時限	39
工学部	建築学科	藤原美樹	准教授	福祉住環境	3010390F	月	3 時限	74
工学部	建築学科	藤原美樹	准教授	ユニバーサルデザイン論	3322010F	火	1 時限	47
工学部	建築学科	山田明	准教授	静定力学Ⅰ	3220052F	木	1 時限	91
工学部	建築学科	山田明	准教授	建築構造Ⅰ	3320240F	木	3 時限	66
工学部	建築学科	山田明	准教授	建築一般構造	3321270F	金	2 時限	84
工学部	建築学科	都祭弘幸	教授	不静定力学	3320893F	木	2 時限	57
工学部	建築学科	都祭弘幸	教授	構造技術	3322030F	木	3 時限	79
工学部	建築学科	都祭弘幸	教授	建築防災工学	3321480F	金	2 時限	70
工学部	建築学科	伊澤康一	講師	計画技術 B	3321825F	木	2 時限	70
工学部	建築学科	伊澤康一	講師	建築設備	3320460F	金	1 時限	72
工学部	建築学科	伊澤康一	講師	建築環境工学Ⅱ	3320210F	金	2 時限	56
工学部	建築学科	佐藤圭一	教授	西洋建築史	3320140F	木	1 時限	9
工学部	建築学科	佐藤圭一	教授	西洋建築史	3320145F	木	1 時限	33
工学部	建築学科	佐藤圭一	教授	計画技術 A	3321815F	木	2 時限	71
工学部	建築学科	佐々木伸子	准教授	住宅計画	3321260F	月	2 時限	86
工学部	建築学科	佐々木伸子	准教授	建築インテリア仕上げ材料	3321980F	月	5 時限	68
工学部	建築学科	佐々木伸子	准教授	医療福祉施設計画	3322000F	火	2 時限	37
工学部	建築学科	青木茂	講師	建築施工	3321425F	木	4 時限	71
工学部	情報工学科	占部逸正	教授	応用数学	3421660F	月	2 時限	16
工学部	情報工学科	占部逸正	教授	基礎数学Ⅱ	3010050F	木	3 時限	30
工学部	情報工学科	占部逸正	教授	ヒューマンコンピュータインタラクション	3420795F	金	2 時限	30
工学部	情報工学科	新谷敏朗	准教授	オートマトンとコンパイラ	3421680F	月	3 時限	10
工学部	情報工学科	新谷敏朗	准教授	情報化社会と職業	3421480F	水	3 時限	24
工学部	情報工学科	新谷敏朗	准教授	データ構造とアルゴリズムⅡ	3421380F	金	2 時限	32
工学部	情報工学科	尾関孝史	教授	オペレーティングシステム	3420340F	火	3 時限	37
工学部	情報工学科	中道上	准教授	ソフトウェア工学	3421160F	月	4 時限	36
工学部	情報工学科	中道上	准教授	暮らしと物づくり	0112003F	木	5 時限	307
工学部	情報工学科	山之上卓	教授	暗号とセキュリティ	3421510F	月	2 時限	22
工学部	情報工学科	山之上卓	教授	実用ネットワーク管理	3421500F	木	3 時限	29
工学部	情報工学科	山之上卓	教授	情報理論	3420240F	金	3 時限	16
工学部	情報工学科	金子邦彦	教授	データベースシステム	3420491F	金	3 時限	35
工学部	情報工学科	池岡宏	講師	プログラミング入門	3420950F	月	2 時限	41
工学部	情報工学科	池岡宏	講師	コンピュータグラフィックス	3420380F	水	2 時限	35
工学部	情報工学科	森田翔太	助教	情報処理技術Ⅰ	3420310F	木	3 時限	33
工学部	情報工学科	森田翔太	助教	コンピュータアーキテクチャ	3421670F	金	2 時限	42
工学部	機械システム工学科	内田博志	教授	自動車工学実習Ⅱ	3520700F	水	3 時限	19
工学部	機械システム工学科	内田博志	教授	自動車整備検査実習Ⅰ	3520731F	木	3 時限	13
工学部	機械システム工学科	霧崎展	客員教授	流体機械システム	3520270F	金	4 時限	18
工学部	機械システム工学科	坂口勝次	教授	バイオデザイン	3521320F	月	2 時限	22
工学部	機械システム工学科	坂口勝次	教授	熱エネルギー工学	3521270F	月	3 時限	35

工学部	機械システム工学科	坂口勝次	教授	C A D / C A M システム	3520601F	木	3 時限	36
工学部	機械システム工学科	坂口勝次	教授	メカニカル C A E	3520980F	木	4 時限	21
工学部	機械システム工学科	真鍋圭司	教授	生産加工システム	3520810F	火	2 時限	38
工学部	機械システム工学科	真鍋圭司	教授	機械数値工学	3521300F	木	2 時限	31
工学部	機械システム工学科	真鍋圭司	教授	材料力学Ⅱ	3520230F	金	1 時限	46
工学部	機械システム工学科	真鍋圭司	教授	数学Ⅱ	3010023F	金	2 時限	27
工学部	機械システム工学科	真鍋圭司	教授	数学Ⅱ	3010024F	金	2 時限	10
工学部	機械システム工学科	木村純壮	教授	メカトロニクス	3520651F	火	3 時限	29
工学部	機械システム工学科	木村純壮	教授	システム制御入門	3520240F	火	4 時限	24
工学部	機械システム工学科	木村純壮	教授	工業数学Ⅰ	3010062F	木	3 時限	49
工学部	機械システム工学科	中東潤	准教授	機械材料学	3520060F	水	1 時限	69
工学部	機械システム工学科	中東潤	准教授	機械設計技術者試験対策講座	3521281F	水	3 時限	13
工学部	機械システム工学科	小林正明	講師	電気工学概論	3520300F	月	3 時限	31
工学部	機械システム工学科	小林正明	講師	交通マネジメント	3121540F	火	1 時限	41
工学部	機械システム工学科	小林正明	講師	交通マネジメント	3121541F	火	1 時限	7
工学部	機械システム工学科	内田博志	教授	自動車構造Ⅱ	3520680F	月	4 時限	18
工学部	機械システム工学科	内田博志	教授	ロボットデザイン	3521340F	月	5 時限	13
工学部	機械システム工学科	内田博志	教授	E V 創作	3521350F	月	5 時限	6
工学部	機械システム工学科	内田博志	教授	カーエレクトロニクス	3520900F	火	1 時限	12
工学部	機械システム工学科	内田博志	教授	自動車の強度	3520880F	木	2 時限	9
工学部	機械システム工学科	内田博志	教授	環境自動車工学	3520511F	金	2 時限	15
工学部	機械システム工学科	内田博志	教授	環境自動車工学	3520513F	金	2 時限	9
工学部	機械システム工学科	関根康史	准教授	物理学Ⅱ	3010111F	火	1 時限	22
工学部	機械システム工学科	関根康史	准教授	物理学Ⅱ	3010112F	火	1 時限	24
工学部	機械システム工学科	関根康史	准教授	ターボデジタルデザイン	3521330F	火	4 時限	23
工学部	機械システム工学科	加藤昌彦	教授	強度設計学	3520630F	月	2 時限	34
工学部	機械システム工学科	加藤昌彦	教授	機械力学	3520250F	月	4 時限	43
工学部	機械システム工学科	加藤昌彦	教授	デジタルドローイング	3520020F	金	3 時限	44
生命工学部	生物工学科	秦野琢之	教授	バイオマス・資源リサイクル	4120940F	火	2 時限	54
生命工学部	生物工学科	山口泰典	教授	発生生物学	4010220F	月	2 時限	52
生命工学部	生物工学科	山口泰典	教授	医療とバイオ	4121700F	金	2 時限	42
生命工学部	生物工学科	山本覚	教授	植物栽培技術	4120950F	木	1 時限	50
生命工学部	生物工学科	山本覚	教授	酵素利用工学	4120650F	金	1 時限	55
生命工学部	生物工学科	久富泰資	教授	里山概論	4120050F	月	2 時限	43
生命工学部	生物工学科	久富泰資	教授	環境微生物学	4120880F	水	1 時限	44
生命工学部	生物工学科	久富泰資	教授	基礎微生物学	4120480F	金	2 時限	49
生命工学部	生物工学科	原口博行	教授	植物機能利用学	4120390F	火	1 時限	44
生命工学部	生物工学科	原口博行	教授	植物機能利用学	4120395F	火	1 時限	6
生命工学部	生物工学科	原口博行	教授	キャリアデザインⅠ	0160125F	火	5 時限	44
生命工学部	生物工学科	原口博行	教授	植物分子育種学	4120190F	木	2 時限	33
生命工学部	生物工学科	松崎浩明	教授	細胞生物学	4121021F	月	1 時限	48
生命工学部	生物工学科	松崎浩明	教授	遺伝子工学	4120200F	木	2 時限	54
生命工学部	生物工学科	松崎浩明	教授	生産安全管理技術	4120970F	金	2 時限	45
生命工学部	生物工学科	太田雅也	教授	生物有機化学	4010210F	月	1 時限	54
生命工学部	生物工学科	太田雅也	教授	分析化学	3010221F	木	1 時限	41
生命工学部	生物工学科	太田雅也	教授	分析化学	3010222F	木	1 時限	35
生命工学部	生物工学科	広岡和丈	准教授	バイオ英語Ⅰ	4010230F	月	1 時限	51
生命工学部	生物工学科	広岡和丈	准教授	代謝制御学	4120250F	水	2 時限	35
生命工学部	生物工学科	吉崎隆之	講師	ワイン品質評価学	4120280F	月	2 時限	44
生命工学部	生物工学科	吉崎隆之	講師	醗酵生産・醸造学	4120850F	水	2 時限	55
生命工学部	生物工学科	吉崎隆之	講師	ワイン醸造学	4120270F	木	1 時限	45
生命工学部	生物工学科	吉崎隆之	講師	微生物学	4220541F	金	2 時限	38
生命工学部	生物工学科	岩本博行	教授	バイオ分離分析技術	4120840F	月	1 時限	44
生命工学部	生物工学科	岩本博行	教授	食品の消費と流通	4321730F	金	2 時限	21
生命工学部	生物工学科	岩本博行	教授	食品の消費と流通	4321731F	金	2 時限	35
生命工学部	生命栄養科学科	山本英二	教授	食品の調製と評価	4210280F	月	1 時限	48
生命工学部	生命栄養科学科	山本英二	教授	化学Ⅱ	3010192F	水	1 時限	59
生命工学部	生命栄養科学科	山本英二	教授	生物物理学	3010151F	金	1 時限	19
生命工学部	生命栄養科学科	山本英二	教授	生物物理学	3010153F	金	1 時限	67
生命工学部	生命栄養科学科	井ノ内直良	教授	食品材料学	4210190F	月	2 時限	39

生命工学部	生命栄養科学科	井ノ内直良	教授	食品分析化学	4220051F	金	1 時限	39
生命工学部	生命栄養科学科	菊田安至	教授	キャリアデザインⅠ	0160126F	火	5 時限	36
生命工学部	生命栄養科学科	菊田安至	教授	生化学Ⅱ	4210080F	木	1 時限	43
生命工学部	生命栄養科学科	菊田安至	教授	公衆衛生学	4220421F	金	1 時限	25
生命工学部	生命栄養科学科	菊田安至	教授	公衆衛生学	4220422F	金	2 時限	25
生命工学部	生命栄養科学科	石井香代子	教授	給食マネジメントⅠ	4221612F	水	1 時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	石井香代子	教授	給食マネジメントⅠ	4221611F	水	2 時限	25
生命工学部	生命栄養科学科	石崎由美子	教授	環境・スポーツ栄養学	4221642F	月	2 時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	石崎由美子	教授	環境・スポーツ栄養学	4221641F	火	2 時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	石崎由美子	教授	栄養教育論Ⅰ	4220951F	水	1 時限	25
生命工学部	生命栄養科学科	石崎由美子	教授	栄養教育論Ⅰ	4220952F	水	2 時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	村上泰子	准教授	臨床栄養学Ⅲ	4221470F	月	1 時限	39
生命工学部	生命栄養科学科	村上泰子	准教授	臨床栄養学Ⅰ	4220961F	金	1 時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	村上泰子	准教授	臨床栄養学Ⅰ	4220962F	金	2 時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	高橋知佐子	准教授	公衆栄養学	4220941F	木	1 時限	23
生命工学部	生命栄養科学科	高橋知佐子	准教授	公衆栄養学	4220942F	木	2 時限	25
生命工学部	生命栄養科学科	久保田みどり	准教授	食料経済学	4220700F	木	2 時限	41
生命工学部	生命栄養科学科	近藤寛子	助教	調理学	4210170F	火	2 時限	37
生命工学部	生命栄養科学科	坂田達朗	客員教授	解剖生理学Ⅰ	4210090F	水	2 時限	37
生命工学部	生命栄養科学科	渡邊浩志	教授	病態栄養学	4221031F	火	1 時限	25
生命工学部	生命栄養科学科	渡邊浩志	教授	病態栄養学	4221032F	火	2 時限	23
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛昌裕	教授	食品機能科学	4220471F	火	2 時限	10
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛昌裕	教授	食品機能科学	4321770F	火	2 時限	26
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛昌裕	教授	食品機能科学	4321771F	火	2 時限	24
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛昌裕	教授	化学Ⅱ	3010191F	水	1 時限	48
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛昌裕	教授	食品の安全管理	4220320F	木	2 時限	23
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛昌裕	教授	食品の安全管理	4220321F	木	2 時限	55
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛昌裕	教授	食品安全管理学	4220324F	木	2 時限	29
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛昌裕	教授	食品バイオテクノロジー	4220720F	金	2 時限	8
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛昌裕	教授	食品バイオテクノロジー	4321780F	金	2 時限	9
生命工学部	海洋生物科学科	三輪泰彦	教授	水産食品の科学	4320991F	月	2 時限	96
生命工学部	海洋生物科学科	三輪泰彦	教授	基礎分子生物学	4310020F	水	2 時限	97
生命工学部	海洋生物科学科	三輪泰彦	教授	遺伝学	4010030F	木	2 時限	104
生命工学部	海洋生物科学科	満谷淳	教授	沿岸環境の保全と再生	4321332F	火	2 時限	19
生命工学部	海洋生物科学科	満谷淳	教授	沿岸環境の保全と再生	4321333F	火	2 時限	53
生命工学部	海洋生物科学科	満谷淳	教授	海洋生態学	4320080F	木	1 時限	116
生命工学部	海洋生物科学科	河原栄二郎	教授	魚介類の疾病と予防	4321272F	金	1 時限	53
生命工学部	海洋生物科学科	河原栄二郎	教授	魚介類の疾病と予防	4321273F	金	1 時限	7
生命工学部	海洋生物科学科	河原栄二郎	教授	魚病学概論	4321200F	金	2 時限	102
生命工学部	海洋生物科学科	高村克美	教授	海洋動物分類学	4321130F	月	2 時限	111
生命工学部	海洋生物科学科	高村克美	教授	海洋動物発生学	4321170F	火	2 時限	107
生命工学部	海洋生物科学科	高村克美	教授	海洋生物の多様性と進化	4321613F	水	2 時限	16
生命工学部	海洋生物科学科	山岸幸正	准教授	生物多様性とその保全	4321632F	水	2 時限	19
生命工学部	海洋生物科学科	山岸幸正	准教授	生物多様性とその保全	4321633F	水	2 時限	72
生命工学部	海洋生物科学科	山岸幸正	准教授	海洋植物分類学	4321140F	金	2 時限	111
生命工学部	海洋生物科学科	北口博隆	准教授	海洋環境科学	4320010F	火	1 時限	109
生命工学部	海洋生物科学科	阪本憲司	准教授	魚介類の育種	4321293F	火	1 時限	28
生命工学部	海洋生物科学科	阪本憲司	准教授	魚介類の育種	4321294F	火	1 時限	64
生命工学部	海洋生物科学科	渡辺伸一	准教授	海洋動物の行動と生態	4321342F	木	1 時限	18
生命工学部	海洋生物科学科	渡辺伸一	准教授	海洋動物の行動と生態	4321343F	木	1 時限	41
生命工学部	海洋生物科学科	渡辺伸一	准教授	絶滅危惧種と環境保護	4321593F	木	2 時限	9
生命工学部	海洋生物科学科	水上雅晴	講師	生理学	4320550F	火	1 時限	95
生命工学部	海洋生物科学科	水上雅晴	講師	水生生物の生態と環境	4321392F	水	1 時限	31
生命工学部	海洋生物科学科	水上雅晴	講師	水生生物の生態と環境	4321393F	水	1 時限	58
生命工学部	海洋生物科学科	南卓志	教授	水産資源の生態	4321671F	月	1 時限	28
生命工学部	海洋生物科学科	南卓志	教授	水産資源の生態	4321672F	月	1 時限	61
生命工学部	海洋生物科学科	南卓志	教授	魚類の行動と生理	4321190F	水	1 時限	106
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧真人	教授	魚類の飼料と栄養	4321251F	月	2 時限	29
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧真人	教授	魚類の飼料と栄養	4321253F	月	2 時限	58
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧真人	教授	栽培漁業と魚介類の養殖	4321533F	火	1 時限	7

生命工学部	海洋生物科学科	高田浩二	教授	博物館情報・メディア論	9005160F	月	4 時限	32
薬学部	薬学科	井上敦子	教授	血液・造血器系疾患と薬物治療	5130730F	集	その他	11
薬学部	薬学科	金尾義治	教授	薬物動態の解析Ⅰ	5130740F	水	2 時限	9
薬学部	薬学科	金尾義治	教授	薬物動態解析	5140820F	水	2 時限	134
薬学部	薬学科	藤岡晴人	教授	基礎有機化学Ⅱ	5140220F	月	1 時限	142
薬学部	薬学科	藤岡晴人	教授	有機化学Ⅱ	5140240F	水	2 時限	151
薬学部	薬学科	森田哲生	教授	生命活動を担うアミノ酸・タンパク質	5140460F	月	1 時限	160
薬学部	薬学科	富田久夫	教授	製剤材料の性質	5130770F	月	3 時限	11
薬学部	薬学科	富田久夫	教授	製剤の性質	5140830F	月	3 時限	134
薬学部	薬学科	岡村信幸	教授	漢方薬物治療	5140720F	水	2 時限	142
薬学部	薬学科	石津隆	教授	生体分子の構造と化学的性質	5140250F	木	1 時限	134
薬学部	薬学科	片山博和	教授	剤形をつくる	5130780F	水	1 時限	10
薬学部	薬学科	片山博和	教授	製剤とDDS	5140840F	水	1 時限	134
薬学部	薬学科	片山博和	教授	コミュニティーファーマシー	5121170F	金	1 時限	27
薬学部	薬学科	赤崎健司	教授	生命体の基本単位としての細胞	5130430F	水	1 時限	142
薬学部	薬学科	赤崎健司	教授	生活環境と健康	5130630F	木	2 時限	150
薬学部	薬学科	杉原成美	教授	食品衛生	5130610F	火	2 時限	10
薬学部	薬学科	杉原成美	教授	食品衛生	5130615F	火	2 時限	132
薬学部	薬学科	杉原成美	教授	セルフメディケーション（2）	0151640F	金	1 時限	34
薬学部	薬学科	田村豊	教授	代謝性・呼吸器疾患と薬物治療	5130800F	月	4 時限	11
薬学部	薬学科	田村豊	教授	代謝系・呼吸器系疾患の薬	5140800F	月	4 時限	134
薬学部	薬学科	田村豊	教授	生体機能の調節Ⅰ	5140420F	火	2 時限	141
薬学部	薬学科	田村豊	教授	末梢神経系に作用する薬	5140750F	金	1 時限	157
薬学部	薬学科	本屋敷敏雄	准教授	物質の構造と放射線	5140050F	火	2 時限	151
薬学部	薬学科	井上裕文	教授	応用分析科学	5140080F	木	3 時限	132
薬学部	薬学科	秦季之	教授	物質のエネルギー	5140010F	木	2 時限	141
薬学部	薬学科	佐藤英治	教授	調剤	5130750F	火	1 時限	134
薬学部	薬学科	佐藤英治	教授	調剤	5130755F	火	1 時限	12
薬学部	薬学科	田淵紀彦	准教授	病原体としての微生物	5140430F	火	1 時限	143
薬学部	薬学科	小嶋英二郎	教授	分析技術の臨床応用	5140060F	月	2 時限	152
薬学部	薬学科	小嶋英二郎	教授	臨床検査	5130885F	金	2 時限	152
薬学部	薬学科	井上敦子	教授	血液・造血器系疾患の薬	5140770F	木	3 時限	152
薬学部	薬学科	大西正俊	講師	薬学英語Ⅰ	5110240F	木	1 時限	152
薬学部	薬学科	松岡浩史	講師	生命情報を担う遺伝子	5130451F	月	2 時限	144
薬学部	薬学科	堤広之	講師	化学の基礎	0110660F	木	2 時限	36
薬学部	薬学科	堤広之	講師	法制度	5131120F	木	2 時限	12
薬学部	薬学科	堤広之	講師	薬剤師を取り巻く法規	5141110F	木	2 時限	134
薬学部	薬学科	渡邊正知	准教授	生殖系・内分泌系疾患の薬	5140760F	火	1 時限	151
薬学部	薬学科	渡邊正知	准教授	人体の成り立ちと機能Ⅱ	5140410F	木	1 時限	143
薬学部	薬学科	渡邊正知	准教授	神経・精神疾患と薬物治療	5130810F	金	2 時限	12
薬学部	薬学科	渡邊正知	准教授	中枢神経系疾患の薬・病態・治療	5140810F	金	2 時限	133
薬学部	薬学科	前原昭次	講師	天然物化学	5130280F	木	4 時限	153
薬学部	薬学科	今重之	教授	生体防御Ⅱ	5130520F	金	1 時限	8
薬学部	薬学科	今重之	教授	免疫と疾患	5140500F	金	1 時限	128
大学教育センター	大学教育センター	大塚豊	教授	教職実践演習	9003392F	火	5 時限	30
大学教育センター	大学教育センター	地主弘幸	准教授	物理現象の基礎	0110460F	水	3 時限	57
大学教育センター	大学教育センター	地主弘幸	准教授	物理学	3010104F	木	3 時限	12
大学教育センター	大学教育センター	地主弘幸	准教授	物理学	3010106F	木	3 時限	39
大学教育センター	大学教育センター	小野太幹	准教授	基礎数学	0110263F	水	2 時限	26
大学教育センター	大学教育センター	小野太幹	准教授	数学Ⅱ	3010022F	水	3 時限	21
大学教育センター	大学教育センター	藤本明成	講師	陶芸	0150315F	水	3 時限	29
大学教育センター	大学教育センター	藤本明成	講師	陶芸	0150316F	水	4 時限	27
大学教育センター	大学教育センター	藤本明成	講師	陶芸	0150317F	木	3 時限	27
大学教育センター	大学教育センター	藤本明成	講師	陶芸	0150318F	木	4 時限	29
大学教育センター	大学教育センター	石井成人	講師	フランス語（Ⅱ）	0170561F	火	3 時限	156
大学教育センター	大学教育センター	石井成人	講師	フランス語（Ⅱ）	0170563F	火	4 時限	20
大学教育センター	大学教育センター	菅波真吾	講師	剣道（2）	0151210F	金	2 時限	15
大学教育センター	大学教育センター	柴原直樹	講師	博物館教育論	9005150F	水	3 時限	45
大学教育センター	大学教育センター	柴原直樹	講師	博物館資料論	9005060F	水	4 時限	33
大学教育センター	大学教育センター	柴原直樹	講師	日本史（2）	0130204F	金	3 時限	164

大学教育センター	大学教育センター	柴原直樹	講師	日本史（２）	0130205F	金	4 時限	65
大学教育センター	大学教育センター	溝淵裕	講師	憲法	0120154F	金	1 時限	73
大学教育センター	大学教育センター	劉国彬	准教授	中国語（Ⅱ）	1705401F	月	1 時限	42
大学教育センター	大学教育センター	劉国彬	准教授	中国語（Ⅱ）	1705402F	月	2 時限	57
大学教育センター	大学教育センター	劉国彬	准教授	中国語（Ⅱ）	1705405F	火	1 時限	40
大学教育センター	大学教育センター	劉国彬	准教授	中国語（Ⅱ）	1705406F	火	2 時限	41
大学教育センター	大学教育センター	劉国彬	准教授	中国語（Ⅱ）	1705407F	水	1 時限	25
大学教育センター	大学教育センター	劉国彬	准教授	中級中国語Ⅱ	0170581F	木	3 時限	19
大学教育センター	大学教育センター	劉国彬	准教授	中級中国語Ⅱ	0170580F	木	4 時限	26
大学教育センター	大学教育センター	神野靖子	講師	音楽	0150412F	木	2 時限	19
大学教育センター	大学教育センター	末霞敏久	講師	中国語（Ⅱ）	1705403F	火	3 時限	50
大学教育センター	大学教育センター	山本賢太郎	講師	囲碁から学ぶ人間学（２）	0151760F	火	4 時限	16
大学教育センター	大学教育センター	田中宏和	併任教授	憲法	0120153F	金	2 時限	74
大学教育センター	大学教育センター	上村崇	併任教授	ヨーロッパ思想入門 2	2120402F	火	3 時限	26
大学教育センター	大学教育センター	上村崇	併任教授	倫理学（２）	0140500F	火	4 時限	38
大学教育センター	大学教育センター	若松正晃	講師	英語Ⅳ	1701404F	月	3 時限	17
大学教育センター	大学教育センター	若松正晃	講師	英語発展（Ⅱ）	1930204F	月	3 時限	9
大学教育センター	大学教育センター	若松正晃	講師	英語Ⅱ	1701218F	木	2 時限	28
大学教育センター	大学教育センター	若松正晃	講師	英語Ⅳ	1701416F	金	3 時限	17
大学教育センター	大学教育センター	若松正晃	講師	英語Ⅱ	1701213F	金	4 時限	52
大学教育センター	大学教育センター	若松正晃	講師	英語（Ⅱ）	1902254F	金	4 時限	6
大学教育センター	大学教育センター	若松正晃	講師	英語Ⅰ	1701152F	金	5 時限	33
大学教育センター	大学教育センター	前田吉広	講師	キャリアデザインⅢ	0160300F	月	5 時限	6
大学教育センター	大学教育センター	前田吉広	講師	Webデザイン入門	0112260F	水	2 時限	55
大学教育センター	大学教育センター	前田吉広	講師	キャリアデザインⅡ	0160211F	木	5 時限	8
大学教育センター	大学教育センター	大塚豊	教授	教育制度論	0121600F	金	5 時限	7
大学教育センター	大学教育センター	大塚豊	教授	教育制度論	9001900F	金	5 時限	102
大学教育センター	大学教育センター	赤松頌也	講師	フランス語（Ⅱ）	0170562F	火	3 時限	55
大学教育センター	大学教育センター	赤松頌也	講師	フランス語（Ⅱ）	0170564F	火	4 時限	9
大学教育センター	大学教育センター	新井純美	講師	英語Ⅳ	1701417F	金	3 時限	35
大学教育センター	大学教育センター	新井純美	講師	英語Ⅱ	1701214F	金	4 時限	43
大学教育センター	大学教育センター	LowesJason	講師	英語Ⅳ	1701402F	月	3 時限	29
大学教育センター	大学教育センター	LowesJason	講師	英語Ⅳ	1701409F	火	2 時限	28
大学教育センター	大学教育センター	LowesJason	講師	英語Ⅳ	1701414F	火	3 時限	36
大学教育センター	大学教育センター	LowesJason	講師	英語Ⅱ	1701211F	火	4 時限	25
大学教育センター	大学教育センター	LowesJason	講師	英語Ⅱ	1701222F	木	2 時限	28
大学教育センター	大学教育センター	LowesJason	講師	英語Ⅰ	1701151F	木	5 時限	12
大学教育センター	大学教育センター	津田将行	講師	キャリアデザインⅡ	0160214F	金	5 時限	7
大学教育センター	大学教育センター	TangWarren	助教	英語Ⅳ	1701415F	火	2 時限	9
大学教育センター	大学教育センター	TangWarren	助教	英語Ⅳ	1701408F	火	3 時限	31
大学教育センター	大学教育センター	TangWarren	助教	英語Ⅱ	1701210F	火	4 時限	41
大学教育センター	大学教育センター	TangWarren	助教	英語Ⅱ	1701212F	木	2 時限	36
大学教育センター	大学教育センター	TangWarren	助教	英語Ⅳ	1701421F	金	3 時限	32
大学教育センター	大学教育センター	TangWarren	助教	英語Ⅱ	1701221F	金	4 時限	39
大学教育センター	大学教育センター	森岡悦子	講師	英語Ⅱ	1701216F	木	2 時限	40
大学教育センター	大学教育センター	森岡悦子	講師	英語Ⅱ	1701207F	木	3 時限	35
大学教育センター	大学教育センター	森岡悦子	講師	英語Ⅳ	1701418F	金	3 時限	36
大学教育センター	大学教育センター	森岡悦子	講師	英語Ⅱ	1701220F	金	4 時限	42
大学教育センター	大学教育センター	牧貴愛	講師	教職概論	9003801F	水	4 時限	99
大学教育センター	大学教育センター	牧貴愛	講師	道徳教育の指導法	9002300F	水	5 時限	33
大学教育センター	大学教育センター	吉崎一	講師	社会学	0121700F	金	5 時限	40
大学教育センター	大学教育センター	谷川充美	講師	日本語表現法	1307317F	月	3 時限	21
大学教育センター	大学教育センター	谷川充美	講師	日本語表現法	1307319F	月	4 時限	40
大学教育センター	大学教育センター	中尾佳行	教授	英語Ⅳ	1701406F	火	3 時限	31
大学教育センター	大学教育センター	中尾佳行	教授	英語Ⅱ	1701208F	火	4 時限	42
大学教育センター	大学教育センター	中尾佳行	教授	イギリス文学研究 2	2120911F	木	3 時限	10
大学教育センター	大学教育センター	張治清	講師	中国語（Ⅱ）	1705409F	木	1 時限	8
大学教育センター	大学教育センター	張治清	講師	中国語（Ⅱ）	1705410F	木	2 時限	19
大学教育センター	大学教育センター	PrevattJon	講師	英語Ⅳ	1701405F	火	2 時限	31
大学教育センター	大学教育センター	PrevattJon	講師	英語Ⅳ	1701411F	火	3 時限	37

大学教育センター	大学教育センター	PrevattJon	講師	英語Ⅱ	1701201F	火	4 時限	42
大学教育センター	大学教育センター	PrevattJon	講師	英語Ⅱ	1701204F	木	2 時限	43
大学教育センター	大学教育センター	PrevattJon	講師	英語Ⅱ	1701205F	木	3 時限	35
大学教育センター	大学教育センター	藤井晶子	講師	日本語表現法 2	2110222F	月	4 時限	25
大学教育センター	大学教育センター	藤井晶子	講師	日本語表現法 2	2110223F	水	4 時限	48
大学教育センター	大学教育センター	奥田秀巳	講師	日本語表現法	1307318F	月	3 時限	23
大学教育センター	大学教育センター	奥田秀巳	講師	日本語表現法	1307320F	月	4 時限	38
大学教育センター	大学教育センター	菊池達也	講師	日本史（2）	0130202F	水	2 時限	35
大学教育センター	大学教育センター	菊池達也	講師	日本史（2）	0130203F	水	3 時限	105
大学教育センター	大学教育センター	周躍	講師	英語Ⅳ	1701407F	火	2 時限	28
大学教育センター	大学教育センター	周躍	講師	英語Ⅳ	1701410F	火	3 時限	15
大学教育センター	大学教育センター	周躍	講師	英語Ⅱ	1701215F	火	4 時限	43
大学教育センター	大学教育センター	周躍	講師	英語Ⅱ	1701217F	木	2 時限	41
大学教育センター	大学教育センター	周躍	講師	英語Ⅱ	1701206F	木	3 時限	35
大学教育センター	大学教育センター	平田仁胤	講師	哲学（2）	0140200F	金	2 時限	85
大学教育センター	大学教育センター	鈴木ヘザー	講師	英語Ⅱ	1701203F	木	2 時限	41
大学教育センター	大学教育センター	鈴木ヘザー	講師	英語Ⅱ	1701209F	木	3 時限	35
大学教育センター	大学教育センター	鈴木ヘザー	講師	TOEIC（Ⅱ）	0190361F	木	4 時限	6
大学教育センター	大学教育センター	鈴木ヘザー	講師	英語Ⅳ	1701420F	金	3 時限	34
大学教育センター	大学教育センター	鈴木ヘザー	講師	英語Ⅱ	1701219F	金	4 時限	43
大学教育センター	大学教育センター	西村正登	講師	教育方法論	9001800F	金	3 時限	50
大学教育センター	大学教育センター	宇野昌樹	講師	イスラム文化	0131500F	水	3 時限	35
大学教育センター	大学教育センター	宇野昌樹	講師	エスニシティ論	0131700F	水	4 時限	38
大学教育センター	大学教育センター	外林省二	講師	書道	0150113F	火	3 時限	26
大学教育センター	大学教育センター	外林省二	講師	書道	0150114F	火	4 時限	9
大学教育センター	大学教育センター	膝艶	講師	中国語（Ⅱ）	1705412F	水	2 時限	12
大学教育センター	大学教育センター	膝艶	講師	中国語（Ⅱ）	1705413F	水	3 時限	44
大学教育センター	大学教育センター	橋野仁史	講師	絵画	0150200F	金	2 時限	12
大学教育センター	大学教育センター	中川篤	講師	英語Ⅳ	1701413F	火	2 時限	29
大学教育センター	大学教育センター	中川篤	講師	英語Ⅳ	1701412F	火	3 時限	35
大学教育センター	大学教育センター	中川篤	講師	英語Ⅱ	1701202F	火	4 時限	42
大学教育センター	大学教育センター	木村真弓	非常勤講師	ダンス	0151450F	木	4 時限	40
大学教育センター	大学教育センター	WillemsGrant	非常勤講師	英語Ⅳ	1701419F	金	3 時限	37
大学教育センター	大学教育センター	WillemsGrant	非常勤講師	英語Ⅱ	1701223F	金	4 時限	39
国際センター	国際センター	趙建紅	准教授	1 級受験日本語Ⅱ（留学生用）	8000821F	月	2 時限	6
国際センター	国際センター	趙建紅	准教授	日本語（4）（留学生用科目）	0192591F	火	3 時限	24
国際センター	国際センター	趙建紅	准教授	日本語（5）（留学生用科目）	0192601F	水	3 時限	22
国際センター	国際センター	趙建紅	准教授	学術日本語Ⅱ（留学生用）	8000860F	木	2 時限	9
共同利用センター	共同利用センター	片桐重和	助教	実用情報処理演習	3420900F	水	3 時限	40
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎健一	准教授	人体のしくみ	0110801F	火	1 時限	62
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎健一	准教授	人体のしくみ	0110802F	火	2 時限	191
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎健一	准教授	暮らしとバイオ	0112203F	水	2 時限	143
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎健一	准教授	備後に学ぶ地域の課題	0156040F	水	5 時限	10
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎健一	准教授	人体のしくみ	0110803F	木	3 時限	180
共同利用センター	共同利用センター	瀬島紀夫	講師	情報処理基礎	1118031F	金	2 時限	19